

令和6年度版

教職員研修において講義等が可能な大学教員等 [一覧]

静岡県教育委員会

[令和6年7月発行]

教科コード一覧

コード	教科・科目等	専門等掲載内容	コード	教科・科目等	専門等掲載内容
◆ 学習指導			◆ 教職全般		
0100	学習指導(下記内容以外)	自然科学一般	0200	教職全般	教師教育政策、教育社会学、教師文化研究、授業コミュニケーション論、道徳教育、教職課程、学校教育、美術教育
0101	国語	国語教育、国語科教育、書写、書道教育、言語教育、教育言語学、日本古典文学、日本語学、日本近代文学、国文学	0201	学校経営	教育経営、組織開発、校内研修、教育行政学、教育学、学校経営学、教育環境論、特別活動論、教育学
0102	社会	政治学、政治思想、社会学、社会科教育、国際観光	0202	教育方法	学力向上、認知心理学、グループ学習、ICTを利用した授業、教育工学
0103	地理歴史	西洋史、世界史、中国史、台湾史、地域研究	0203	教員養成	教育学、英語教育
0104	公民	経済学、政治学、政治思想、地域社会学、環境経済学、税務会計、現代社会、地域経営	0204	コミュニケーション教育など	言語教育、教育言語学、年少者日本語教育、ファシリテーション、教育学、ホスピタリティ学
0105	算数	算数教育	◆ 特別支援教育		
0106	数学	微分方程式論、応用数学、最適化、情報通信工学、微分幾何学、数学	0300	特別支援教育	特別支援教育、障害理解、発達障害領域作業療法学
0107	理科	科学教育学、理科教育学、生物多様性、進化古生物学、光科学、放射線安全学	◆ 専門的な分野		
0108	物理	物性理論、光情報システム、放射線計測、レーザー工学、宇宙工学	0401	環境教育	地球環境、環境教育、理科、栽培、放射化学、放射線化学、核エネルギー化学、核融合工学、放射化学、水域環境学、化学環境工学、薬理学、環境毒性学、海洋科学、地球環境、環境工学、水処理工学、植物生態学、廃棄物リサイクル、水文環境、水環境デザイン、生態学、ビオトープ、環境教育、自然環境保全、社会学
0109	化学	無機化学、放射化学、放射線化学、農薬化学、物理化学、化学	0402	キャリア教育	教育社会学、学校経営、教育方法学、キャリア支援、就労支援、子ども若者支援、保育者のキャリア形成、キャリア教育、コミュニケーション教育
0110	生物	生物学、生化学、環境科学、遺伝学、微生物、感染症、動物行動学、動物心理学、動物生理学、神経行動学、行動生態学、薬理学、環境毒性学、植物生態学、生態学、ビオトープ、環境教育、自然環境保全、生物教育、生命科学、生物物理学	0403	食育	医学、アレルギー学、生活科学
0111	地学	海洋科学、地球環境、火山学、気象学	0404	安全教育・防災教育	環境、エネルギー、プラズマ、技術者倫理、リスク認知、教育行政学、都市防災、防災コミュニティ論、津波対策、防災教育、医学・医療、火山学、社会心理学、防災社会心理学、安全教育、情報教育、教育の情報化
0112	図画工作	造形制作、デジタルデザイン、美術教育、芸術学、図画工作	0405	国際理解教育	年少者日本語教育、多文化共生教育、異文化コミュニケーション、経済学、言語教育、教育言語学、中国言語文化研究、国際関係史、国際関係論、フランス文学、フランス語教育、アジア経済社会
0113	音楽	音楽教育、吹奏楽指導、声楽、管楽器、音楽学、リトミック、幼児教育、音響学	0406	人権教育	国際法、国際機構法、ジェンダー研究、教育学
0114	美術	デザイン、芸術、立体造形、彫刻、グラフィックデザイン、美術、デジタルデザイン、美術教育、芸術学、ビジュアルデザイン、建築デザイン、素描、絵画、色彩学	0407	生涯学習	成人学習、医用電子工学、教育学、生涯学習、社会教育、青少年教育、家庭教育
0115	工芸	プロダクトデザイン、デジタルデザイン、美術教育、芸術学、ビジュアルデザイン、建築デザイン	0408	消費者教育	生活経済学、消費者政策、消費者教育、廃棄物リサイクル
0116	書道	書写、書道教育、国語教育	0409	進路指導	教育心理学
0117	家庭	家庭科教育、栄養教育、実践栄養学、栄養化学、運動生理学、フードマネジメント、食品衛生学、家政学、文化研究、リトミック、幼児教育	0410	福祉教育	社会福祉
0118	技術・家庭	情報通信、生物育成、情報教育、教育の情報化	0411	その他	社会工学、日本語学、学校図書館、スポーツ心理学、コーチング、アンガーマネジメント、教育工学、教育行政学、キャリアデザイン論、ジェンダー論、生化学、ウイルス学、糖鎖生物学、生物工学、応用栄養学、観光、環境工学、水処理工学、フランス文学、フランス語教育、観光学、経営学、人事労務管理、経営史、会計学、水文環境、水環境デザイン、現代韓国社会論、ブラジル文学、東洋医学、老年学、ホスピタリティ・マネジメント学、日本語教育
0119	体育	体育哲学、スポーツ科学、スポーツ心理学、運動生理学、幼児の運動遊び、体育、スポーツ、体育科教育、保健体育科教育学、幼児体育、子供のスポーツ、ス	◆ 情報化		
0120	保健	学校保健、養護教諭に関する職務・役割、保健学習、健康管理学、歯科衛生学、健康教育学、身体教育学、体育学	0500	情報化	情報通信、情報科学、情報教育、教育の情報化
0121	外国語	英語学、英文学、英米文学、英語圏大衆文化、カナディアンスタディーズ、スペイン語、スペイン史、中国語、フランス語、フランス語教育、比較文学	◆ 教育相談・心理学等		
0122	英語	英文法教育、英語教育、外国語教育学、英語教育学、児童英語教育、小学校英語教育	0600	教育相談	子育て相談、臨床心理学、臨床教育学、表現療法、教育相談、教育原理、教育社
0123	道徳	道徳教育、倫理学、情報教育、教育の情報化	0601	心理学	教育心理学、青年心理学、学校臨床心理学、発達臨床心理学、認知心理学、発達心理学、パーソナリティ心理学、心理学、社会心理学、性格心理学、臨床心理学、発達臨床心理学、スポーツ心理学、福祉心理学、心理カウンセリング、対人コミュニケーション、実験心理学、行動心理学、行動神経科学、心理療法、精神保健福祉学、生態心理学、教育人間学
0124	農業	農業、環境教育、植物分子遺伝学、分子生物学、植物生理学、農業政策、産業政策、茶業政策	0602	メンタルヘルス	学校臨床心理学、発達臨床心理学、児童虐待、精神医学、児童精神医学、健康心理学、臨床心理学、メンタルヘルス
0125	工業	情報セキュリティ、建築、都市計画学、経営工学、情報処理、建築デザイン、3DCG、工学教育	0603	医学	がん、呼吸器外科、肺がんの腫瘍学、外科学、医学、アレルギー学、内科学、感染症学、予防医学、健康医学、理科、ヒューマンサイエンス、鍼灸学、東洋医学
0126	商業	経済学、ビジネス経済応用、企業経営分析、経営、マーケティング、経営学、会計学、財務管理論、企業金融論、行動経済学、統計学、管理会計・企業研究に関する演題、広告表現、流通、簿記、簿記会計、原価計算、管理会計、経営戦略、企業家論、行政改革、広告と販売促進、財務会計	◆ 幼児教育		
0127	水産	食品衛生学	0700	幼児教育	幼児教育学、乳幼児音楽教育、ピアノ教育、発達心理学、身体教育学、保育環境と遊び、保育内容、幼児教育全般、幼児教育、保育学、教育人間学、乳児保育、保育、児童虐待
0128	看護	学校保健、学校看護、小児保健、社会福祉、看護学、問題解決方法、論文作成法	0701	児童虐待	児童虐待
0129	福祉	社会福祉、メンタルヘルス、介護福祉、介護福祉教育			
0130	情報	情報通信工学、教育工学、情報教育、プログラミング、情報科学、教育の情報化			

※上記分類は、大学等からの報告を基に作成しています。

教職員研修において講義等が可能な大学教員等の一覧について

◆ 趣 旨

県・市町教育委員会主催の教職員研修や小・中・高・特別支援学校の校内研修等において、講師を依頼する際の参考にするため、教職員研修において講義等が可能な大学教員等に関する情報を集約する。
併せて、これらの情報を活用し、専門的、先進的な内容の研修を拡充することにより教職員の資質向上を図るとともに、大学と教育委員会・学校との連携をより一層深めることで、互いの教育力の向上に役立てる。

◆ 利用する際の留意点

- 1 教育委員会等の教職員研修、校内研修、その他講演会などで、大学教員等に講師を依頼する際の参考として活用してください。
- 2 講師を依頼するときは、研修等を企画する教育委員会・学校等が直接大学へ連絡してください。連絡先については、各大学教員等へ直接連絡いただいても構いませんし、巻末に掲載する各大学の窓口へ連絡いただいても構いません。講師依頼時に、研修の目的・内容、日時・場所、おおよその参加人数、謝金、交通費などについて交渉してください。
- 3 電話番号や電子メールアドレス等が記載されていますので、取り扱いに注意願います。

目 次

◆学習指導	1
国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、物理、化学、生物、地学、図画工作、音楽、美術、工芸、書道、家庭、技術・家庭、体育、保健、外国語、英語、道徳、農業、工業、商業、水産、看護、福祉、情報	
◆教職全般	18
学校経営、教育方法、教員養成、コミュニケーション教育など	
◆特別支援教育	21
◆専門的な分野	23
環境教育、キャリア教育、食育、安全教育・防災教育、国際理解教育、人権教育、生涯学習、消費者教育、進路指導、福祉教育、その他	
◆情報化	30
◆教育相談・心理学等	31
教育相談、心理学、メンタルヘルス、医学	
◆幼児教育	38
幼児教育、児童虐待	

※上記の分類は、大学教員等の専門、著書、講演講師の経歴等を基にした分類です。

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0100	学習指導 (下記内容以外)	自然科学一般		「教わる」から「学ぶ」へ: 学ばない人生ではもったいない	静岡大学	工学部	准教授	とだ みつお 戸田 三津夫	・高等学校、中学校への水環境その他に関する出前講義 ・小学校への実験理科教室を年に5件程度実施 ・浜松市の水辺、特に佐鳴湖流域に関する一般向け講義、発表を年に2~3件実施	・「静岡大学アメニティ佐鳴湖プロジェクト」(共同執筆) 他 ・有機化学のほか、水環境(水質、生態、水文、水利用など)の研究を実施	053-478-1146	053-478-1183	toda.mitsuo@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0100	学習指導 (下記内容以外)	総合的な学習・探究の時間	New	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の進め方、地域連携の仕方、商品開発、観光、防災、SDGs、フィールドワーク、学習発表会報告会、探究学習の高度化	静岡大学	地域創造教育センター	准教授	やまもと りゆうた 山本 隆太	・免許更新講習講師 ・静岡大学東部サテライト伊豆半島探究学習サミット ・糸魚川白嶺高校・防災フォーラム ・日本ジオパークネットワーク全国研修会ESD講習(2017年5月、2018年2月)	・R2『地理教育フィールドワーク実践論』(学文社) ・H30『地理オリンピックへの招待』(古今書院) ・H31『ヨーロッパ』(朝倉書店)(分担:「自然環境」) ・R3『社会科教育へのケイバリティ・アプローチ』(風間書房) ・R3『システム思考で地理を学ぶ』(古今書院)(分担:思考ツール) ・R3『持続可能な社会に向けての教育カリキュラム』(古今書院)(分担:ESD/SDGs)	054-238-4895		yamamoto.ryuta@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0100	生活科・総合的な学習の時間	生活科教育総合的な学習の時間の教育	New	生活科教育総合的な学習の時間の教育に関する講義	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	きむら みつお 木村 光男	・H30沼津市教育研究会講師 ・H31~R3志田教育研究会講師 ・R3 静岡県教育研究会夏季研究大会【生活・総合部会】講師 ・R5 磐田教育研究会講師	・『小学校新学習指導要領の展開 生活科編』明治図書(共著) ・『文部科学省検定済教科書(生活科)』学校図書(共著)等	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	paman@sky.lala.or.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/kimura/
0100	生活科・総合的な学習の時間・ESD	生活科教育学		持続可能な社会の創り手を育む生活・総合、持続可能な社会の創り手を育む教師、幼小接続期の教育	静岡大学	教育学部	教授	たみや ゆかり 田宮 縁	①千葉県教育研究協議会 松戸市会生活科教育部 ②令和4年度静岡県教育研究会生活科・総合的な学習の時間研究部夏季研究大会 ③豊島区立さくら小学校 ④志太教育研究集会 ⑤富士地区教育研究協議会「総合的な学習の時間」分科会 ⑥島田市教育研究会教科外(総合的な学習の時間)研修会 ⑦掛川市教育委員会学校教育課	『保育者に必要な数学力』(編者)萌文書林 「保育プロセスの質 リフレクションシート」 「エコパーク日本平動物園の校外学習・園外保育をブラッシュアップ! ティーチャーズガイド」 「No one will be left behind 動物と一緒に地球の未来を考えよう」 『SDGsデジタル絵本 動物と一緒に地球の未来を考えよう~森は簡単には回復しないんだ~』(10歳~) 『静岡県版幼小接続カリキュラム』参考資料「コロナ禍から見えてきた幼小接続」シリーズ学校教育とSDGs「動物を通して持続可能な社会を考える」「活動を通して持続可能な社会を考える」「持続可能な社会の創り手を育む教師」総集編 『北九州市環境ミュージアム20周年記念報告 もう一つの「青空がほしい」』	054-238-4695	054-238-4695	tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0101	国語	言語教育言語学		対話論、言語活動の意義と実践、日本語教育、外国に繋がる子どもたちへの支援、共生社会、生態学的言語論、ことばによる学習環境作り	静岡大学	教育学部	教授	うつのみや ひろあき 宇都宮 裕章	・R1.8静岡大学社会教育主事講習「社会教育特講」講師 ・R3~沼津日本語学院「年少者教育」講師 ・R3~浜松日本語学院「年少者教育」講師 ・R4.9静岡県総合教育センターマネジメント講座(新任校長研修会講師) ・R4.10東京都小学校日本語教育研究会協議会講師 ・R5.7浜松市教育委員会教科指導基礎研修(国語科・6年目研修会講師) ・R5.8静岡大学社会教育主事講習「社会教育特講」講師 ・R5.11吉田町シニアカレッジ講師	・R3.6「対話への信頼から学びの場づくりへ」『季刊人間と教育』110号(旬報社) ・R4.5『対話でみがくことばのカー互いの異なりを活かすグループワーク26』(ナカニシヤ出版) ・R5.10『ともに生きるためにーウェルフェア・リングイステクスと生態学の視点からみることばの教育』(春風社)	054-238-4583	054-238-4583	utsunomiya.hiroaki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0101	国語	国語教育学 国語科教育実践学		○「主体的・対話的で深い学び」を実現する研究力 ○国語科における読解力向上+単元構想に関する研究と実践 ○国語科における論理的思考力育成+カリキュラムに関する研究と実践 ○国語科教材研究力・国語科教材編成論に関する研究 ○文学的文章指導・説明的文章指導に関する研究	静岡大学	教育学部	教授	おおつか ひろし 大塚 浩	・H27~R3静岡県教員免許状更新講習講師「国語科の魅力とその指導」(文部科学省、対象:教職員) ・静岡県教育委員会免許法認定講習講師「国語科指導法Ⅱ」(静岡県教育委員会、対象:教職員) ・静岡県志太地区(藤枝市・島田市・焼津市)教育委員会・志太国語教育教員研修研究会講師+講演会担当、題目『「主体的・対話的で深い学び」を実現する研究力』(藤枝市・島田市・焼津市教育委員会、対象:教諭300名)	・『小学校国語科教育の研究』 ・『国語科教育実践・研究必携』 ・『中学校・高等学校国語科教育研究』 他	054-238-4588	054-238-4588	otsuka.hiroshi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0101	国語	国語教育		○国語力・言語力に関する研究および実践 ○論理的表現力育成とカリキュラムに関する研究および実践 ○読解力向上に関する研究 ○「言語活動」に関する研究および実践	静岡大学	教育学部	教授	さかぐち きょうこ 坂口 京子	・H29・R3・R5浜松市夏季研修会講師 ・R1~R6長泉小学校校内研修講師 ・R4吉田町立住吉小学校校内研修会講師 ・R4・5・6袋井市読解力向上研修会講演 ・R4静教研夏季研修会講演 ・R5・6駿東地区国語部研修会講演 ・R5・6裾野西中学校研修会講師	・R1『新たな時代の学びを創る中学校高等学校国語科教育研究』(東洋館出版社、編者)・R2『ことばの授業づくりハンドブック探求学習・授業実践史をふまえて-』(溪水社、共著)	054-238-4585	054-238-4585	sakaguchi.kyoko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0101	国語	日本語学		日本語について知っていそうで知らないこと	静岡県立大学	国際関係学部	教授	さわさき こういち 澤崎 宏一	・R1「日本語のふしぎ」吉田町シニアカレッジ ・H30「教えてみてわかる日本語のふしぎ」静岡県立大学公開講座 ・「アメリカの日本語教育のひろがり」静岡県立大学高大連携事業出張講義(H24 静岡県立富岳高等学校、H28 富士市立高等学校、H29 富士市立高等学校、H29 星陵高等学校、R1 浜松聖星高等学校) ・H27「五十音図のふしぎ」静岡県立大学高大連携事業出張講義(星陵高等学校) ・H25「日本語の『音』のはなし」(静岡県立清水南高等学校中等部土曜学習特別講座(特別講演)) ・H19「日本語学入門」静岡県立大学高大連携事業出張講義(静岡県立清水東高等学校) ・H18 英語と日本語はそんなに違う? 静岡県立大学高大連携事業出張講義(静岡県立清水南高等学校)		054-264-5352	054-264-5352	sawasaki@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof80.html
0101	国語	日本近代文学		日本近代文学に関する講義/文学史(明治~)に関する講義	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	とつか あきこ 戸塚 麻子	・R1 常葉大学公開講座「日本人作家がみた中国—文学から知る世界—」 ・R2 静岡市生涯学習センター×常葉大学 共催講座「戦争文学を読む」 ・R3 常葉大学教員免許状更新講習(文学史の授業) ・R3 公開講座(静岡市生涯学習センター・常葉大学共催)「三木卓を読む—少年がみた戦争と満洲」	・R1 『上海の戦後(アジア遊学)』(勉誠出版、共著) ・R2 『『東亜新報』関係資料集—『東亜新報』「論説」題目一覧』(金沢文圃閣、共著) ・R3 『『燕京文学』1939~44年—占領地北京日本語文芸雑誌』別冊(金沢文圃閣) ・R4 『華北交通社員会『興亜』1939~1944—占領地北京の日本語雑誌』別巻(金沢文圃閣、共著)	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	asakot@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/totsuka/
0101	国語	日本文学 日本語教育		日本文学全般、特に日本古典文学 日本語教育	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	はた えりこ 畑 恵里子	・『「伊勢物語」を重ねた『源氏物語』の世界(全2回)』(令和3年度焼津市港公民館教養講座、焼津市港公民館、静岡県焼津市、2021年11月) ・「令和の時代に読む『源氏物語』の女君たち(全3回)」(令和2年度焼津市港公民館教養講座、焼津市港公民館、静岡県焼津市、2021年2月~3月) ・「小倉百人一首の世界に触れる」(静岡県焼津市立焼津図書館教養講座、焼津小泉八雲記念館、静岡県焼津市、2021年1月) ・その他、高大連携出張講座(静岡市内)1件、公開講座(焼津市内)1件、公開講座(静岡市内)1件、公開講座(京都府内)2件、等。	・R3(共編著)畑恵里子編『日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「舞鶴市系井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究」研究成果報告書—伝説と文学とについての越境論的提言』(静岡英和学院大学畑恵里子研究室) ・H31(共編著)日本語検定委員会・畑恵里子『日本語検定公式領域別問題集改訂版「語彙・言葉の意味」』(東京書籍) ・「学校紹介を通じた日本語教育授業のAL試案」(工業高等専門学校アクティブラーニング推進研究会『アクティブラーニング事例集』H31) ・日本文学協会(委員)、全国大学国語国文学会(委員)、他。	054-262-0091	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	・「research map」 https://researchmap.jp/read-hata-eriko ・「科研費基盤研究(C)」 「海洋文化圏から見る浦島伝説の宗教観」研究成果公開HP https://urashima.sakura.ne.jp/top/

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0101	国語	日本文学 (近現代文学・女性文学・児童文学・絵本等)		絵本、児童文学、女性文学等の日本の現代文学を読むことについて考える	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	すずき まさかず 鈴木 正和	・「静岡と近代文学」(生涯学習センター講座・講師・2016年) ・「静岡を描いた近代文学を読む」(長田生涯学習センター講座・講師・2016年) ・「絵本・児童文学はだれのもの？—大人になった今だから、絵本の扉を開いてみませんか」(静岡英和学院大学・公開講座・講師・2018年)	・「現代の絵本から見る富士山—富士山は子どもに何を伝えるか—」(静岡英和学院大学・短期大学紀要・第14号)・2016年) ・「空無とは何か—『新春作家訪問—無の無の無、即ち空無へ』について」(『太宰治研究24』和泉書院、2016年) ・「村上春樹の文学観に見るポスト・ポストモダンの考察—文学教育・文学研究と『void=虚空』の問題—」(『日本文学』第65巻第8号・日本文学協会、2016年) ・「表現とは何か」(『哲学する保育・第2版』教育出版、2021年)	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0101	国語	日本文学		日本語コミュニケーション、文章指導法	静岡英和学院大学短期大学部	現代コミュニケーション学科	講師	むらまつ よしてる 村松 純光	2022年11月 本学公開講座(於:静岡市葵生涯学習センター)にて、「昭和マンガに描かれた現代人の“もやもや”—昭和の問題は令和の大問題?—」の演題で、コミュニケーション論に関する講演をおこなった。	2014~2022年 検定教科書『精選国語総合』(教育出版)編集委員 2017~2018年 国語総合および現代文教科書の教師用指導書、準拠資料等を多数執筆(教育出版)	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0101	国語	言語教育		外国人留学生はどのようにして日本語を学ぶのか あなたの知らない「日本語の世界」	静岡産業大学	経営学部	教授	谷口 正昭	R1静岡産業大学BiViキャン無料講座「古民家暮らしの素晴らしさ」 R2静岡産業大学BiViキャン無料講座「あなたの知らない『日本語の世界』」 R2焼津市大村公民館講座「あなたの知らない『日本語の世界』」 R4屋久島おおぞら高等学校出張講義「日本語は面白い」	・「日本語アカデミックライティングにおける課題—留学生の視点から」『静岡産業大学情報学部研究紀要』第18号、H31 ・「三島由紀夫の語彙の再評価」『比較文化研究』第五十六輯、R2 ・「国際共修教育における異文化間コミュニケーション能力の育成」『静岡理工科大学紀要』第29巻、R3 ・「三島由紀夫の語彙の再評価—『文章読本』の場合—」『静岡産業大学情報学部研究紀要』第24号、R3	054-645-0191	054-645-0195	mtani@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0101	国語	言語教育		外国人から見た日本語	静岡産業大学	経営学部	教授	土居 蘭子	R3 吉田町シニアカレッジ「知っているようで知らなかった日本語の世界」 R3 高大連携出張講座「多文化共生を考える」	・『老外最想与你聊的100日语话题』(中国宇航出版社、共著) ・H23『ブラジル人生徒と日本人教員の異文化間コミュニケーション』(風間書房、共著) ・H28『中国、ベトナム進出日系企業における異文化間コミュニケーション考察』(風間書房、共著)	054-645-0191	054-645-0195	doi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0101	国語	学校教育		・物語を読むとは ・一文を小集団で読む実践	聖隷クリストファー大学	国際教育学部	准教授	ふくしげ ひろゆき 福重 浩之	・H29九州国語教育学会「書く子どもの実相を求めて」 ・H30九州国語教育学会「書く子どもの実相を求めて—2018年度 M小学校文法調査結果を通して—」	・H31「書く子どもの実相を求めて—2018年度 M小学校文法調査結果を通して—」(九州国語教育学会紀要 第8号) ・令和2年「書く子どもの実相を求めて—2018年度、2019年度 M小学校文法調査結果の比較を通して—」(九州国語教育学会紀要 第9号) ・令和3年「『大造爺さんと雁』教材前史—椋嶋十の思いを教室に—」(九州国語教育学会紀要 第10号)	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/scu/hp/KgApp?resId=S000234
0102	社会	社会科教育		社会科の教材開発・学習指導・授業研究	静岡大学	教育学部	准教授	むらい たいすけ 村井 大介	・R4.1静岡大学教育学部附属島田中学校「社会科の授業に求められる新しい資質・能力、評価とは」 ・R4.6藤枝市教育研究会情報と教育部研修会「一人一台端末の活用の可能性と課題」 ・R4.11沼津市小学校社会科研究チーム授業研修会「歴史を学ぶ子どもの姿と教師の関わり方を如何に捉えるか」 ・R5.7富士市中学校社会科夏季研修会「さらによりよい社会科の授業を目指して」	・R4『社会科重要用語事典』(明治図書、分担執筆) ・R4『教科専門性をはぐくむ教師教育』(東信堂、分担執筆) ・R6『Well-beingをめざす社会科教育』(古今書院、分担執筆) ・R6『社会科教育事典第3版』(ぎょうせい、分担執筆) ・R6『「省察」を問い直す』(学文社、分担執筆)	054-238-4608		murai.daisuke@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0102	社会	社会学		家族、少子化、児童福祉、児童虐待、ジェンダー、リプロダクション(妊娠・出産・不妊)、生命倫理	静岡大学	人文社会科学部	教授	しらい ちあき 白井 千晶	・静岡県保育士会「児童虐待への対応と私たちの役割」 ・静岡県児童養護施設協議会 ・浜松市DVネットワーク	・静岡県・ふじのくに少子化突破戦略事業アドバイザー ・静岡県社会福祉審議会委員(児童福祉専門分科会) ・富士宮市「女性応援会議アドバイザー」 ・日本助産評価機構・評価委員 ・養子と里親を考える会理事 ・全国養子縁組団体協議会理事 ・H31『フォスター里親家庭・養子縁組家庭・ファミリーホームと社会的養育』	054-238-6835		shirai.chiaki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0102	社会	社会学		社会調査、アンケート調査の企画と実施、量的調査の分析、高校生の進路意識、ライフコースにおけるジェンダー不平等	静岡大学	人文社会科学部	教授	よしだ たかし 吉田 崇	・R5「ワークライフバランス推進のために:調査から見える若者の価値観」(藤枝市男女共同参画管理職研修) ・R5「高校生の進路意識と地域志向」(静岡県教育委員会公立高等学校進路指導主事研修会) ・R5(出張講義)「教育における機会の不平等とは:階層、地域、ジェンダーの観点から」(掛川西高等学校) ・R4(出張授業)「大学で社会科学を学ぶ:社会調査を通して見る社会」(焼津中央高等学校)	・R5『社会階層論』日本家族社会学会編『家族社会学事典』 ・R3「女性のライフコースとキャリア形成格差」渡邊勉ほか編『少子高齢社会の階層構造』東京大学出版会、所収) ・H31「計量的な調査」(西野理子・米村千代編『よくわかる家族社会学』ミネルヴァ書房、所収)	054-238-4484		yoshida.takashi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0103	地理歴史	地理教育		社会科地理的分野、地理総合、地理探究の背景と授業づくり、フィールドワーク、地図・GISの使い方	静岡大学	地域創造教育センター	准教授	やまもと りゅうた 山本 隆太	・免許更新講習講師 ・静岡大学東部サテライト伊豆半島探究学習サミット ・糸川川白嶺高校・防災フォーラム ・日本ジオパークネットワーク全国研修会ESD講習(2017年5月、2018年2月)	・R2『地理教育フィールドワーク実践論』(学文社) ・H30『地理オリンピックへの招待』(古今書院) ・H31『ヨーロッパ』(朝倉書店)(分担:「自然環境」) ・R3『社会科教育へのケイバビリティ・アプローチ』(風間書房) ・R3『システム思考で地理を学ぶ』(古今書院)(分担:思考ツール) ・R3『持続可能な社会に向けての教育カリキュラム』(古今書院)(分担:ESD/SDGs)	054-238-4895		yamamoto.ryuta@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0103	地理歴史	西洋史		異文化理解のための中世画像資料の活用	静岡大学	人文社会科学部	教授	ふじい まさお 藤井 真生	・H31豊田南高校出張授業 ・R2静岡歴史教育研究会「西洋中世のベストと歴史教育」、静岡大学社会連携情報交換会「高校教員と連携した地歴教員養成講座の取り組み」、静岡大学webセミナー「都市社会におけるビール文化」	・地歴教員養成講座(静岡大学人文社会科学部歴史学コース主催) ・H31『大学的静岡ガイド』責任編集 ・R1『侠の歴史西洋編・下』(清水書院、分担執筆) ・R2「中世後期の彩彫写本をめぐる研究と教育の可能性」『フェネストラ:京大西洋史学報』4号 ・R3『中欧・東欧文化事典』(丸善出版、項目執筆)	054-238-4510		fujii.masao@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0103	地理歴史	地理学		ピンポン球で地球儀を作って考えよう	沼津工業高等専門学校	教養科	教授	さとう たかのり 佐藤 崇徳		対象:小学4年生~中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/
0104	公民	政治学 政治思想		政治参加、投票参加、主権者教育、シティズンシップ教育、女性の政治参画、地方政治に関して	静岡大学	人文社会科学部	教授	いぬい なぎ 井柳 美紀	・R3静岡県東部明るい選挙推進協議会明るい選挙推進研修会(「若者の投票率の向上について」、講師) ・R3静岡県西部明るい選挙推進協議会研修会(「地方選挙の投票率を考える」、講師) ・R4明るい選挙推進協会令和3年代表者会議・全国フォーラム(パネルディスカッション「若者が考える政治・選挙」におけるコーディネーターを担当) ・R4「市政を身近に考える会」・NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか主催「女性講座市政を身近に」(「市民と政治」、講師)		054-238-4536	054-238-4536	ianagi.miki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください
0104	公民	国際法		国際法から世界をみる	静岡県立大学	国際関係学部	教授	さかまき しずか 坂巻 静佳	・H27高大連携出張講義(伊東高校)「領海での外国公船の航行」 ・H27高大連携出張講義(清水桜が丘高校)「日中大陸棚の境界確定」 ・H28高大連携出張講義(富士宮西高校)「沖ノ鳥島は島か」 ・H29高大連携出張講義(浜松市立高校)「沖ノ鳥島は島か」 ・H30高大連携出張講義(浜名高校)「総領事館に助けにいける?」 ・R2高大連携出張講義(豊橋東高校)「船舶の入港をめぐる沿岸国の権利義務」 ・H29富士市民大学「沖ノ鳥島は島か」	「軍艦その他の政府公船に対し保護権の行使としてとりうる措置」『日本海洋政策学会誌』第5号(2015年)。 「中国の「東海防空識別圏」の法的評価」(『国際関係・比較文化研究』(静岡県立大学国際関係学部)第16巻1号H29)。 「制限免除主義の下での裁判権免除の判断基準—雇傭契約事案の分析を通じた再検討—」(『国際法外交雑誌』第116巻3号(2017年))。 「BBNJ新協定の地域漁業管理機関に対する影響」坂元茂樹他編『国家管轄権外区域に関する海洋法の新展開』(有信堂高文社、2021年)。	054-264-5102 (代)		sakamaki@shizuoka-ken.ac.jp	https://db.shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of636.html

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0104	公民	開発経済学		経済学と日本・世界経済	静岡県立大学	国際関係学部	講師	いいの 飯野 光浩	令和3年度高大連携出張講義(浜松市立高校)「開発協力白書からみる日本のODAの特徴と理念」 令和2年度高大連携出張講義(サレジオ高校)「『高校生のための国際貿易入門』—トランプ政権下における貿易について考える—」 令和1年度高大連携出張講義(富士市立高校)「『高校生のための開発経済学入門』—新興・途上国の食糧問題を考える—」 令和1年度高大連携出張講義(清水東高校)「『高校生のための国際貿易入門』—トランプ政権下における貿易について考える—」		054-264-5382	054-264-5382	iino@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of115.html
0104	公民	哲学	New	柳宗悦の「民藝」思想	日本大学	国際関係学部	准教授	おおさわ 大沢 啓徳			055-980-0801	055-987-6350	nakamura.hiron@nihon-u.ac.jp	【公式】日本大学国際関係学部 (https://www.ir.nihon-u.ac.jp/)
0104	公民	経済倫理学、経済学史、ミクロ経済学		経済と倫理	静岡英和学院大学	人間社会学部	講師	かん 菅 隆彦		・菅隆彦(2019)『『道徳感情論』の現代経済学的再解釈—アマルティア・センによる解釈への批判と、進化経済学を用いた再解釈—』博士論文(東北大学)。 ・菅隆彦(2020)『アマルティア・センの『道徳感情論』解釈—良俗の一般的諸規則とコメント—』ITERG Discussion Papers 434。	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0104	公民	公共政策・地方自治論		静岡県の地域の現在・過去・未来—静岡県の地域構造	静岡産業大学	経営学部	教授	小泉 祐一郎	・天竜高校出張講座「静岡県の過去・現在・未来」 ・小山高校出張講座「静岡県の地域の発展」 ・池新田高校出張講座「静岡県の地域の発展」 ・県社会教育課公民館職員研修「発想創造力研修」	・菅隆彦(2019)『『道徳感情論』の現代経済学的再解釈—アマルティア・センによる解釈への批判と、進化経済学を用いた再解釈—』博士論文(東北大学)。 ・菅隆彦(2020)『アマルティア・センの『道徳感情論』解釈—良俗の一般的諸規則とコメント—』ITERG Discussion Papers 434。	054-645-0191	054-645-0195	y-koizumi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0104	公民	公共政策・地方自治論		静岡県の歴史、文化、産業、都市	静岡産業大学	経営学部	教授	小泉 祐一郎	・島田樟誠高校出張講座「今川文化と静岡」 ・静岡産業大学BiViキャン無料講座「東海道と塩の道」 ・静岡産業大学BiViキャン無料講座「市町村合併の歴史から見た地域の現在」 ・清水国際高校「富士山信仰」	・菅隆彦(2019)『『道徳感情論』の現代経済学的再解釈—アマルティア・センによる解釈への批判と、進化経済学を用いた再解釈—』博士論文(東北大学)。 ・菅隆彦(2020)『アマルティア・センの『道徳感情論』解釈—良俗の一般的諸規則とコメント—』ITERG Discussion Papers 434。	054-645-0191	054-645-0195	y-koizumi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0104	公民	現代社会		外国人労働者、移民と日本社会	静岡産業大学	経営学部	教授	近藤 尚武	・浜松市市民講座「外国人労働者について」		0538-37-0191	054-645-0195	nkondo@ssu.sc.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0104	公民	経済学		国際収支から見た日本経済	静岡産業大学	経営学部	教授	近藤 尚武	H29年度「 아이폰 (iphone) は一体誰が作っているの? 」静岡中央高校出張講義 R3年度「移民と日本経済」静岡県行政書士会公演		0538-37-0191	054-645-0195	nkondo@ssu.sc.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0104	公民	経済学		統計を用いた経済分析	静岡産業大学	経営学部	教授	牧野 好洋	・H30 静岡県 地方統計職員業務研修 講演「経済波及効果分析入門—産業別・市町別・事業所規模別の構造分析—」 ・H30 内閣府 GDPに関する講演会 講演「GDPとシェアリング・エコノミー」 ・R1 内閣府 県民経済計算全国主管課長会議 講演「県民経済計算における中央政府の扱いについて」 ・R4 内閣府 県民経済計算推計支援アドバイザー派遣及び集中的支援事業 講演「2015年基準改定における中央政府の取り扱い変更について」	・R2 中小企業庁「戦略的基盤技術高度化・連携支援事業」委員 ・R3 内閣府「地域間の移出入推計の課題に対応するための調査」会議座長 ・R3 総務省「産業分類改定研究会」構成員 ・R4 内閣府「県民経済計算標準方式等の整備作業」座長 ・寄稿「産業のつながりに着目」(『日本経済新聞』H30.8.13) ・論文「静岡市ものづくり産業の構造と予測」(『ものづくり先進都市等調査研究報告書』H31)	054-645-0191	054-645-0195	makino@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0104	公民	地域経営		人口減少時代の地域経営戦略 — 企業経営の視点から	静岡産業大学	経営学部	副学長	丹羽 由一						
0105	算数	算数教育 算数の授業づくり、 授業研究	New	資質・能力を育成する算数科の授業づくり 主体的・対話的で深い学びを実現する算数科授業研究	静岡福祉大学	子ども学部	講師	こばやし 小林 広昭	横浜市立新吉田小学校他5校において、授業づくりについての講演または、授業研究会の指導助言を複数回、行っている。	「主体的・対話的で深い学びを実現する算数科校内研究」(共著)(学事出版) 「数学的に考える資質・能力を育成する算数の授業」(共著)(東洋館出版社)	054-623-8548 (直通)	054-623-8548 (直通)	hi-kobayashi@uw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/hir oaki_kobayashi.html
0106	数学	数学教育		小学校算数科・中学校・高等学校数学科 における学習指導	静岡大学	教育学部	教授	まつもと 松元 新一郎	R1 志太教育研究会講師浜松市教育研究会(算数・数学科研究部)講師他 R2 藤枝市立藤枝小学校校内研修会講師他 R3 湖西市教育研究会講師清水町立南小学校校内研修会講師他 R4 田方地区教育研究会算数数学科研修会講師藤枝市教育研究会算数研究部研修会・講師他 R5 田方地区教育研究会算数数学科研修会講師志太教育研究会算数・数学科研究部講師他	・R1『改訂新版講座算数授業の新展開6第6学年』東洋館 ・R1『小学校算数・中学校数学「データの活用」の授業作り』明治図書 ・R3『統計的探究プロセスにもとづく小学校算数科授業研究に関する一考察』日本数学教育学会春期研究大会発表収録9 ・R3『リスク社会における数学教育の貢献のあり方』日本科学教育学会年会論文集45 ・R6『小中高を一貫する割合指導の体系的カリキュラムとその具体』静岡大学教育実践総合センター紀要34(共著)	054-238-4611	054-238-4611	matsugen@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください。
0106	数学	数学教育	New	小学校算数科・中学校・高等学校数学科 における学習指導	静岡大学	教育学部	講師	みわの 峰野 宏祐	R1 2019年度印旛地区算数・数学教育研究会講師 R4 墨田区立中学校教育研究会数学科研究部第2回授業研究会講師 R5 千葉県教育研究会船橋支会数学科部2月研修会講師 R5 墨田区立中学校教育研究会数学科研究部夏季研修会講師 R5 第78回関東甲信静数学教育研究会神奈川大会指導助言 R5 東京学芸大学附属小金井中学校公開授業研究会数学科助言者	R3『中学校数学科新学習指導要領×アフター・コロナ×GIGAスクール時代の数学授業39の新提言』明治図書 R4『板書で見る全単元・全時間の授業のすべて数学中学校3年』東洋館出版社 R5『データの活用領域における批判的思考を促す問題の分析:中学校数学教科書の新旧比較から』静岡大学教育実践総合センター紀要33(共著) R6『論説3:統計データの特徴を読み取り判断することにおける数学的な見方・考え方とその成長について』『新しい算数研究』2月号	054-238-4345	054-238-4345	kmineno@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください。
0106	数学	微分方程式論 応用数学		数列は数学と他分野を結ぶ	静岡大学	工学部	教授	みやざき 宮崎 倫子			053-478-1224	053-478-1224	miyazaki.rinko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より 教員名等で検索してください。

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0106	数学	数学教育		数学的活動を中核とした授業づくり(小・中)	常葉大学 (草薙キャンパス)	教育学部	准教授	ちくさ としひこ 竺沙 敏彦	<ul style="list-style-type: none"> ・H30 日本数学教育学会第65回近畿算数・数学教育研究滋賀大会 指導助言 ・H30-R2 京都府内行政主催教職員研修会 講師(計5回) ・H30-R2 京都府中学校教育研究会主催教職員研修会 講師、指導助言(計9回) ・H30-R2 京都府中学校教育研究会理事・部会長合同研究会 指導助言(計2回) ・H30-R2 京都府小学校、中学校 校内研修会 講師(計10回) ・R1 京都府南船地域小学校・中学校教務主任会 講師 ・R2 京都府高等学校副会長会学習指導部会研修会 講師 ・R6 静岡県内高等学校「総合的な探究の時間」に関する講師(生徒対象) ※内容は、「授業づくり支援」、「学力調査の活用講座」、「校内授業研究会の支援」、「学力向上に関する講義」等	【職務歴、受賞歴】 ・H30-R2 京都府総合教育センター主任研究主事兼指導主事 ・H30 第7回未来教育研究所研究助成奨励賞／京都府統計グラフコンクール佳作 ・R4 第19回辰野千壽教育賞優秀賞／第38回学習デジタル教材コンクール佳作 ・現在 中学校数学検定教科書編集委員 【科学研究費補助金】 ・H31 科研費「初等中等教育段階において複数学年で活用する数学的モデリング教材の開発及びカリキュラム化の研究と評価の整備」他 合計11回獲得 【論文】 ・R1「中学校数学におけるICTを活用した反比例学習のための一教材」、日本科学教育学会 ・R2「授業づくりの支援(第1年次)の成果と課題」、京都府総合教育センター研究紀要 ・R3「授業づくりの支援の成果と課題～『授業づくり思考ツール』等を活用した学校現場の支援を通して～」、京都府総合教育センター研究紀要 ・R5「数学的活動の充実に向けた教材開発研究」、常葉初等教育研究第9号 ・R5「除数が分数のわり算の關係的理解についての一考察(1)：現行教科書における面積図の取り扱い方の概観」、教育研究実践報告誌	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	chikusa@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/social-environment/social-environment/chikusa/
0106	数学	数学		算数・数学で防災教育	沼津工業高等専門学校	教養科	准教授	すずき まさき 鈴木 正樹	対象：小学5年生～中学生		055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/
0106	数学	数学		中学校数学科における授業づくり	常葉大学 (草薙キャンパス)	教職大学院	准教授	すずき まこと 鈴木 誠	<ul style="list-style-type: none"> ・R3 千葉県専門研修中学校数学科講師「中学校数学科～対話的な学習を視点とした授業改善の在り方～」 ・R3 全国算数・数学教育研究(埼玉)大会講習会講師「中学校数学科における思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり」 ・R4 世田谷区立中学校教育研究会数学研究部会前期研究会講師「主体的・探究的な学びの実現を考える」 ・R4 東京学芸大学附属世田谷中学校数学科夏期現職研修セミナー講師 ・R4 世田谷区立中学校教育研究会後期研究会数学科部会講師「探究的な授業の実現」 ・R4 日本数学教育学会主催 第8回中学校数学授業づくり研究会協議会パネリスト ・R5 世田谷区立中学校教育研究会数学科前期研究会「『主体的・探究的な学びの実現』を考える」 ・R6 長野県算数数学教育研究会令和5年度冬の研修会「数学的活動の充実を目指す授業づくり」 ・R6 岡山県玉野市立宇野中学校「数学的活動の充実を目指す授業づくり」 ・R6 足立区立中学校教育研究会数学科部会講演会「数学的活動の充実を目指す授業～数学的な考え方を伸ばす指導に向けて～」 ・R6 中野区中学校教育研究会・数学科教科研修会「主体的・対話的で深い学びを促す授業づくり～数学的な考え方を伸ばす指導を目指して～」 	<ul style="list-style-type: none"> ・R1 『中学校新学習指導要領の展開』(明治図書)分担執筆 ・R2 『変化の割合を利用し具体的な事象について説明する学習指導』(日本数学教育学会誌102(3)) ・R3 『空間における2直線の平行の定義を見いだす学習指導』(日本数学教育学会第9回春期研究大会論文集) ・R3 『新学習指導要領×アフター・コロナ×GIGAスクール時代の数学授業39の新提言：中学校数学科』(明治図書)共編著 ・R3 『新3観点の学習評価完全ガイドブック中学校数学：評価事例&テスト問題例が満載!』(明治図書)分担執筆 ・R3 『算数・数学授業研究ハンドブック』(東洋館出版社)分担執筆 ・R3 『算数・数学科 小中連携の新しい図形指導』(明治図書)分担執筆 ・R3 『中学校数学指導スキル大全』(明治図書)分担執筆 ・R3 『主体的に学習に取り組む態度』の学習評価完全ガイドブック中学校数学』(明治図書)分担執筆 ・R4 『算数・数学科 小中連携の新しい図形指導』(明治図書)分担執筆 ・R4 『中学校数学指導スキル大全』(明治図書)分担執筆 ・R4 『主体的に学習に取り組む態度』の学習評価完全ガイドブック中学校数学』(明治図書)分担執筆 ・R5 『教材研究×数学：図解&実例でしっかりわかる超実践ガイド』(明治図書)分担執筆 	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	m-suzuki@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/suzukimakoto/
0107	理科	理科教育学		ミニロボプログラミングを使った課題解決型学習の構想	静岡大学	教育学部	准教授	ぐんじ よしゆき 郡司 賢透	<ul style="list-style-type: none"> ・R01.09 ミニロボを使ったプログラミング教育と小学校理科の関わり(浜松市情報教育研究部・浜松市立産業展示館) ・R03.07 小学校理科における個別最適化学びの実現を目指して(磐周教育研究会・磐周教育研究所) ・R04.09 理科実験実技研修会(伊東市教育研究会理科研究部・伊東市立南小学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R03.03 論文「プログラミングにおける指導者のコーチングと児童の試行錯誤の関わり」(静岡大学教育学部研究報告教科教育学篇、第53巻、27-36頁) 	054-238-4637	054-238-4637	gunji.yoshiyuki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0107	理科	地球微生物学 微生物生態学		環境物質循環、温泉科学、新エネルギー生産、地産地消エネルギー、災害時防災ステーション創成	静岡大学	グリーン科学技術研究所	教授	きむら ひろゆき 木村 浩之	<ul style="list-style-type: none"> ・R1.7 静岡県環境ビジネス協議会 講演会 講師 ・R2.11 静岡大学・読売新聞連続市民講座2020「静岡学事始め第二章 ～歴史と大地の“層”を紐解く～」講師 ・R4.3 第142回ふじのくに防災学講座 講師 ・R6.6 富士市民大学前期ミニカレッジ講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・R2.1 静岡の大規模自然災害の科学(静岡新聞社)「第4部、第5章 ライフラインを自家供給する地域防災拠点の創成」 ・R4.4 難培養微生物研究の最新技術Ⅲ(普及版)(シーエムシー出版)「地下圏微生物によるメタン生成と分散型エネルギー生産技術への応用」 	054-238-4784	054-238-4784	kimura.hiroyuki@shizuoka.ac.jp	http://kimura-lab.sci.shizuoka.ac.jp/top.html
0107	理科	光科学		太陽紫外線による障害と日焼け止め	静岡大学	工学部	教授	ひらかわ かずたか 平川 和貴	R5年10月21日ふじのくに地域・大学コンソーシアム 共同授業「人間と環境」	2020年 Photodynamic Therapy—from Basic Science to Clinical Research(光線力学的療法—基礎科学から臨床医学まで)分担執筆	053-478-1287	053-478-1287	hirakawa.kazutaka@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/hirakawa/
0107	理科	放射線安全学		放射線の性質、人体影響、法令	静岡大学	工学部	教授	ひらかわ かずたか 平川 和貴	R5年10月21日ふじのくに地域・大学コンソーシアム 共同授業「人間と環境」	2020年 Photodynamic Therapy—from Basic Science to Clinical Research(光線力学的療法—基礎科学から臨床医学まで)分担執筆	053-478-1287	053-478-1287	hirakawa.kazutaka@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/hirakawa/
0107	理科	地学、惑星科学		サファイヤアンビルセルを用いて高圧力条件を作り、あたたかい氷を観察する(実験を実演します)、海水が沈み込んで火山を作る(岩石標本を見せます)、リュウグウやペンヌからの回収岩石と地球の岩石を比較します(研究で用いている偏光顕微鏡、ラマン顕微鏡、電子顕微鏡を見学します)	静岡大学	理学部	教授	かわもと ちつひこ 川本 竜彦	2019年静岡県地学会(三島市)、2019年静岡大学理学部サイエンスカフェ(静岡市)		054-238-4788		kawamoto.tatsuhiko@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/subductionzonefluids/
0107	理科	放射線安全学		放射線の基礎	静岡大学	理学部	准教授	ちかだ たくみ 近田 拓未	<ul style="list-style-type: none"> ・R1 サイエンスカフェin静岡第137話「海から太陽をつくる～核融合炉が拓く未来～」 ・R2 高大連携出張授業「大学で学ぶこと～化学、放射線、そして社会～」(静岡城北高校) ・R2 後期静岡大学FSS高校生1名の受け入れ 		054-238-4796	054-238-3989	chikada.takumi@shizuoka.ac.jp	または、静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0107	理科	生物多様性 進化古生物学		生物多様性、進化古生物学	静岡大学	理学部	教授	つかごし 塚越 哲	<ul style="list-style-type: none"> ・県内高校への出張授業(過去3回) ・H29.6 日本動物分類学会賞受賞記念講演「貝形虫類(Ostracoda)の自然史研究」 ・H30 全国科学博物館協議会・平成30年度第2回総会記念講演「生物多様性と博物館の役割—海外での研究を取り巻く変化を交えて—」 ・R4.7 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム・2022年オムニバス授業「地球環境史学：砂の隙間にすむ生き物を見る～間隙性貝形虫類の多様性と生態～」 ・R4.9 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム・企画展・足もとの小さな世界関連イベント観察会「砂の中の生物の観察」 		054-238-4800	054-238-0491	tsukagoshi.akra@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0107	理科	理科教育学		幼少期における理科学的な学びの意義と実践	静岡大学	教育学部	准教授	ぐんじ よしゆき 郡司 賢透	<ul style="list-style-type: none"> ・R05.08 牧之原市サイエンススクール講師(公益財団法人山崎こども教育振興財団・静岡大学教育学部) ・R05.08 江尻児童クラブ講師 ・R05.11 幼保小接続期における素朴生物と学校生物の円滑な接続と教授法に関する研究会講師(宮城学院女子大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・R03.12 研究「幼児期における生物多様性学習プログラムの開発」(静岡市環境局環境創造課) ・R05.05 自然遊び(静岡市環境局環境共生課・駿府城公園) 	054-238-4637	054-238-4637	gunji.yoshiyuki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0107	理科	理科教育学		理科カリキュラム構成の基礎	静岡大学	教育学部	准教授	ぐんじ よしゆき 郡司 賢透	・R01.08小学校教員認定講習講師(静岡県教育委員会) ・R01.10授業力向上研修(静岡県立吉原工業高等学校) ・R05.08-10アカデミック・ハイスクール事業講師(焼津中央高等学校)	・H31.02著書『理科教育における化学工業教材の意義と変遷』(風間書房) ・R06.03著書『理科カリキュラム史研究の現状と今後の可能性』(愛知教育大学出版会)	054-238-4637	054-238-4637	gunji.yoshiyuki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0107	理科	光科学		光を用いた病気の治療学	浜松医科大学	医学部	教授	ながしま ゆう 長島 優			053-435-2390	053-435-2394	yunaga@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/impr/biomed-photo-eng/index.html
0107	理科	病理学、ウイルス学、超微形態(ナノスーツ法)	New	ウイルス学、病理学	浜松医科大学	光医学総合研究所 先端生体イメージング研究部門 ナノスーツ開発研究分野	分野長・准教授	かわさき ひでや 河崎 秀陽	・静岡県立磐田南高校「ミニ大学」(2019、2020、2021、2022、2023) ・三方原中学出張授業(2019、2020、2021、2022、2023)	日本病理学会病理専門医・指導医	053-435-2504	053-435-2504	gloria@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/nanosuit/index.html
0107	理科	理科教育		探究のプロセスを踏まえた理科の授業の行い方	東海大学	海洋学部	教授	こばやし としゆき 小林 俊行	・H30日本エネルギー環境教育学会全国大会「エビデンスを基に未来のエネルギーと環境を創造する教育の推進」 ・R元日本理科教育学会全国大会「Society5.0に定める理科教育の創造」 ・R2エネルギー環境フォーラム「学習指導要領におけるエネルギー環境教育の位置付け」	・国立教育政策研究所 学力の把握に関する研究指定校事業に係る企画委員 ・国立教育政策研究所 「評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究」協力者 ・H30中学校学習指導要領解説編理科 ・R元 「エネルギー環境教育アイデアブック」 ・明治図書「指導と評価が見える365日の全授業 中学校理科1年」 ・R6 新興出版社「質の高い探究授業のために」	054-334-0411	054-334-9837	edukoba@tokai-u.jp	
0107	理科	理科教育		学びを支援する評価、学びの所産としての評価の行い方	東海大学	海洋学部	教授	こばやし としゆき 小林 俊行	・H26～R3 静岡教師塾「評価のあり方」 ・H30富士宮市理科研修会「探究的な授業の行い方」	・国立教育政策研究所 学力の把握に関する研究指定校事業に係る企画委員 ・国立教育政策研究所 「評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究」協力者 ・H30中学校学習指導要領解説編理科	054-334-0411	054-334-9837	edukoba@tokai-u.jp	
0107	理科	科学教育学 理科教育学		理科教育における問題解決の本質 ～楽しく学ぶ理科教育の極意～	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	おだぎり まこと 小田切 真	・R5 静岡市教育センター主催 悉皆研修「小学校理科基礎実験講座」他	・R2「令和の時代を拓く心を寄せ合う理科教育法」学校図書 他	054-297-6100	054-297-6101	modagiri@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/odagiri/
0107	理科	生物多様性		生物多様性を庭から支える一生き物と呼ぶ仕組みづくり	静岡福祉大学	子ども	教授	さかた しょうこ 坂田 尚子	静岡市薬科生涯学習センター みのり大学, 2024	ふじのくに地球環境史ミュージアムでの環境に関わるプログラム開発と実践	054-623-8547		sakata_shoko@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/shoko_Sakata.html
0108	物理	X線天文学		天文学一般について:X線天文学(人工衛星開発・ブラックホール等)の話題、教科書の内容に関する話題、より一般的な天文学の話題についてお話できます。望遠鏡や機材を複数台所持していますので(昼間の太陽黒点観測を含めた)観望会や、人工衛星電波受信実験の実施等も可能です。	静岡大学	教育学部	准教授	うちやま ひでき 内山 秀樹	・富士市委託事業学校研修助言(R5年度) ・附属静岡中学校総合的な学習の時間「探究」担当(R4.5年度)中学3年対象 ・富士市民大学「宇宙で知りたい3つのこと～ブラックホール、宇宙の始まりと終わり、宇宙人～」(R4年度)「宇宙の不思議に迫る」(R5年度)市民対象 ・教員免許更新講習「観測と理論から眺める太陽・地球」(R3年度)教員対象	・「小型衛星の科学教育利用を考える会」実行委員 ・日本天文教育普及研究会中部支部選出代議員(R4年度-) ・静岡大学附属静岡小・中学校共同研究者(R3年度-) ・「高校物理のための人工衛星電波受信実験の教材化と実践」(『物理教育』68巻2号R2) ・「UDONを使った原始星・恒星からのX線フレアの解析～高校での教育利用を目指して～」(『天文教育』33巻5号R3)	054-238-4620		uchiyama.hideki@shizuoka.ac.jp	https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/Default2.aspx?id=11087&l=0
0108	物理	放射線計測	New	放射線治療における放射線計測	浜松医科大学	地域創成防災支援人材教育センター	特任助教	うえしま ゆうすけ 上島 佑介	・日本放射線治療専門放射線技師認定機構認定 2023年度 東海地区講習会にて講演 ・令和元年度 日本放射線治療専門放射線技師認定機構統一講習会 放射線治療セミナーにて講演		053-435-2079	053-435-2241	ueshima@hama-med.ac.jp	https://www.nama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/rcec/index.html
0108	物理	物性理論	New	物理学に関係する講義	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	てぐち けん 出口 憲	・R3 常葉高校連携講座「磁石の不思議」	・R2「導線外の電磁エネルギーの流れについて」(『常葉大学教育学部研究紀要』第40号、227-242ページ) ・R1「導線内電流分布の解析」(『常葉大学教育学部研究紀要』第39号、267-281ページ)	054-297-6100	054-297-6101	kdeguchi@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/deguchi/
0108	物理	レーザー工学 宇宙工学		①太陽光発電 - 原理から最先端技術・産業の現状と展望まで ②光技術の宇宙利用 - 衛星間光通信からレーザー-宇宙太陽光発電まで ③レーザー光とは - 原理から最先端技術・産業の現状と展望まで ④LEDの仕組みと応用 ⑤レーザーサビ取り レーザーでサビを取り、古くなった橋や鉄塔を持続可能にする装置の開発と事業化	光産業創成大学院大学	光産業創成研究科	教授	ふじた かずひさ 藤田 和久	・R1 光産業創成大オープンキャンパス「コミュニケーションで紡ぐイノベーションの成功例「対話」～(株)トヨコーとの協業～」 ・R1 静岡商工会議所産官学連携講座、静岡農業高校生徒向けイノベーション事例紹介 ・R1-R5 浜松市起業家カフェ「光の起業サポート例」 ・R3-R4 レーザー施工研究会資格講習「レーザー基礎知識」「施工安全」 ・R5 OPIE'23(展示会)併設セミナー、レーザー基礎&応用「レーザークリーニングの広がり」(高校向け程度) ・R6 光産業創成大Web講義「あなた×気候変動=チャンス」	・「kW級CWレーザーを用いた表面クリーニング技術の開発と除染適用の試み」(『日本原子力学会誌』62巻5号 R1) ・(一社)レーザー施工研究会、専門家理事、安全部会・人財育成部会委員 R1-R5 ・「経緯とコミュニケーションによる産学連携事業」(『光学』52号10号 R5) ・「高出力CWレーザーがもたらす地上インフラ維持管理の産業化と宇宙インフラ構築の可能性」(『レーザー研究』51巻9号 R5)	053-484-2501	053-487-3012	info@gpi.ac.jp	https://www.gpi.ac.jp/research/energy/professor-12/
0108	物理	レーザー工学 光学		レーザー工学の基礎 レーザー加工による材料表面処理 レーザー計測・加工デモ	光産業創成大学院大学	光産業創成研究科	准教授	おきはら しんいちろう 沖原 伸一郎	H30年5月企業青年部向けセミナー講師「最先端の光・レーザー技術とその事業化について」 R2「トレンド光源中赤外線レーザーを用いた研究展開について」光産業創成大学院大学WEBキャンパス(オープンキャンパス)(一般対象) R3「レーザーを用いたものづくりの現場からお伝えしたい光のツカイ方」日本マイクロサージャリー学会 R3「レーザービーニングの世界」光産業創成大学院大学WEBキャンパス(オープンキャンパス)(一般対象)	・薄膜作成応用ハンドブック 第7章 薄膜の加工/改質技術 第4節 レーザ加工・改質 2020年2月	053-484-2501	053-487-3012	info@gpi.ac.jp	https://www.gpi.ac.jp/research/laser/professor-05/
0109	化学	無機化学(金属錯体化学)		カプセル型金属錯体を用いた水溶液中の有害イオンの検出	静岡大学	グリーン科学技術研究所	教授	こんどう みつる 近藤 満	・H29～R3 FSS(未来の科学者養成スクール)実験指導、および講演 ・H29～R4 静岡市立高等学校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)運営委員委員長 ・R1 大学院講義 東京工業大学 ・H29～R2 公開講座 体験!大学の化学実験 ・R1～R3 女子中高生を対象に含む研究室体験講座の実施 ・H30～R5 沼津東高等学校理科数科課題研究中間発表会講評	・金属錯体を用いた水溶液中からの有害陰イオンの高効率除去 ・“Functions Based on Dynamic Structural Changes of Coordination Polymers” Supramolecular Chemistry from molecule to nanomaterials Eds. P. A. Gale and J. W. Steed. 2012. Section 7: Soft Matter, pp. 3205-3220. ISBN: 978-0-470-74640-0	054-237-3384	054-238-4763	kondo.mitsuru@shizuoka.ac.jp	http://www.kondolab-shizaidai.sakura.ne.jp/Kondo_Lab/Kondo_lab.html

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0109	化学	有機化学、プロセス化学		化学者は多くの命を救える～ from mg to ton:基礎研究から工業化まで～	静岡大学	グリーン科学技術研究所	教授	まかせ 間瀬 のぶゆき	・R2.12 出張講義 福井大学「グリーンものづくり:10年間でちょっとできるようになってきたこと」	現在の研究 ・ファインバブル(FB)を用いた新規有機合成手法の開発 ～発想の転換による常圧気相-液相反応～ ・連続フロー合成によるファインケミカルズ合成 ～研究室におけるデスクトッププラントの構築～ ・超臨界CO2と有機触媒によるポリ乳酸の高純度合成技術 ～安全性と反応性を両立する合成手法の開発～ ・有機触媒による環境調和型物質合成 ～水中でも不斉有機合成反応を実現する触媒～	053-478-1196	053-478-1196	mase.nobuyuki@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/mase/
0109	化学	材料有機化学		学年横断型中学理科実験の実施	静岡大学	工学部	教授	うえだ 植田 かずまさ	・H30～R5 静岡大学公開講座「作って学ぶ、工学部の化学実験」実施 ・H30～R5 「実験から学ぶ中学の理科」実施	・H30『演習・基礎から学ぶ 大学の化学』(培風館、共著)	053-478-1642	053-478-1642	ueda.kazumasa@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0109	化学	放射化学 放射線化学		放射線の基礎	静岡大学	理学部	准教授	おおや 大矢 やすひさ	・H29～R2原子力規制庁原子力規制人材育成事業「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」 ・R4～文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業「STEAM教育手法を活用し、エネルギー・環境問題を基盤とした原子力人材育成」	・2022年「新訂版静岡県における防災・減災と原子力」(静岡学術出版大矢恭久編著)	054-238-4803	054-238-3989	oya.yasuhisa@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0109	化学	放射化学 放射線化学		放射線の基礎	静岡大学	理学部	准教授	ちかだ 近田 たくみ	・R1サイエンスカフェin静岡第137話「海から太陽をつくる～核融合炉が拓く未来～」 ・R2高大連携出張授業「大学で学ぶこと～化学、放射線、そして社会～」(静岡城北高校) ・R2後期静岡大学FSS高校生1名の受け入れ ・R5前期高大連携出張授業「大学で学ぶ化学～理学部化学科+α～」(富士宮西高校)	・R4「第二版放射線計測と安全取扱」(静岡学術出版、共著)	054-238-4796	054-238-3989	chikada.takumi@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/chikadalab/ または、静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0109	化学	物性化学 物理化学		農業の構造活性相関「殺虫剤は何故効くのか」	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	まきの 牧野 まさかず	・R5「持続可能な食料生産を支える農業とその効くしくみ」:静岡県立大学公開講座 ・高大連携出張講義(毎年1から2校実施)例: R4 焼津中央高等学校「殺虫剤の安全性について」 ・R4「農業～食料生産に欠かせない薬剤の効くしくみ～」:静岡県立大学オープンキャンパス模擬授業 ・H22～現在(毎年)「21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム(Shizuoka Kita Youth Science Engineering Forum)」審査員(英語による質疑応答と講評) ・H22～現在(毎年)静岡県生徒児童学習発表会、審査委員長講評 ・H22～現在(毎年)高校生対象出張講義「農業の安全性」 「化学分析に必要な統計」	・R4「マイクロバブルと鉄電解を用いたNH3製造法」課題研究論文集(学校法人静岡理工科大学) ・R4「空気の微細な気泡と海水の鉄電解を用いたアンモニア製造法」課題研究論文集(学校法人静岡理工科大学) ・R3「空気と海水からアンモニアをつくる」課題研究論文集(学校法人静岡理工科大学) ・R3「Hydrogen production by photoreduction of Ferric ion using tea leaf residue」課題研究論文集(学校法人静岡理工科大学)	054-264-5785	054-264-5785	makinom@shizuoka-ken.ac.jp	http://dfns-shizuoka-ken.ac.jp/labs/phychem/
0109	化学	食品化学		おいしさの化学～分子の視点で捉える味と香り～(中学・高校で勉強する化学や生物などが社会に出てからどのように役立つのか、その一例として食品開発にふれる)	静岡県立大学	食品栄養科学部	准教授	いとう 伊藤 圭祐	・H30「味と香りを感じる仕組み」:静岡県立大学公開講座 ・H29「おいしさの化学～分子の視点で捉える味と香り～」:静岡県立大学オープンキャンパス模擬授業 ・H29「味と香りの分子論」:高大連携出張講義(県内3校) ・H29「おいしさの分子の目でみる」:静岡市北部生涯学習センター美和分館 ・H28「味を捉える化学の力」:女子中高生の理系進路選択支援プログラム	・H29「食品開発におけるマスキング素材の利用技術とアプリケーション」『テックデザイン企画 食品企業の研究開発者向けセミナー』2017年9月 ・H29「食品機能成分の苦味マスキング剤探索」『細胞』2017年49巻 pp.30-31 ・H29「『Visual栄養学テキスト 食べ物と健康 II. 食品学 各論』2017年pp.117-121」 ・H25「『Nature Commun.』2013年4巻 web.2502」	054-264-5543	無し	sukeito@shizuoka-ken.ac.jp	https://db.shizuoka-ken.ac.jp/show/profile401.html
0110	生物	生化学	New	タンパク質科学入門	静岡大学	理学部	准教授	あまの 天野 とよき	・R2～R4しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業人生100年時代、高齢者の地域活動・社会参加を促進したい！実施	・静岡新聞R3年1月8日(土)LINE教室で情報格差調査富士宮市と静岡大研究室 ・清水東高校SSH評価委員	054-238-7069		amano.toyoki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0110	生物	生化学	New	生化学入門	静岡大学	理学部	准教授	あまの 天野 とよき	・R2～R4しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業人生100年時代、高齢者の地域活動・社会参加を促進したい！実施	・静岡新聞R3年1月8日(土)LINE教室で情報格差調査富士宮市と静岡大研究室 ・清水東高校SSH評価委員	054-238-7069		amano.toyoki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0110	生物	細胞生物学	New	細胞の分裂、増殖、細胞老化、寿命、がん、オートファジー、アルツハイマー病	静岡大学	理学部	教授	うしまる 丑丸 たかし	・R2沼津私立高校出張授業「オートファジーと病気:タンパク質をどのように分解するか?」 ・R2静岡県高校理科教育研究会中部支部生物部会研修会「老いを科学する～老化と寿命はどこからやってくるのか～」 ・R3富士市民講座「老いを科学する～老化と寿命はどこからやってくるのか～」 ・R4静岡大学・読売新聞連続市民講座「老いはどこから来るのか?～老化のしくみとその対策～」 ・R5「吉田町シニアカレッジ」一般教養講座「老いはどこから来るのか?～老化のしくみとその対策」		054-238-4772		ushimaru.takashi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0110	生物	臨床遺伝学	New	臨床遺伝学 遺伝カウンセリング	浜松医科大学	医学部	准教授	いわいずみ 岩泉 守哉	佐賀大学医学部 ゲノム医療・遺伝医療セミナー(大学院特別講義) 2023年 北海道大学病院 令和5年度第7回腫瘍センターセミナー 2023年 浜松北高 先輩による課外授業「自分の強み・弱みと相談しながら好きなことを楽しむ」 2021年 その他、遺伝性腫瘍に関する市民公開講座講師 等	【委員など】 日本遺伝カウンセリング学会 研修委員会 委員 日本人類遺伝学会 遺伝医学セミナー実行委員会 委員 臨床遺伝専門医制度委員会 委員 【著書】 臨床遺伝専門医テキスト①臨床遺伝学総論(分担) コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート(分担) 【研究】臨床遺伝学に関する研究 【教育活動】浜松医科大学、同志社大学で臨床遺伝学に関する講義を担当	053-435-2788	053-435-2096	iwaizumi@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/cent-clin-fac/clin-mol-genetics-ctr/staff.html

■学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0110	生物	生物学 遺伝学		遺伝と健康に関する講義	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	こばやし きみこ 小林 公子	・H26 静岡県立大学公開講座「遺伝子と健康」(一般対象) ・H26 高大連携出張講義「おいしさの科学」(浜松市立高校、高校生対象) ・H26 夏季大学研修(静岡市立高校、高校生対象) ・H26 西部健康福祉センター研修会「遺伝子と健康」(管理栄養士対象)	・H21『テラーメイド個人対応栄養学』(建帛社、分担)	054-264-5220	054-264-5220	kobayasi@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of153.html
0110	生物	衛生学 微生物学 リスク教育 食品科学		微生物、感染症・ 「微生物・感染症を正しく恐れるには」	静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	教授	ないとう ひろたか 内藤 博敬	ウイルスとは～感染症の原因と対策～、リスク教育研究会セミナー「リスクの考え方と新型コロナウイルス」、2020年5月3日・10日 オゾンによる新型コロナウイルスの不活化について、機能水シンポジウム2020「機能水業界における新型コロナウイルス対策」、一般財団法人機能水研究振興財団、2020年10月17-18日 オゾン水の抗菌生物効果と定量的な試験法の規格化へ向けた取組み、技術情報協会主催セミナー、(株)技術情報協会、(Zoom)、2020年12月10日 新型コロナウイルス、高大連携講義・静岡県立浜松大平台高校、2020年12月22日 感染症から考えるリスク対策、静岡市主催 高齢者学級みのり大学美和学級、2021年10月6日 感染症を正しく恐れるには？、ヘルスケアプランナー検定協会主催 ヘルスケアプランナーオンラインセミナー、2021年10月9日 手のばい菌を培養してみよう、静岡市南部生涯学習センター主催講座、2022年7月24日-7月31日 微生物を知って感染症を正しく恐れる、みのり大学長田学級、長田生涯学習センター、2022年11月25日	農林業教育者としての食と健康、鈴木滋彦編、農林業の魅力と専門職大学、筑波書房(東京)、58-73(2022) リスク教育アクティビティ集、初版、東京、(株)資産とリスク研究所、87pp(2021) ヘルスケアプランナー教本(第1章:健康と医療 Section1、1-5 日本人の健康状態)(第2章:病気とは Section11 感染症)、初版、東京、(株)ドクターズプラザ、351pp(2020) リスクリテラシー向上のためのリスク教育、リスク学事典、第12章 リスク教育と人材育成、国際潮流、日本リスク研究学会(編集)、p618-623、丸善出版(株)(2019)	0538-31-7901	0538-34-4445	naito.hirotake@spua.ac.jp	https://naitouh.wixsite.com/naitouspage
0110	生物	生化学	New	分子生物学および生化学に関する講義	常葉大学(浜松キャンパス)	保健医療学部	教授	おおた つとむ 太田 力	・R4「遺伝子を学ぼう」令和4年度 常葉大学 公開講座 2022年 ・R4「がんになるメカニズム」令和4年度 静岡県西部地域共同授業	・R2「がん関連遺伝子のSNP探索」常葉大学 保健医療学部紀要 11(1) 23-27 ・R3「転写因子NRF2の機能ドメインの解析」常葉大学 保健医療学部紀要 12(1) 9-17 ・R4「転写抑制因子G9aの機能ドメインの解析」常葉大学 保健医療学部紀要 13(1) 1-8 ・R5「滑膜肉腫でみられる融合タンパク質の機能解析」常葉大学 保健医療学部紀要 14(1) 1-10 ・R6「滑膜肉腫の標的分子の探索」常葉大学 保健医療学部紀要 15(1) 1-8	053-428-3511(代)	053-428-2900(代)	tohta@hm.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-care/physics/oota/
0110	生物	生命科学		生命科学に関する講義・実験	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	くるとりょうこ 久留戸 涼子	・R3 常葉大学教員免許状更新講習生物分野おもしろ実験講座 ・R4 静岡県高等学校理科教育研究会中部支部生物部会「DNA入門」	・静岡県事業認定審議会委員 ・静岡県都市公園懇話会委員 ・静岡県事業評価監視委員会委員 ・The effects of Coriandrum sativum on breast cancer cells. 2022 Tokoha University Faculty Of Education Research Review 42, 155-170 ・The effects of broccoli sprouts on human breast cancer cells. 2023 Tokoha University Faculty Of Education Research Review 43, 241-257	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	ryoko@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/kuruto/
0110	生物	微生物学・ 感染症学		感染防御機構について知る	静岡英和学院大学短期大学部	食物栄養学科	講師	べんりこ 彭 徳子	2015年9月～現在 名古屋大学にて特定非営利活動法人ハンドフロンティアNPO「前向き研究会」セミナーで「免疫学入門」 2019年4月～現在 三重県桑名市にてヨガインストラクター向け「医学一般」 2003年4月～2008年6月 愛知県稲沢市にて名古屋文理大学サイエンス教育研究会理科離れプロジェクトの一環として、稲沢まつり、こどもフェスタにおいて、「おもしろ科学実験」 2019年12月6日～7日三英和合同ゼミ合宿で「食中毒・食物アレルギー」 その他国内外での学会発表	2022年2月 生命科学(三恵社) Augmented Immunological Activities of Re-combinant Lipopolysaccharide Possessing the Mannose Homopolymer as the O-Specific Polysaccharide.(査読付) Marked Reduction of Mouse Peritoneal CD5+ B cells by Intraperitoneal Administration of Lipo-polysaccharide. (査読付) Production of Monoclonal Antibody Dis-criminating Serological Difference in Escherichia coli O9 and O9a polysaccharides.(査読付)他 2023年10月 微生物学(三恵社)	054-262-0091	054-262-0091	presir-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0110	生物	生物物理学		生物学における光学顕微鏡～基礎から最先端まで～	光産業創成大学院大学	光産業創成研究科	准教授	よこた ひろあき 横田 浩章	R3「蛍光顕微鏡の基礎」光産業創成大学院大学WEBキャンパス(オープンキャンパス)(一般対象) R4「バイオ蛍光顕微鏡—その発展とタンパク質の蛍光1分子直視—」静岡大学集中講義(バイオ応用工学V)(学部生・大学院生対象) R5「量子ドットとフォトニクス—バイオイメージングを中心に—(2023年ノーベル化学賞「量子ドットの発見と合成」)」光産業創成大学院大学WEBキャンパス(オープンキャンパス)(一般対象)	・1分子生物物理学(蛍光1分子イメージング・生体分子1分子操作・顕微鏡開発)	053-484-2501	053-487-3012	info@gpi.ac.jp	https://www.gpi.ac.jp/research/bpxd/professor-15/
0111	地学	地震学	New	地震の波で地球の中を見る	静岡大学	理学部	准教授	いくた りょうや 生田 領野	・R1-R5中高生向けFSS(未来の科学者養成スクール)講師 ・R5ふじのくに防災講座講師 ・R1吉田町シニアカレッジ講師 ・R2静岡科学館るくるサイエンスカフェ講師 ・R4-R5小学校理科(三保第一小学校)講師		054-238-4801		ikuta.ryoya@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0112	図画工作	造形表現		幼児期における豊かな感性の育ちについて 幼児教育における造形技術について(実技指導)	静岡産業大学	経営学部	教授	さとう 寛子	H28-H30 大分市障がい者福祉センター「七宝焼」講師 H29講座講師 日本感性教育学会公開シンポジウム「感性のひらめきとこれからの感性教育」シンポジスト	・R2『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』(共著)萌文書林 ・R2『基礎からまなべる保育内容(人間関係)ワークブック』(共著)あいり出版 ・R2『保育者論・教育者論』(共著)株式会社わかば社 ・「ハサミの使用における母指中手指関節過伸展症の幼児への援助の検討—一手の巧緻性の観点から—」『美術教育学41号』R2 ・「幼稚園教育要領における『豊かな感性』のみとりの観点-5歳児の遊び場面の事例 検証から-」『美術教育学研究50号』H30	0538-37-0191	0538-36-8800	h-sato@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0113	音楽	音楽教育・ 声楽		児童生徒・教員を対象とした歌唱(合唱)指導 モンテッソーリ教育における音楽的活動(表現/音楽づくり/創作) 音楽科授業における指導助言	静岡大学	教育学部	助教	ひがしやしき なおこ 東屋敷 尚子	・R4年度静岡大学教育学部附属島田中学校音楽科授業づくりセミナー「声で創作・音楽づくり—モンテッソーリ教育における音楽的活動からの展開—」講師	(1)「改革教育運動のドイツにおけるモンテッソーリ教育の受容と音楽指導の実践——ベルリン＝ランクヴィッツおよびプレスラウの『子どもの家』における音楽指導の分析を通して——」、『音楽教育研究ジャーナル』第50号、平成30年、pp.1～15。 (2)「モンテッソーリ教育における音楽指導の本質と役割——改革教育運動期のドイツにおける教育メソッドの受容過程および音楽指導の検討を通して——」、令和3年、東京芸術大学令和2年度博士学位論文、pp.1～106。 * R4～静岡大学教育学部附属静岡中学校共同研究者 * R4～静岡大学教育学部附属島田中学校共同研究者	054-238-4644	054-238-4644	higashiyashiki.naoko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0113	音楽	音楽教育		教員を対象とした等・三味線の実技研修会 音楽科授業における指導助言 箏曲を中心とした発表会コンクールの審査 教員を対象とした日本の伝統音楽理解のためのレクチャー 児童生徒対象の箏曲鑑賞会(等三味線尺八による) 児童生徒対象の和楽器講習(箏)	静岡大学	教育学部	教授	はせがわ まこと 長谷川 慎	R1文化庁主催令和元年度伝統音楽指導者等研修会講師(授業実践コース) R1筑波大学附属中学校研究協議会「日本音楽の指導法に関して」講演 R1静岡県総合教育センター主催音楽の授業づくり研修「～口唱歌を用いた和楽器の指導～」講師 R1国立劇場・あざくら集い「三味線の響き～古態楽器の聴き比べ～」 R3三重県四日市市三泗音楽科研究協議会「生徒一人ひとりが生き生きと主体的に参加できる授業のあり方」 R4文化庁主催令和元年度伝統音楽指導者等研修会講師(授業実践コース) R4岡山県教育センター「我が国や郷土の伝統音楽における実践的な指導」音楽研修講座講師	(1)『唱歌で学ぶ日本音楽』日本音楽の教育と研究をつなぐ会、2019年3月、pp.36-39 (2)『日本の音楽』初等音楽科教育』ミネルヴァ書房、2019年4月、pp.103 (3)服部慶子、長谷川慶、長谷川慎、大石陽介「4-2-2.日本の伝統音楽作品」『音楽』で育成される資質能力-2019年度公開講座「邦人作品の調べ」におけるリベラル・アーツの要素」静岡大学教育実践総合センター紀要、2020年3月、pp.124-131 (4)鈴木章生、長谷川慎、服部慶子「2次期学習指導要領における我が国の伝統音楽・和楽器の学習3筆曲の学習の意義6おわりに」『中学校音楽科における我が国の伝統音楽の指導:筆の「奏法」に着目した創作授業による学びの深まり』静岡大学教育実践総合センター紀要、2020年3月、pp.106-114 (5)『第V章1筆(箏曲)の学習内容』『日本音楽を学校でどう教えるか』開成出版、2020年4月、pp.44-47 (6)長谷川慎・志民一成・櫻井千晶「1.実演家が初学者に求める歌唱技能2.伝統的な歌唱の特徴3.段階を踏まえた歌唱教材の提案」『音楽授業における歌唱モデル構築のための伝統的な歌唱を稽古する子どもの歌い方の分析(2)』静岡大学教育実践総合センター紀要、2022年3月、pp.100-107 (7)長谷川慎、日比谷孟俊「遊里における音曲の受容に関する東西比較—上方の当道と江戸の男芸者—」実践女子大学文芸資料研究所年報、pp.137-171	054-238-4648	054-238-4648	hasegawa.makoto@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0113	音楽	音楽教育		共鳴と聴きあいの合唱指導 (幼児にはリトミックを交えた歌唱指導、小学生には2部合唱と発声基礎、中学生にはレベルに応じた合唱指導)	静岡県立大学短期大学部	こども学科	講師	やまもと まなぶ 山本 学	・H22～現在 桐朋学園大学附属子供のための音楽教室仙川本校 コーラス講師 ・H27～現在 静岡県立大学コーラス部 合唱指導 ・H30～現在 カワイ音楽コンクール・カワイラたのコンクール静岡地区・静岡東部地区審査員	・R4 女声合唱とピアノのための「きみはだれ」(パナムジカ出版)	054-202-2600	054-202-2612	yamamoto@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db-u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0113	音楽	音楽学		クラシック音楽の作曲家が見ている作曲の視点	静岡県立大学短期大学部	こども学科	講師	やまもと 山本 学	・H22～現在 桐朋学園大学附属子供のための音楽教室仙川本校 コーラス講師 ・H30～現在 カワイ音楽コンクール・カワイうたのコンクール静岡地区・静岡東部地区審査員 ・R2 静岡県立大学公開講座「エリーゼのために」の作曲理論的解釈	・R4 女声合唱とピアノのための「きみはだれ」(バナムジカ出版) ・R4 横浜市反町ひかり保育園 滋賀県竜王町立竜王こども園園歌制作 ・R4 第71回南日本音楽コンクール作曲部門入選	054-202-2600	054-202-2612	yamamoto@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0113	音楽	音楽教育	New	音楽科教育に関する講義・研修・指導助言	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	准教授	やまぐち 山口 亮介	・R5「音楽科授業をデザインする一教師としての成長と指導力向上に向けて」静岡音楽教育研究会 講演 ・R3 岩手大学教員免許更新講習「音楽教育とICT」 ・R3 日本学校音楽教育実践学会東北地区例会 模擬授業(端末を用いた鑑賞授業) ・R1「音楽実践演習におけるデジタルポートフォリオの活用」岩手ネットワーク連絡会 講演 ・全日本音楽教育研究会全国大会での指導助言(小学校器楽)の実績あり	・R5「学習有用デジタル教科書・デジタルコンテンツの活用についての考察」(『音楽教育実践報告誌』第4号) ・R4「複式学級の音楽指導における教師の留意点について」(『盛岡大学紀要』第39巻) ・R4「小学校音楽科での短調についての指導の考察」(『教職研究』第3巻) ・R3「音楽実践演習におけるeポートフォリオの活用についての考察」(『盛岡大学紀要』第38巻) ・R2「複式学級における音楽指導の課題と展望」(『盛岡大学紀要』第37巻) ・R1「小学校音楽科と国語科の共通点に関する一考察(1)」(『長崎大学教育学部教育実践研究紀要』第18巻) ・R1「小学校音楽科の実践現場における課題と対応」(『長崎大学教育学部紀要』第5巻)	054-297-6100	054-297-6101	ryosuke@sz-tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/yamaguchi/
0113	音楽	リトミック 幼児教育(表現・音楽)		リトミック 保育のための音楽 子どもの表現	静岡産業大学	経営学部	教授	いりえ 入江 真理	・R1 吉田町保育所連合会保育士研修「リトミック」 ・R3 高大連携出張講義「6番目の感覚を磨くリトミック」	・H31『子どもの歌でいつのまにか上達する保育者になるためのピアノ教本』(エイデル研究所) ・R2「幼児期における身体運動」への実践に資するリトミックについての研究—運動による身体の発達の見方から—日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』通巻第44号 ・R2『保育におけるリズム楽器の活用に関する研究(2)—保育者がとらえた「子どもがリズム楽器で楽しんでいた活動」場面の分析から—静岡産業大学論集「環境と経営」第26巻第2号	0538-37-0191	0538-36-8800	m-irie@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0114	美術	デザイン教育		デザインの表現と鑑賞	静岡大学	教育学部	准教授	かわらさき 川原崎 知洋	・各地区の教育研究会における研究授業(図工・美術科)の指導助言 教員免許状更新講習「図工・美術でデザインの楽しさを伝えよう。」	・『中学校美術科の教材開発と授業実践—教科専門からアプローチする附属静岡中学校との連携—』、静岡大学教育学部附属教育実践総合センター33、2023年 ・『価値発見力の向上を促すプロダクトデザインの鑑賞—人の付帯状況と知覚されたアフオーダンスに着目して—』、大学美術教育学会54、2021年 ・『子どもの共創空間の類型化と非認知的能力の関係について—グランシップこどものくいの実践を通して—』、静岡大学教育学部附属教育実践総合センター31、2021年	054-238-4655		kawarasaki.tomohiro@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0117	家庭	家庭科教育		小・中・高等学校の家庭科教育全般および研究授業における指導助言	静岡大学	教育学部	教授	こしみず 小清水 貴子	・2022静岡県教育委員会主催教育職員免許法認定講習講師 ・2022静岡県総合教育センター教員研修会講師 ・2022静岡県県民生活課教員向け研修講師 ・2022家庭科研修会講師(志太地区・小笠地区・磐周地区) ・2022小中教育研究会講師(藤枝市・島田市) ・2022富士市中学校家庭科教育研究会 ・2022小学校家庭科部研修会講師(富士市・浜松市) ・2022静岡県中部県民センター消費者教育講習講師 ・2021焼津市、島田市教育研究会講師	・小学校および高等学校家庭科教科書(東京書籍、共著) ・静岡市消費者教育推進地域協議会委員、静岡市消費生活審議会委員 ・2022「知識構成型シグソー法を取り入れた家庭科の学習指導」『初等教育資料』8月号、pp.62-65(文部科学省、単著) ・2021『ロールプレイングを導入した新しい家庭科の授業』(教育図書、共著) ・2021『地場教育』(静岡新聞社、共著) ・2021副教材「明日からできるエネルギー教育」(資源エネルギー庁) ・2021副教材「エブリディ消費者」(静岡市消費生活センター) ・2019『未来の生活をつくる家庭科で育む生活リテラシー』(明治図書、共著)	054-238-4690		koshimizutakako@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0117	家庭	実践栄養学 フードマネジメント		食と健康、食環境、フードマネジメント、スポーツのための栄養と食事、有害鳥獣の食資源化に関する講義	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	いちかわ 市川 陽子	・R4:ジオバク食の探検隊、親子でつくろう・学ぼう ジビエでアスリートめし ・R4:静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会、健康な食事・食環境(スマートミール)認証制度に期待されるもの ・R3:産に親しむ会、ニホンジカ食資源化の取組み ・R3:栄養教諭・学校栄養職員講習会、学校の給食マネジメントを考える ・H30～R4:高大連携出張講義、思春期のスポーツ活動と栄養・食事学 ・毎年:県・市のスポーツ指導者研修会	・R元～R3「特定給食施設等における適切な栄養管理業務の運営に関する研究」(研究代表者:市川陽子)、厚生労働行政推進調査事業費補助金、研究報告書 ・「新しい『健康な食事・食環境』の認証制度『スマートミール』」、Kewpie news、第541号、R元 ・財団法人静岡県スポーツ協会スポーツ医・科学委員 ・静岡市食の安全・安心意見交換会委員 ・富士市食育推進会議副委員長 ・厚生労働省国立研究開発法人審議会委員 ・厚生労働省管理栄養士国家試験委員	054-264-5512	054-264-5512	ichityu@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of149.html
0117	家庭	栄養化学 運動生理学		運動と健康に関する講義 食・栄養・サプリメントに関する講義	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	みうら 三浦 進司	・H24 静岡県立静岡農業高等学校出張講義「脂質と健康」(高校生対象) ・H24 静岡県立大学公開講座「食生活と運動から健康長寿を考え実践する—運動と健康—」(一般対象) ・H25 富士市民大学前期ミニカレッジ「運動と健康」(一般対象) ・H25 星陵高等学校出張講義「運動によるメタボリックシンドローム予防」(高校生対象) ・H26 富士市民大学前期ミニカレッジ「食・栄養の大切さ」(一般対象) ・H26 星陵高等学校出張講義「サプリメントの上手な利用法」(高校生対象)	・H25『コンパクト基礎栄養学』エネルギー代謝の項(朝倉書店、近藤雅雄・松崎広志編) ・H25『骨格筋AMPKと糖代謝』(Diabetes Frontier、24(2)、155-61) ・H24『エネルギー代謝における脂質代謝の役割』(体育の科学 62巻11号、831-837)	054-264-5559	054-264-5559	miura@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of455.html
0117	家庭	栄養教育 健康教育 食育		食生活と健康に関する講義	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	くわの 桑野 稔子	R5:静岡県教育研究会学校給食研究部夏季研究大会(静岡県教諭対象) R4:静岡市食育講習会「学校全体として取り組む効果的な食育の推進について」(静岡市教諭対象) R4:焼津市教育研究会「子どもの心と身体を育てる食育の充実を求めて」(焼津市教諭対象) H27～R5:高大連携出張講義「あなたの食事大丈夫?—食生活を診断してみよう!—」(高校生対象) H30:静岡県学校給食栄養士会研修会「学校で取り組む食育-PDCAサイクルに基づいた取り組み方法」(栄養教諭・学校栄養職員対象)	・R4「咀嚼の本3 噛むことの大切さを再認識しよう」口腔保健協会 ・R3「栄養教育論改定5版」南江堂 ・R2「カレント栄養教育論第2版」建帛社 ・H28『カレント栄養教育論』(建帛社、編者5-8) ・H25『健康・栄養教育の実践と活用』(医歯薬出版、106-114) ・H25『栄養教育論』(南江堂、135-149) ・H20『事例で学ぶ食育と健康』(建帛社、7-16) ・H24『管理栄養士・栄養士必携 健康・栄養学用語辞典』(中央法規出版)	054-264-5513	054-264-5513	kuwano@u-shizuoka-ken.ac.jp	http://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/com mnutr/
0117	家庭	食品衛生学		食品の安全性(衛生管理、食品添加物、残留農薬、食中毒菌、食品の腐敗、発がん物質など)に関する講義	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	ますだ 増田 修一	・H30 しずおか朝日テレビ とびっきり! しずおか「猛暑! 細菌性食中毒に注意」(一般対象) ・H30 フードサイエンスラボ「食品の焦げと安全性の関係」(一般対象) ・H30 静岡地域産学官連携協議会「災害時における衛生管理方法に関する研究」(一般対象) ・R1 高大連携出張講義「食品と医薬品の相互作用」(星陵高等学校)(高校生対象) ・R2 高齢者学級 みのり大学西奈学級「食品の安全を考える!」(一般対象)	・H27～ 静岡県消費生活審議会委員 ・H28～ しずおか食の安全推進委員 ・H29～ 内閣府食品安全委員会専門委員(器具・容器包装専門調査会) ・H29『食中毒を防ぐには熱湯が効果的』(リンナイ「ECOに学ぶ」) ・H29 健康と食の安全を考えた食品衛生学実験(改訂新版)(アイ・ケイコーポレーション) ・R2 エキスパート 管理栄養士養成シリーズ 食品衛生学(第4版)「9章 食品の器具・容器包装」(化学同人) ・R3『お茶屋のカテキンだより』(月刊 茶の間、Vol.6、p2-3)	054-264-5528	054-264-5528	masudas@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of156.html
0118	技術・家庭	電気電子工学		中学校技術・家庭科技術分野におけるエネルギー変換(電気)に関する技術の電気回路の設計	静岡大学	教育学部	准教授	かいせい 改正 清広	・H31 静岡県教育研究会技術・家庭科教育研究部助言者 ・R5 第62回全日本中学校技術・家庭科研究大会第60回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会分科会助言者	・『再生可能エネルギー電源の主力化に向けた周辺技術に関する学習プログラムの開発』静岡大学教育学部教育実践総合センター紀要33、267-274(2023) ・『LEDが光センサと照明の両機能を持つ自動点滅回路教材の提案』教育学部紀要52、99-109(2020) ・『転移に注目した技術科教材の要件に関する基礎的検討』30、165-174(2020) ・『照度センサ付き回路を対象とした設計学習のための電気素子の特性自動測定装置の開発と検証』日本産業技術教育学会誌62、247-256(2020)	054-238-4675	054-238-4675	kaisei.kiyohiro@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0118	技術・家庭	技術教育学		設計を中心に展開する技術教育	静岡大学	教育学部	教授	くればやししゅうじ 紅林 秀治	・H27～R4 静岡県教職員組合教育研究大会 ・H27～R5 志太教研、島田市教研、藤枝市教研、焼津市教研浜松市教研講師 ・H27～R5 静岡県総合教育センター研修会(技術科)講師 ・H27～31 静岡市教育センター授業作り研修会(技術科)講師 ・H29～31 掛川市ベッパ―君プログラミングコンテスト審査委員 ・R2～R5 掛川市立東中学校講師(ICT) ・R2～R5 掛川市立第一小学校講師(ICT) ・R2～R5 三島市立中郷西中学校講師(ICT) ・R3～R5 静岡県教育研究会技術家庭科講師	・小学校プログラミング教育のための立体LEDキューブ制御教材の開発, 日本産業技術教育学会誌, 第64巻第1号 Amountofenergyconsumptionduringphysicalactivityisakeyelementintheanalysisofneurogenesisintheadultmousehippocampus,BiwakoJournalofRehabilitationandHealthSciences,Vol.1,2022 ・水中掃除ロボット教材の開発,日本産業技術教育学会誌, 第65巻, 第1号, 2023 ・工業高校における表面筋電位を用いた計測・制御教材の開発,日本産業技術教育学会誌, 第65巻, 第1号, 2023 ・教材用水中探査ロボットの開発, 日本産業技術教育学会実践事例集「テクノロジーとエンジニアリングの教室」第2巻2023	054-238-4681	054-238-4681	kurebayashi.s hujii@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0118	技術・家庭	技術教育学 情報教育		中学校技術・家庭技術分野における情報の技術に関する題材や指導 学校種を越えた系統的なプログラミング教育	静岡大学	教育学部	講師	むろふし はるき 室伏 春樹	・H31～静岡県教育研究会技術・家庭科夏季研究大会分科会助言者 ・H31浜松市教育委員会5年経験者研修技術科担当講師 ・H31掛川市教育センター教職員指導技術研修(ICT活用講座)講師 ・H31～小笠地区一斉研究報告会指導助言 ・R3～静岡市、島田市中学校技術科講習会講師	・『オンラインサービスと実機を利用した計測・制御学習の提案』静岡大学教育学部研究報告、令和元年12月 ・『小学校プログラミング教育の現状分析と課題』静岡大学教育実践総合センター紀要、令和3年3月 ・『問題解決の見通しを形成させるものづくり学習指導の検討』日本産業技術教育学会、令和4年12月 ・『中学生ロボットコンテストにおける問題解決過程と教育効果の検討』教科開発学論集、令和4年3月	054-238-4682	054-238-4682	murofushi.haruki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0118	技術・家庭	生物育成		中学校技術・家庭科技術分野における生物育成・小学校の生活科などにおける栽培	静岡大学	教育学部	教授	ふじい みちひこ 藤井 道彦	・H29～R3静岡県教育研究会技術・家庭科夏季研究大会分科会助言者 ・R1静岡市教科指導力研修会(中学校技術)助言者 ・R1島田市小学校生活科研修会講師 ・R1令和元年度静岡県「食農体験学習指導者育成講座」講師 ・R4静岡県教委認定講習幼小の接続カリキュラム講師 ・R5第62回全日本(第60回東海・北陸地区)中学校技術・家庭科研究大会静岡大会生物育成の技術分科会助言者	・「Study on the Teaching Materials of the Effects of High Temperature on Growth of Rice Cultivars」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3) ・「Developing Teaching Materials on the Effects of Temperature and Fertilizer Type on Yield and Growth of Wheat」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3)	054-238-4680	054-238-4680	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0118	技術・家庭	情報通信		情報理論・符号理論、ネットワーク工学、ワイヤレス通信、情報セキュリティなど情報通信全般	静岡大学	情報学部	教授	すぎうら あきひこ 杉浦 彰彦	高校への出張講義、市民講座の担当経験多数有	著書(単著):Bluetooth技術解説(ソフトリサーチセンター)、IMT-2000携帯電話通信技術ガイド(リックテレコム)、ワイヤレスネットワークの基礎と応用(OQ出版) (共著):マルチメディア処理入門(朝倉書店)、マルチメディア情報符号化の基礎と応用(コロナ社)			sugiura@inf.shizuoka.ac.jp	https://mmclub.net/
0118	技術・家庭	情報教育		映像の読み解き方・映像のつくり方	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	佐藤 知条		・NHK学校放送番組ディレクター(H14～H20) 「えいごリアン3」「にんげん日本史」「日本とことん見聞録」「かんじるさんすう1・2・3」「たったひとつの地球」 ・R1『デュイイ著作集(教育2) 明日の学校、ほか』(共訳)(東京大学出版会)	0538-37-0191	0538-36-8800	c-sato@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss.u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0119	体育	体育科教育	New	見方・考え方を鍛える体育科の授業づくり	静岡大学	教育学部	准教授	のづ かずひろ 野津 一浩	・教職員組合教育研究静岡県集会・富土市一斉授業研究会 ・富土市保健体育部夏季研修会 ・駿東地区小・中学校体育主任者研修会・焼津市立東益津中学校校内研修会	「見方・考え方を鍛える」視点からの体育授業の構想—教科観の問い直し—(静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要) 「見方・考え方を鍛えるための「対話的な学び」に関する研究～体育の授業実践を例にして～」(静岡大学教育学部研究報告/教科教育学篇) 「内容学と架橋する普遍的保健体育科教育論」(杏林書院、分担執筆)	054-238-4668	054-238-4668	nozu.kazuhiro@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0119	体育	運動生理学 環境生理学		熱中症の予防と対策	静岡県立大学短期大学部	一般教育等部	教授	はやし けいじ 林 恵嗣	・R1 静岡県体育協会2019年度スポーツ少年団認定員養成講習「トレーニング論Ⅰ」 「ジュニア期のスポーツ」 ・R2 静岡県立大学短期大学部公開講座「高温環境への対応～こどもから高齢者まで、暑さにご対処すべきか?～」	・「Comparison of low-concentration carbon dioxide-enriched and tap water immersion on body temperature after passive heating」(『J Physiol Anthropol』40巻 R3) ・「A novel cooling method using carbon dioxide-rich water after passive heating」(『J Therm Biol』96巻 R3) ・「Effect of food intake on the ventilatory response during exercise」(『Appl Physiol Nutr Metab』44巻1号 R1) ・H31『栄養科学イラストレイテッド 運動生理学』(羊土社)	054-202-2639	054-202-2639	khayashi@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0119	体育	体育科教育		体育科の学びづくりに関する講演及び実技講習	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	准教授	やなせ けいこ 柳瀬 慶子	R1 三重県学校体育研究連合会研究大会助言 R3 静岡県教育研究会保健体育研究部夏季研究大会助言 R3～R5 静岡市教育委員会体力向上専門委員会委員 【体力向上支援事業:授業支援及び教員研修会の助言】 ・有度第一小学校(R3)・南薈科小学校(R3)・大谷小学校(R3・R4) ・西奈小学校(R3・R5)・由比北小学校(R3・R5)・伝馬町小学校(R4) ・由比小学校(R5) R4 名古屋市教員研修会(Zoom研修)助言・指導	R1『小学校体育12ヶ月の学びのデザイン「学びのこよみ」の活用と展開』大修館書店 R2「表現運動・ダンスの授業デザイン」『体育科教育』大修館書店 第68巻 第12号 R3 中学校保健体育教科書『最新中学校保健体育』準拠 授業展開研究編 大修館書店 R5『『体育の見方・考え方』につながる保健体育科教員養成課程学生の運動観に関する基礎的調査—ダンス運動系に着目して—』『常葉大学教育学部紀要』第43巻	054-297-6100	054-297-6101	yanase-keiko@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/lifelong/yanase/
0119	体育	スポーツ科学 スポーツ コーチング 健康教育 身体教育		からだの姿勢とこころの姿勢	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと なおみ 木戸 直美	地域における健康教育,富土市教育委員会.2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究:千代田区子育て支援.2016-2017.他	学校教育の現代的課題と養護教諭,大学図書出版.60-67.2021、女子短大生を対象とした姿勢の自己意識と新体力テスト総合評価に関する研究～身体意識「センター」に着目、小田原短期大学紀要.(46).25-31.2016. 担当科目実績:ウエルネスと身体、健康理論実習、健康スポーツ概論等	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0119	体育	幼児体育		親子運動あそび	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと なおみ 木戸 直美	地域における健康教育,富土市教育委員会.2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究:千代田区子育て支援.2016-2017.静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導	伝承遊びの可能性—保育者養成校学生の調査から—,幼児教育学研究,(28),1-9.2021、運動遊びに関する保育者の意識について,日本幼児教育学会第27回大会.2019.子どもと保育(保育内容健康),大学図書出版.2022.担当科目実績:子どもと遊び、幼児体育、身体表現、子どもと運動Ⅰ、Ⅱ	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0119	体育	幼児体育 身体教育		子どもの運動遊び	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと なおみ 木戸 直美	地域における健康教育,富土市教育委員会.2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究:千代田区子育て支援.2016-2017.三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	伝承遊びの可能性—保育者養成校学生の調査から—,幼児教育学研究,(28),1-9.2021、運動遊びに関する保育者の意識について,日本幼児教育学会第27回大会.2019.子どもと保育(保育内容健康),大学図書出版.2022.担当科目実績:子どもと遊び、幼児体育、身体表現、子どもと運動Ⅰ、Ⅱ	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0119	体育	幼児体育 身体教育		幼児期の多様な運動の重要性について	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと なおみ 木戸 直美	地域における健康教育,富土市教育委員会.2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究:千代田区子育て支援.2016-2017.静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	幼児保護者を対象とした運動者行動と健康教育マネジメントに関する研究,小田原女子短期大学紀要.(47).36-46.2017.保護者の子育て不安と悩みについて日本幼児教育学会第26回大会.2018.担当科目実績:子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0119	体育	運動生理学		発育・発達と運動 体力測定の意義	静岡理工科 大学	情報学部	教授	とみた ひさと 富田 寿人	2021.2 運動遊びで子どもの身体と笑顔をつくる 東近江市 2021.2 運動遊びの大切さ 富山市 2022.8 少年団の役割って何だろう？ 菊川市 2023.11 中学校部活の地域移行に伴うスポーツ少年団の役割 藤沢市 2023.8 スポーツのある生活 静岡市 2024.3 日常生活の中の身体活動 磐田市	・『ジュニアのための医・科学ハンドブック』（日本体育協会日本スポーツ少年団） ・『公認ジュニアスポーツ指導員テキスト』（日本スポーツ協会） ・『スタートコーチ（スポーツ少年団）テキスト』（日本スポーツ協会） ・『アクティブチャイルドプログラム』（日本スポーツ協会） ・『幼児期からのアクティブチャイルドプログラム』（日本スポーツ協会）	0538 - 45- 0108	0538 - 45- 0110	shakai@sist.a c.jp	https://www.sist.a c.jp/lab/cs/tomita /
0119	体育	スポーツ コーチング		スポーツコーチング	静岡産業大 学	経営学部	教授	山田 悟史	・H29 藤枝市体育協会競技力向上講習会講師「コーチング」	・日本体育協会公認水泳コーチ	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports- solution.com
0119	体育	幼児の運 動あそび、 幼児体 育、子ども のスポー ツ		水遊び・プール活動の事故防止と遊びの ポイント	静岡産業大 学	経営学部	教授	山田 悟史	R1. 磐田市公私立幼稚園・保育園・こども園職員研修「楽しい水遊びのために～事故防 止と遊びのポイント～」	「テキストマイニングによる幼稚園・保育園における水遊びに関するアンケート調査の分 析」（『静岡産業大学論集 スポーツと人間』第44巻第1号 R2）	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports- solution.com
0119	体育	幼児の運 動あそび、 幼児体 育、子ども のスポー ツ		幼児期の運動の大切さとその内容や方法 について	静岡産業大 学	経営学部	教授	山田 悟史	・H29 金沢市保育所（園）・認定子ども園・幼稚園職員研修会「発達の理解と実践研修 （幼児）～健康～」 ・H30 磐田市保育研究会職員研修会「幼児期の運動遊びの大切さと実践」	・H30『スポーツの科学と教育～スポーツ・体育指導者必携最新活用方～』（ベースポ ール・マガジン社）	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports- solution.com
0119	体育	幼児の運 動あそび、 幼児体 育、子ども のスポー ツ		幼児期のスポーツ遊び、親子遊び（実技）	静岡産業大 学	経営学部	教授	山田 悟史	・H29 金沢市保育所（園）・認定子ども園・幼稚園職員研修会「発達の理解と実践研修 （幼児）～健康～」 ・H30 磐田市保育研究会職員研修会「幼児期の運動遊びの大切さと実践」	・H30『スポーツの科学と教育～スポーツ・体育指導者必携最新活用方～』（ベースポ ール・マガジン社）	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports- solution.com
0119	体育	体育科教 育学、ダンス、体つ くりの運動、 女性とス ポーツ		より良い体育（コンピテンシー・ベース）の 授業づくり、新学習指導要領（アクティ ブラーニング含む）に準じた指導	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	教授	高橋 和子	・H26～R2（公社日本女子体育連盟）夏期講習会・全国女子体育研究大会「新学習指導 要領におけるダンス指導」 ・H30（スポーツ庁）全国都道府県指定都市教育委員会学校体育担当指導主事研究協 議会「新学習指導要領保健体育における思考力・判断力・表現力等」 ・H14～29（神奈川県・東京都）教員免許更新講習「体育授業におけるダンス・体づくり運 動指導」	H23～30「JOC女性スポーツ専門部会員」 H27～29「文部科学省中央教育審議会委員」「スポーツ庁スポーツ審議会委員」 H28～31「文部科学省中学校・高等学校学習指導要領解説協力者保健体育編」 H26～29「文科省・スポーツ庁 武道・ダンス指導充実・資質向上支援事業研究代表者」 H26～29「科研研究代表者 ダンス必修化に対応する即興表現を通じたレジリエンス開 発」 R3～ 「（一社）静岡県ラグビーフットボール協会理事」	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	k- takahashi@ss u.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索。高 橋和子公式ブログ (http://kazuko- ynu.jp/)
0119	体育	体育科教 育学		水泳指導・水泳科学	静岡産業大 学	経営学部	教授	山田 悟史	R1. 磐田市公私立幼稚園・保育園・こども園職員研修「楽しい水遊びのために～事故防 止と遊びのポイント～」	・日本体育協会公認水泳コーチ ・「高等教育における教員養成のための反転授業を利用した水泳の授業」（静岡産業大 学論集 スポーツと人間第2巻第2号 H30） ・「プレストロークの狭み込みインスイープにおける推進力のシミュレーション」（静岡 産業大学論集 スポーツと人間第2巻第2号 H30） ・H30『スポーツの科学と教育～スポーツ・体育指導者必携最新活用方～』（ベースポ ール・マガジン社）	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports- solution.com
0119	体育	体育科教 育学		ICTを活用した体育授業づくり	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	准 教授	徐 広孝	R3 磐周教育研究会小学校保健体育部研究講座「子どもが「わかる」「できる」授業にす るために～体育授業の基礎・基本～ H30 教員免許更新講習「体育授業の新たな教材を探る（スポーツ科学を授業に導入す る）」 H29 筑波大学附属駒場中・高等学校教育研究会「体育授業の“サッカー”単元における GPSを活用した授業実践とその教材」 H29 SSU健康・スポーツ科学セミナー「体育授業で活用される科学的方法の実際」	H4「スポーツアナリティクスを体育の教材にする」、『体育科教育』2022年6月号 H30「中・高等学校のテニスにおけるパフォーマンス測定アプリケーションの開発」、静岡 産業大学論集「スポーツと人間」、第2巻、第2号	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	h- jo@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0119	体育	体育科教 育学		体カテストをイベントにする方法	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	准 教授	徐 広孝	R1 磐周教育研究会小学校保健体育部研究講座「新体カテストとICTを活用して体育を もっと楽しくしよう」 H29 SSU健康・スポーツ科学セミナー「体育授業で活用される科学的方法の実際」		0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	h- jo@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0119	体育	運動生理 学		筋の解剖・生理学、トレーニング科学、加 齢変化	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	准 教授	江間 諒一	・H29 R1 公益財団法人健康・体力づくり事業財団貯筋運動コース ・国内外の学会大会での研究発表	・「Plantar flexor strength at different knee positions in older and young males and females」(『Experimental gerontology』142巻 R2) ・「Thigh and Psoas Major Muscularity and Its Relation to Running Mechanics in Sprinters」(『Medicine and science in sports and exercise』50巻10号 H30) ・「Effect of calf-raise training on rapid force production and balance ability in elderly men」(Journal of applied physiology)123巻2号 H29)	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	r- ema@ssu.ac.j p	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0119	体育	運動生理 学		筋肉痛の問題点と対策 筋肉痛との上手な付き合い方	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	准 教授	江間 諒一	・H30 夢ナビライブ ・H30 静岡産業大学全学研究発表大会 ・H30～R3 高校への出前授業 ・H30～R3 静岡産業大学オープンキャンパス体験授業 ・国内外の学会大会での研究発表	・「Muscle length influence on rectus femoris damage and protective effect in knee extensor eccentric exercise」(『Scandinavian journal of medicine & science in sports』 31巻3号 R3)	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	r- ema@ssu.ac.j p	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0119	体育	体育哲学		体育実技の指導について	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	准 教授	和所 泰史	・H29～H31 教員免許状更新講習「スポーツとルール」 ・H29～H30 教員免許状更新講習「体育実技は何を教えるのか？」 ・H31 教員免許状更新講習「オリンピック教育とは何か？」	・R4「体育実技におけるリスクマネジメント」（共著）（大修館書店） ・R4「本学体育学科学部の東京2020大会開催に関する意識調査」『環太平洋大学研究 紀要』20号 ・R4「戦後日本のNOCの存在とオリンピック・ムーブメント復帰に関する研究」『スポー ツ史研究』第35号	0538 - 37- 0191	0538 - 36- 8800	y- washo@ssu.a c.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ss u.ac.jp/faculty/tea cher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0119	体育	スポーツ		パラスポーツに関する講義	常葉大学 （浜松キャン パス）	保健医療学 部	教 授	さくらい ひろき 櫻井 博紀	・H30 日本障がい者スポーツ協会 公認障がい者スポーツ指導員資格取得認定校研修会 講師 ・R2 浜松市体育協会 地域スポーツ指導者養成講習会 講師 ・R3 積志中学校 総合的な学習の時間 講師 ・R3.4.5 浜松市トップアスリート連携事業 講師 ・R4.5 浜松市体育協会 地域スポーツ指導者養成講習会 講師	・R2「障がい者スポーツサークルの活動を通して」（『常葉大学保健医療学部紀要』11巻 1号 R2） ・R3「東京2020パラリンピックに参加して」（『常葉大学保健医療学部紀要』13巻1号 R 3） ・R3 東京2020パラリンピック競技大会 ポッチャ競技日本代表コーチ	053- 428- 3511 (代)	053- 428- 2900 (代)	hsaku@hm.to koha-u.ac.jp	https://www.tokoh a- u.ac.jp/teachers/h ealth- care/physics/saku rai/

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0120	保健	保健科教育	New	見方・考え方を鍛える保健科の授業づくり	静岡大学	教育学部	准教授	のぶ かずひろ 野津 一浩	・教職員組合教育研究静岡県集會 ・富士市一斉授業研究会 ・富士市保健体育部夏季研修会 ・附属学校養護教諭研修会 ・駿東地区小 ・中学校体育主任者研修会	「体育科・保健体育科における保健学習の実態－保健の科学的認識の発達を再考する視座から－」（日本保健科教育学会、保健科教育研究） 「教科として学ぶ保健授業に係る養護教諭の専門性と役割－保健指導的な立場からのかかわりを意図して－」（静岡大学教育学部附属教育実践総合センター紀要） 「内容学と架橋する普遍的保健体育科教育論」（杏林書院、分担執筆）	054-238-4668	054-238-4668	nozu.kazuhir o@shizuoka.a c.jp	静岡大学教員データ ベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索 ください。
0120	保健	学校保健 保健学習		アンガーマネジメント マインドフルネス 未成年者飲酒防止教育 未成年者喫煙防止教育	静岡大学	教育学部	教授	あかだ しんいち 赤田 信一	・静岡県内公立学校での講演「アンガーマネジメントとマインドフルネス」、「未成年者の喫煙防止」、「未成年者の飲酒防止」等の講師経験多数	・「アルコール飲料のテレビCMにおける未成年者飲酒防止の注意表示についての検討」『東海学校保健学会』40巻1号 ・「中学校の保健体育教科書における掲載図表の検討」『東海学校保健学会』41巻1号 ・「高等学校の保健体育教科書における掲載図表の検討」『東海学校保健学会』42巻1号 他	054-238-4669	054-238-4669	akada.shinich i@shizuoka.a c.jp	静岡大学教員データ ベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索 ください。
0120	保健	学校保健 養護教諭 に関する 職務、役割		・保健室経営計画及び学校保健計画の立案、評価 ・いじめに関わる養護教諭の専門性と保健室経営 ・救急処置時の「問診技術」から捉えた養護教諭の専門性と独自性 ・学校保健の視点から捉えた学びのユニバーサルデザイン	静岡大学	教育学部	教授	かまづか ゆうこ 鎌塚 優子	・研修会 令和元年度新規採用養護教諭及び学校栄養職員研修（静岡市教育委員会）2019 ・研修会 令和元年度第1回2・3年次研修会（養護教諭）（静岡市教育委員会）講師2019 ・研修会 令和元年度3年目研修（養護教諭）「子どもの心を支える健康相談と連携のあり方」（鳥取県教育委員会）講師2019	・雑誌人事異動による学校保健活動への影響を最小限に抑えるための引継ぎの工夫－想像力と柔軟性、異動先の文化の理解2019 ・雑誌今、改めて問い直す保健だよりの意義そして魅力2018	054-238-3033	054-238-3033	kamazuka.yu ko@shizuoka. ac.jp	静岡大学教員データ ベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索 ください。
0120	保健	学校保健		子どものリスクマネジメント教育	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと なおみ 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013－2022、多世代間交流ワークショップ、上	運動遊びに関する保育者の意識について、日本幼児教育学会第27回大会、2019子どもと保育（保育内容健康）、大学図書出版、2022、担当科目実績：子どもと遊び、幼児体育、身体表現、子どもと運動Ⅰ、Ⅱ、子どもの健康と安全	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a c.jp	木戸直美 静岡福祉 大学 (http://www.suw.ac.jp/abou/teacher/naomi_kido.html)
0120	保健	健康教育 学		子どもの生活習慣病予防・健康のための運動実践	静岡産業大学	経営学部	教授	山田 悟史	・H30 森町教育委員会「児童生活習慣病予防講座」講師（H26より5年間）	・子どもの運動・スポーツと生活習慣、学校生活との関連」（静岡産業大学論集 スポーツと人間 第3巻第1号 H30）	0538-37-0191	0538-36-8800	s- yamada@ssu. ac.jp	http://sports-solution.com
0120	保健	保健科教育		分かって納得する保健の授業づくり	静岡産業大学	スポーツ科学部	准教授	徐 広孝	H28 保健科教育学会シンポジウム「現場教師の立場から保健の魅力と課題を考える」	R4『現代高等保健体育指導ノート保健編①』、大修館書店 R4『中学校・高等学校保健課教育法』、建帛社 R3「アクションリサーチを活用した保健授業」、『体育科教育』2021年7～8月号（連載） R2『最新中学校保健体育授業展開研究編』、大修館書店 R2『保健科教育学の探求』、大修館書店 R2「保健授業の生活習慣単元における課題発見・解決型授業の実践に向けた基礎研究」、『静岡産業大学論集スポーツと人間』第4巻、第1号	0538-37-0191	0538-36-8800	h- jo@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0120	保健	健康管理 学		腰痛・肩こりを改善するストレッチ	静岡産業大学	スポーツ科学部	講師	伊藤 麻希		・日本ヨガインストラクター協会2級 H31論文『身体の健康を向上するヨガの実践について』（静岡産業大学論集 スポーツと人間 第3巻第2号、共著） R2論文『心と身体の関係に着目したヨーガの実践』（日本女子体育連盟学術研究第38巻、単著） R4論文『マインドフルネスの継続的実践の効果：運動を楽しむ心を育む指導の観点から』日本女子体育連盟学術研究第38巻、単著	0538-37-0191	0538-36-8800	maki- ito@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より 教員名で検索して ください
0121	外国語	英語学		言語学入門	静岡県立大学	国際関係学部	教授	ながの あきこ 長野 明子	H27 東北大学サイエンスカフェ「単語をとらえてみる言葉の世界」、仙台メディアテーク、2015年3月27日。 H31 東北大学情報科学研究科公開シンポジウム『「情報科学」から「コミュニケーション」を考える』、「文末詞に見る日常会話の情報管理」	・『言語研究と言語学の進展シリーズ第1巻 言語の構造と分析 Ⅲ部 最新のレキシコンと形態論の進展』、開拓社、2018年。 ・『最新英語学・言語学シリーズ第9巻 形態論とレキシコン』、開拓社、2020年 ・『比較・対照言語研究の新たな展開－三層モデルによる広がりと深まり－』、開拓社、2022年。 ・『英語と日本語における等位複合語』、開拓社、2023年。	054-264-5354		nagano.9@u- shizuoka- ken.ac.jp	https://db-u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-naganoakiko.html
0121	外国語	フランス語 教育		ICTを活用した初修外国語学習	常葉大学 (草薙キャンパス)	外国語学部	教授	ありとみ あさせ 有富 智世	・R1：講演「初修外国語教育と学習教材－教科書『なびふらんせ』とWebくなびふらんせ」、神戸学院大学共通教育センター「フランス語・ドイツ語研修会」、神戸学院大学・ポートアイランドキャンパス、2019.4.6.	・R1『なびふらんせ2－フランス世界遺産をめぐる』（朝日出版社） ・R3『外国語学習用デジタル教科書・教材を用いた遠隔学習の運営を支援する学習ガイド機能の設計』（『教育システム情報学会第46回全国大会講演論文集』） ・R4『初修フランス語デジタル教科書と連携するクラスノート機能の開発』（『教育システム情報学会第47回全国大会講演論文集』） ・R4『フランス語デジタル教科書（教員版）を用いた授業方法の多様性』（『関西フランス語教育研究会RENCONTRES』36号） ・R5『フランス語教育におけるメタバース活用型学習教材の有効性』（関西フランス語教育研究会・学術口頭発表）	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	aritomi@sz.tokoha- u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/language/global-communication/aritomi/
0122	英語	英語指導・ 第二言語 習得研究		第二言語習得研究の知見を活かした英語指導	静岡大学	教育学部	講師	おおたき あやの 大瀧 綾乃	・静岡県立沼津西高等学校出張講義（2022年7月） 題目『小学校外国語教育での学び～“ことばの発達”に焦点を当てて～』 ・静岡大学キャンパスフェスタ公開講義（2022年11月） 題目『英語を使ってコミュニケーションを楽しもう』 ・静岡大学情報学部公開講座講師（2021年10月） テーマ：これからの教育と情報：オンライン授業と学習のありかた 題目『英語コミュニケーション能力を伸ばすオンライン授業』 (https://sutv.shizuoka.ac.jp/video/368/2737)	著書 ・R5『第二言語習得研究の科学1言語の習得』（共編者）くろしお出版 ・R5『第二言語習得研究の科学2言語の指導』（共編者）くろしお出版 ・R5『第二言語習得研究の科学3人間の能力』（共編者）くろしお出版 ・R2『英語のしくみと教え方』ことば・学びの理論をもとにして』（くろしお出版）より 「Chapter2動詞の3区分とその指導法」（単著） 論文 ・R3『英語語彙学習の効果に関する研究－高校生を対象としたチャンク学習と単語単独学習の比較』（TheLanguageTeacher共著）	054-238-4283	054-238-4283	otaki.ayano@ shizuoka.ac. jp	静岡大学教員データ ベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索 ください。
0122	英語	英語教育		小中接続、接辞・語根に着目したEFL語彙指導	静岡大学	教育学部	教授	やの じゅん 矢野 淳	H30.8月教員免許更新講習、H30.8月静岡県立三島北高等学校TOEFL対策講座講師、R2.8月教員免許更新講習講師、R3.6月、11月、R4.1月静岡市教育委員会ICT活用委員会助言者、R3.7月、R4.7月浜松市教育委員会6年目研修講師、R4.8月「第46回東海北陸公立学校英語研究会静岡大会」研究発表講演、R4.8月埼玉県英語教員夏季研修会講師	『コア・カリキュラム対応小・中学校で英語を教えるための必携テキスト（改訂版）』、中村典生監修、東京書籍、2022、『NEW HORIZON English Course 1,2,3』、東京書籍、編集委員、2021、『NEW HORIZON Elementary English Course 5,6』、東京書籍、編集委員、2020.	054-238-4970	054-238-4970	yano.jun@shi zuoka.ac.jp	静岡大学教員データ ベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索 ください。
0122	英語	言語学		言語学の知見に基づく英文法指導に関する講義	静岡大学	情報学部	教授	こんどう まこと 近藤 真		「Whatisthemeaninofmymodel?－Self-ReviewSupportEnvironmentbasedonNaturalLanguageTranslationfromLearners’SoftwareStructuralModel」(『ProceedingsofSIGCSETS2021』R3)	053-478-1560		mkondo@inf.s hizuoka.ac.jp	http://lab.inf.shizuoka.ac.jp/mkondo/

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0122	英語	イギリス文学、イギリス文化		19世紀イギリスの女性、社会、文学	静岡英和学院大学短期大学部	現代コミュニケーション学科	教授	髙橋 久江	H.26年11月静岡英和学院大学において障がい者向けにイギリス19世紀の女性について講演を行った。 R5年11月19世紀イギリス文学研究会(3学会合同)において、研究発表 ・H.29年11月一般の方を対象として北部生涯学習センターにおいてアフタヌーンティの歴史について公開講座を行った。 ・R1年7月両国アートフェスティバルにおいて、エミル・ブロンテの詩について音楽家とコラボし、講演を行った。 ・R5年11月19世紀イギリス合同研究会(3学会合同)において、女性同士の友情、特にシャーロット・ブロンテの友情について、研究発表を行った。	H18『ブロンテ家の人々』(彩流社) H19『子供が描く世界』(彩流社) H29『比較で照らすギヤスケル文学』(大阪教育図書) R3舞台NTLive『ジェーン・エア』解説	054-262-0091	054-262-0091	pres-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0122	英語	応用言語学		英語教育(学習)におけるテストのあり方	静岡産業大学	経営学部	教授	法月 健	・英語教員向け講演過去2回(英語テスト・評価)	・言語テスト関係の論文等あり	054-645-0191	054-645-0195	n-orizuki@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0122	英語	英文学		外国文学の理解	静岡産業大学	経営学部	教授	後藤 隆浩			0538-37-0191	0538-36-8800		静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0122	英語	理系英語		日本の大学現場における理系英語の現状～英英辞典活用による作文力の強化～	光産業創成大学院大学	光産業創成研究科	准教授	よこた 浩章		・1分子生物物理学(蛍光1分子イメージング・生体分子1分子操作・顕微鏡開発)	053-484-2501	053-487-3012	info@gpi.ac.jp	https://www.gpi.ac.jp/research/bpxd/professor-15/
0122	英語	英語教育学		語源の学習で語彙力アップ	常葉大学(草薙キャンパス)	外国語学部	教授	ケビン デミ	・R2: Leyte Normal University Conference on English Language Issues in Senior High School Education (フィリピン) ・R2: Biliran Province State University International Seminar on English Language Issues (フィリピン) ・R2: University of the Philippines Cebu Conference on Development and Education (フィリピン) ・R2: 全国語学教育学会全国年次大会 (JALT) (オンライン) ・R3: Professional Development and the Language Teacher: Bishkek State University (キルギス共和国) (オンライン) ・R5: JALT 学習者ディベロプメント研究部会・30周年記念大会	・H30-R2: Creator and Producer of Enhancing Your English Podcast	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	kevin@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/language/anglo-american/demme/
0123	道徳	道徳教育倫理学		道徳教育・キャリア教育など	静岡大学	教育学部	准教授	なかむら 美智太郎	・静岡県内外の諸学校での道徳教育研修講師・助言者 ・教員免許状更新講習講師(「教育の現代的課題」「教育現場における情報倫理」など) ・2022: 志太教育研究会「総合的な学習の時間」研究部講演会講師 ・2022: 掛川特別支援学校講演会講師(道徳教育の現状・課題・指導のポイント) ・2021: 千葉県立長生高等学校研修会講師「ケースメソッドを用いた道徳授業の実践について」 ・2020: 静岡県看護職員実習指導者等講習会講師(教育原理・教育心理・教育方法・評価方法) 他	・静岡県道徳教育推進協議会委員、御前崎中学校区スクラムスクール運営協議会委員、文部科学省中央教育審議会専門委員 他 ・著書『西洋哲学の軌跡』晃洋書房、『ことばと文化の饗宴』風間書房、『キャリア教育の基礎・基本』学事出版、『討論して学ぶ探究的道徳ケースブック』静岡学術出版、『防災教育とICT』静岡学術出版、『探究的な学び×ケースメソッド』学事出版 他 ・論文「道徳教育における現代的課題に対応したケース開発と実践の検討」「『探究的な学び』の実現可能性に関する一考察―ケースメソッド教育を学校外教育体制によって実現する場合」 他	054-238-4698	054-238-4698	nakamura.michitaro@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0123	道徳	倫理学		臨床遺伝学、先天異常、出生前診断「先天異常を抱える児と両親の出会いを支える」周産期医療の紹介	浜松医科大学	医学部周産母子センター	講師	おおいし 彰			053-435-2312		a-ohishi@hama-med.ac.jp	
0124	農業	農業環境教育		作物学、農業と環境との関わり	静岡大学	教育学部	教授	ふじい 道彦	・H29～R3 教員免許状更新講習講師「環境教育をどうすすめるか」 ・H29～R3 静岡県教育研究会技術・家庭科夏季研究大会分科会助言者 ・R1静岡市教科指導力研修会(中学校 技術)助言者 ・R1令和元年度静岡県「食農体験学習指導者育成講座」講師 ・R5 第62回全日本(第60回東海・北陸地区)中学校技術・家庭科研究大会 静岡大会生物育成の技術分科会助言者	・「Study on the Teaching Materials of the Effects of High Temperature on Growth of Rice Cultivars」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3) ・「Developing Teaching Materials on the Effects of Temperature and Fertilizer Type on Yield and Growth of Wheat」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3)	054-4680	054-4680	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0124	農業	畜産環境	New	「生物系バイオマスの堆肥化処理」「微生物を用いた浄化処理」「豚舎汚水からリン肥料を回収する技術」	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	生産科学科	教授	かわむら 英輔	1)「豚排せつ物処理過程からのリン資源およびエネルギー回収」、令和5年度日本畜産技術士会講演会、2024年1月13日、日本畜産技術士会(web) 2)「家畜ふん尿処理と獣医師」、令和4年獣医コミュニケーション研究会、2022年9月17日、獣医師会(東京) 3)「農業を支える家畜ふん尿の資源循環ーふん尿処理の主役は微生物ー」、令和2年度東京農工大学・東京都 獣医学教育研究包括連携推進協議会シンポジウム、2021年3月16日、東京農工大学・東京都 獣医学教育研究包括連携推進協議会(東京) 4)大塚俊彦・川村英輔ら、2020、ベトナムにおける生活雑排水処理装置導入へのビジネスモデル評価、用水と廃水、62(5)、55-64。 5)川村英輔ら、2019、豚ふん由来臭気成分が豚舎臭気に及ぼす影響、日本養豚学会誌、56、1-12。(普及雑誌等) 1)川村英輔、2020、「密閉縦型発酵装置の排気熱を回収・利用する技術(温風返送)」、農業技術体系「畜産編」、第38巻 追録第38号、516の24-516の33、農山漁村文化協会 2)川村英輔、2019、「豚舎汚水の性状と活性汚泥浄化槽の“適正運転”」、養豚界、(665)、23-26、株式会社 緑書房 3)川村英輔、2019、「豚排せつ物処理過程からのリン資源およびエネルギー回収」、畜産の研究73(2)、111-114	(1)原著 1)川村英輔ら、2023、豚舎汚水処理方式の違いによる物質フローと温室効果ガス排出量の推計、日本養豚学会誌、60、1-14。 2)川村英輔、2023、衛生的な牛ふん堆肥を生産するために5リットルのバケツで水分・比重調整を確認、家畜診療、70(6)、323-329。 3)川村英輔ら、2021、LCA手法を用いた公共下水道を利用した都市近郊酪農の家畜排せつ物処理システムの環境影響評価、農業施設学会誌、52(2)、8-20。 4)大塚俊彦・川村英輔ら、2020、ベトナムにおける生活雑排水処理装置導入へのビジネスモデル評価、用水と廃水、62(5)、55-64。 5)川村英輔ら、2019、豚ふん由来臭気成分が豚舎臭気に及ぼす影響、日本養豚学会誌、56、1-12。(普及雑誌等) 1)川村英輔、2020、「密閉縦型発酵装置の排気熱を回収・利用する技術(温風返送)」、農業技術体系「畜産編」、第38巻 追録第38号、516の24-516の33、農山漁村文化協会 2)川村英輔、2019、「豚舎汚水の性状と活性汚泥浄化槽の“適正運転”」、養豚界、(665)、23-26、株式会社 緑書房 3)川村英輔、2019、「豚排せつ物処理過程からのリン資源およびエネルギー回収」、畜産の研究73(2)、111-114	0538-31-7901	0538-34-4445	kawamura.eisuke@spua.ac.jp	https://researchmap.jp/kanagawa_kawamura
0124	農業	農業政策産業政策茶業政策		静岡県農林漁業の現状と未来、日本農業の展望、6次産業化支援、農業イノベーション最前線など	静岡産業大学		学長	堀川 知廣	・H30 藤枝ロータリー定期会議講演「高等教育の課題とこれからの対応」 ・H31 藤枝市市民講座「お茶学・文化と科学」 ・R1 県ニュービジネス協議会講演「日本農業の現状と将来展望」 ・R1 藤枝北高等学校高大連携授業「静岡イノベーション企業を知る」 ・R1 榛原高等学校海外研修事前授業「台湾・茶文化について」 ・R1 城南静岡高等学校高大連携授業「静岡学」 ・R2 城南静岡高等学校高大連携授業「静岡で学ぶ・静岡で働く」	・『お茶のなんでも小辞典』(講談社) ・「儲かる農業ビジネス」(静岡新聞社) 他	054-645-0191	054-645-0195	horikawa@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0124	農業	農業政策		農業政策や静岡県の代表的な農産物「茶」に係る講演と論文	静岡産業大学		学長	堀川 知廣	・R4 藤枝南ロータリークラブ講演「大学と地域の連携(静岡県の大学の現状)」 ・R4 文科省助成事業講演「緑の食料システム「有機農業」の未来」 ・R3 浜松修学舎高等学校体験授業「静岡で学ぶ・静岡で働く(静岡の自慢・ナンバーワン企業のお話)」 ・R3 榛原高等学校情報科学講座「効果的なプレゼンテーション」 ・R1 榛原高等学校海外研修事前研修「台湾・茶文化について」 ・R1 城南静岡高等学校体験授業「しずおか学」 ・R1 静岡県ニュービジネス協議会サロン講演「日本の農業の未来展望」 ・H31 藤枝市市民講座「お茶学・文化と科学」	・R1 「儲かる農業ビジネス」静岡新聞社 元年11月出版 ・R4 「失敗しない高品質野菜の多種少量栽培マニュアル」令和4年1月出版 ・R4 「食料・農業・農村基本法下における我が国の農業経済学研究動向と農業・食料・農業政策への寄与度に関する考察(報告)」、静岡産業大学情報学部研究紀要、第17号、2022-03、pp331～364)	054-645-0191	054-645-0195	horikawa@ssu.ac.jp	静岡産業大学で検索してください https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0125	工業	経営工学		失敗の可視化と価値化 ～プロジェクト・プロダクトのマネジメントを 感性工学的視点で～	静岡大学	工学部	教授	すずき やすゆき 鈴木 康之	R2「事業開発特別セミナー2020 第3回」静岡大学 R2「ビジネスプロデュース力養成ラボ2020・特別講演」公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター R1「ビジネスプロデュース力養成ラボ2019・特別講演」公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター	R2鈴木ら「山梨県内の保育所における食物アレルギーの子供の状況と保育現場の対応策に関する検討」山梨学院短期大学研究紀要第41巻1-10. R2鈴木ら「スポーツ栄養士業務の可視化と価値化 taberube.jp の実装と運用」、静岡学術出版ISBN-10: 4864741360	053-478-1205	053-478-1205	suzuki.yasuyuki@shizuoka.ac.jp	https://tdb.shizuoka.ac.jp/rdb/public/Default2.aspx?id=11092&i=0
0125	工業	経営工学		「イノベーション/パラダイムシフト」の起こし方	静岡大学	工学部	教授	すずき やすゆき 鈴木 康之	R2「(招待講演) Management of Innovation and Technology as The Key to Accelerating National Development/Can You Innovate?」The 1ST Science and Technology Students Conference (ISTECH) ,インドネシア国MITI Klaster Mahasiswa	元・独立行政法人科学技術振興機構職員 第2回全国イノベーションコーディネータ表彰「大賞・文部科学大臣賞」	053-478-1205	053-478-1205	suzuki.yasuyuki@shizuoka.ac.jp	https://tdb.shizuoka.ac.jp/rdb/public/Default2.aspx?id=11092&i=0
0125	工業	情報セキュリティ		ユーザ特性を考慮した情報セキュリティ技術	静岡大学	情報学部	教授	にしがき まさかつ 西垣 正勝	・2019: 情報処理学会連続セミナー「トラスト時代におけるセキュリティ技術」 ・2019: Huawei Japan Vision Forum「Humanics information security」 ・2021: 静岡県警察学校特別講義「ヒューマンニクスセキュリティ・暗号若葉講習」 ・2021: シーサートワークショッピン中部「OSI第8層セキュリティ: ヒューマンニクスセキュリティ」 ・2022: 国際会議BWCCA「Humanics Information Security: How to go above and beyond?」	・著書:「ネットワークセキュリティ」(共立出版、共著、2023)他 ・論文:「順列インデックスを用いた1対多掌紋認証のN位認証率向上に関する検討」(情報処理学会論文誌、2022)他多数 ・報道: NHK全国ネット「おはよう日本」(2021)他 ・学外委員: 情報処理学会フェロー・理事、日本セキュリティマネジメント学会副会長、内閣府SIPセキュリティ評価委員、CREST領域アドバイザー等、各種歴任	053-478-1467	053-478-1597	nisigaki@inf.shizuoka.ac.jp	https://wvp.shizuoka.ac.jp/nishigaki/
0125	工業	3DCG人工知能プログラミング教育オンライン教育		3DCG基礎講座 身近な情報デザイン 人工知能とSociety 5.0 データサイエンス教育とAI 教育のDX化とオンライン授業	静岡産業大学	経営学部	教授	佐野 典秀	・R2 富士宮市民カレッジ「人工知能AIが変える未来ほか、全3回」 ・R2 静岡県教育委員会社会教育課主催 公民館長及び公民館運営審議会委員等研修会「コロナ禍における ICTを活用した公民館の運営について(Zoomの活用実演を交えて)」 ・H29～現在に至る「ふじえだロボットアカデミー事業「Pepperを活用したプログラミング教育」」 ・R3 城南静岡高等学校高大連携授業「データサイエンスとドローンが変える近未来社会」 ・R4 吉田町シニアカレッジ「人工知能(AI)の基礎」 ・R3 静岡産業大学 2021年度社会人リカレント講座「経営のDXに活かすデータサイエンス入門」(経営に役立つ統計学)	・CG検定ガイドブック(ソフトバンクパブリッシング) ・静岡県ネット安全・安心協議会 委員長 ・藤枝市Pepperプログラミング成果発表会 審査委員長 他	054-645-0191	054-645-0195	sano@ssu.ac.jp	https://www.ssu.ac.jp/media/sano_2021.pdf
0125	工業	工学教育		ペーパーホバーを作ろう、滑走しよう!	沼津工業高等専門学校	機械工学科	准教授	きむ ひよん 金 顯凡 他4名	・H31 清水町生涯学習課「ペーパーホバーを作ろう、滑走しよう!」(小学生対象)	対象: 小学校中高学年	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/m
0125	工業	工学教育		紙飛行機を作ろう、滑走しよう!	沼津工業高等専門学校	機械工学科	准教授	やまなか ひとし 山中 仁 他3名	・R5 裾野市東西公民館「流れの科学 - ペーパーホバー・紙飛行機を作ろう -」(小学生対象)	対象: 小学校高学年～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/m
0125	工業	工学教育		身の回りにある電気機器のしくみ ～スピーカはなぜ音がする? 邪魔者のACアダプター～	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	嘱託教授	たかの あきお 高野 明夫 他1名		対象: 小学4年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		光の不思議を体験しよう	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	教授	のげ きよる 野毛 悟	・H31 裾野市東西公民館「光の不思議を体験しよう」(中学生対象)	対象: 小学3年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		ペーパーブリッジ	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	嘱託教授	もちつき こうじ 望月 孔二	・H31 長泉町生涯学習課「ペーパーブリッジ」(小学生対象)	対象: 小学校高学年以上(以下、応相談)	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		ライターで電波を作ってみよう～ヘルツの実験～	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	准教授	しま なおき 嶋 直樹		対象: 中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		銀鏡反応で手鏡を作ろう	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	教授	こむら もとりの 小村 元憲		対象: 中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		きり箱を使った放射線観測 見えないけど見てみよう	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	教授	にしむら けんじ 西村 賢治		対象: 中学生(小学校高学年要相談)	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		プログラムロボット&3Dブロックロボット教室	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	嘱託教授	おおつ たかし 大津 孝佳	・H31 ヤマハマリーナ沼津「3Dブロックロボット教室」(小・中学生対象) ・H31 長泉町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・H31 沼津第一小学校PTA学年部「3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・H31 大井町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R3 長泉町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R3 裾野市東西公民館「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R4 大井町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R4 長泉町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R5 大井町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象) ・R5 長泉町生涯学習課「プログラムロボット&3Dブロックロボット教室」(小学生対象)	対象: 小学3年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		落ちて来る卵を守る	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	嘱託教授	おおつ たかし 大津 孝佳	・R4 浜松市立富塚中学校「落ちて来る卵を守る」(中学生対象) 無料 ・R4 沼津市立門池小学校区放課後児童クラブ「落ちて来る卵を守る」(小学生対象) ・R5 沼津市立沢田小学校区放課後児童クラブ「落ちて来る卵を守る」(小学生対象) ・R5 長泉町生涯学習課「落ちて来る卵を守る」(小学生対象)	対象: 小学1年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		KV-BIKE(電池自転車)を学ぼう	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	嘱託教授	おおつ たかし 大津 孝佳	・R5 浜松市立富塚中学校「KV-BIKE(電池自転車)を学ぼう」(中学生対象)	対象: 小学3年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		人と電気の関係を知ろう	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	准教授	やまのうち わたる 山之内 亘		対象: 小学校高学年～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e
0125	工業	工学教育		電子オルガン555	沼津工業高等専門学校	電気電子工学科	准教授	しま なおき 嶋 直樹		対象: 中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/e

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0125	工業	工学教育		ロボットで光るボールを追いかけてみよう	沼津工業高等専門学校	電子制御工学科	教授	かわかみ まこと 川上 誠		対象：小学4年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/d
0125	工業	工学教育		ロボットにライトレースをさせてみよう	沼津工業高等専門学校	電子制御工学科	教授	かわかみ まこと 川上 誠 他1名		対象：小学4年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/d
0125	工業	工学教育		音の世界に触れてみよう！	沼津工業高等専門学校	電子制御工学科	教授	じょん まんよん 鄭 萬溶		対象：中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/d
0125	工業	工学教育		ゼロからのロボット開発	沼津工業高等専門学校	電子制御工学科	准教授	あおき ゆうすけ 青木 悠祐		対象：中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/d
0125	工業	工学教育		センサとロボット制御	沼津工業高等専門学校	制御情報工学科	教授	おおくぼ しんや 大久保 進也 他1名		対象：中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/s
0125	工業	工学教育		目に見えない紫外線を捕まえてみよう	沼津工業高等専門学校	物質工学科	教授	ふるかわ かずみ 古川 一実 他1名		対象：小学5年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/c
0125	工業	工学教育		ガラスって何？	沼津工業高等専門学校	物質工学科	教授	おおかわ まさし 大川 政志		対象：小学5年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/c
0126	商業	統計学	New	データサイエンス入門ーデータを正しく読み取るための基礎ー	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	いづか しげよし 飯塚 重善	・H27「街で使う！スマートフォン・地図・位置情報」(神奈川県商工会連合会経営指導員研修会)	・HCD-Net認定 人間中心設計専門家	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0126	商業	会計学		・『ライフプランニングのために欠かせない「会計リテラシー」』 ・「ICを活用した教育の動向と展望」	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	きむ しょうこ 金 承子	・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会会員 ・資産設計提案業務(FP)技能士 ・税金と資産管理 ・経済社会と会計情報 ・教育用ICT活用と未来教育 他	・H23『戦略的収益費用マネジメントー新時間主導型ABCの有効利用ー』(前田貞芳、久保田敬一、海老原崇：監訳)(訳書：R.S.Kaplan and S.R.Anderson, Time-driven Activity-Costing) 金承子 2章・3章担当) ・H19『IT投資マネジメントの発展』(松島桂樹：編著・金承子 4章担当) ・「グローバル環境下における経営管理技法の移転に関する研究」 ・「静岡英和学院大学における簿記教育の現状と課題ー外国人留学生対象とした簿記教育の再検討(2019)」 ・「Microsoft Teamsを活用した簿記教科科目の効率的な運転方案」(2020) ・「ICTを活用した簿記・会計教育ー実用科目の成果(簿記検定)を求めて(2021)」	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0126	商業	経営戦略		企業の競争分析、戦略分析	静岡産業大学	経営学部	教授	田口 敏行		・『産学協働と研究開発戦略』(白桃書房)	054-645-0191	054-645-0195	taguchi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0126	商業	簿記簿記会計原価計算管理会計		簿記会計(各試験各級に対応)	静岡産業大学	経営学部	准教授	石垣 美佳		・R2『基礎から学ぶ 簿記会計・経営分析』(税務経理協会、共著)	054-645-0191	054-645-0195	ishigaki@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0126	商業	統計学		アンケート調査の設計と分析	静岡産業大学	経営学部	教授	牧野 好洋	・H30 静岡県 地方統計職員業務研修 講演「経済波及効果分析入門ー産業別・市町別・事業所規模別の構造分析ー」 ・H30 内閣府 GDPに関する講演会 講演「GDPとシェアリング・エコノミー」 ・R1 内閣府 県民経済計算全国主管課長会議 講演「県民経済計算における中央政府の扱いについて」 ・R4 内閣府 県民経済計算推計支援アドバイザー派遣及び集中的支援事業 講演「2015年基準改定における中央政府の取り扱い変更について」	・R2 中小企業庁「戦略的基盤技術高度化・連携支援事業」委員 ・R3 内閣府「地域間の移出入推計の課題に対応するための調査」会議座長 ・R3 総務省「産業分類改定研究会」構成員 ・R4 内閣府「県民経済計算標準方式等の整備作業」座長 ・寄稿「産業のつながりに着目を」(『日本経済新聞』H30.8.13) ・論文「静岡市ものづくり産業の構造と予測」(『ものづくり先進都市等調査研究報告書』H31)	054-645-0191	054-645-0195	makino@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0126	商業	簿記・財務会計・国際会計		・検定試験(日商簿記検定試験、ビジネス会計検定試験) ・財務会計 ・財務諸表分析から考える企業の現状と将来 ・国際会計基準の任意適用が日本企業に及ぼす影響	静岡産業大学	経営学部	講師	藤田 直樹		・H31『新版基本簿記論(第4版)』(中央経済社、共著)。 ・H30論文「未認識債務の有用性に関する実証研究：企業会計基準第26号導入前後の会計期間を対象として」『商学論究』第66巻第1号、33-52頁。 ・H31論文「国際会計基準における退職給付会計の変遷：1993年IAS第19号まで」『産研論集』第46号、85-93頁。 ・R2論文「An Empirical Study of the Value Relevance of Accumulated Benefit Obligation: Evidence from Japan」『International Review of Business』No.20、pp.57-70。 ・R3論文「An Empirical Study of the Recycling of Actuarial Gains and Losses: Evidence from Japan」『International Review of Business』No.21、pp.69-86。 ・R4論文「国際会計基準における退職給付会計の変遷に関する考察ー1993年IAS第19号公表後から1998年IAS第19号までー」『環境と経営』第28巻第2号、231-250頁。	0538-37-0191	0538-36-8800	n-fujita@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0126	商業	行動経済学		劇画「カイジ」に学ぶ行動経済学	静岡産業大学	経営学部	副学長	丹羽 由一						
0128	看護	看護倫理	New	看護倫理について、臨床現場で遭遇する倫理的問題について	浜松医科大学	医学部看護学科	准教授	むらまつ たえこ 村松 妙子		医学映像教育センター 看護教育シリーズDVD 事例で学ぶ看護倫理 Vol.1倫理的感性を養う、Vol.2倫理的ジレンマを考える 新型コロナウイルス感染症の流行に伴って医療従事者が経験した職務上の倫理的問題、日本看護科学学会誌、2022。DOI: 10.5630/jans.42.55	053-435-2810	053-435-2810	m.taeko@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-nurs/dept/fundamental-nurs/faculty.html

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0128	看護	児童福祉		遊びを用いて病児・障がい児を支援するホスピタル・プレイ・スペシャリストが実現するやさしい医療とは	静岡県立大学短期大学部	社会福祉学科	教授	まつだい ちか 松平 千佳	・日総研出版『HPSの視点と先進スキルで看護師が行う効果的プレパレーション』 ・プレイ&プレパレーション研究会『子どもにやさしい医療を実現するために』 ・静岡県立子ども病院『障がいを持つ子どもたちへの支援方法』 ・東京都立小児総合医療センター『10代の子どもの社会心理的ニーズと遊び活動』 ・浜松市障害保健福祉課『利用者の権利擁護』 ・静岡県児童養護施設協議会『児童福祉における権利擁護について』 ・社会福祉法人健生会『権利擁護と施設内虐待について』 ・順天堂大学保健看護学部『看護総合実習』	・静岡県児童相談所アドバイザー ・NPO法人ホスピタル・プレイ協会理事長、静岡市障がい者歯科保健推進会議委員、静岡県社会福祉会倫理委員、静岡市民自治推進審議会委員、静岡市男女共同参画審議会委員委員長 ・「医療的ケア児と遊び支援 ホスピタル・プレイ・スペシャリストの取り組み事例を通して」(『臨床教育学研究』10巻 R5) ・「The hospital play specialist education course in Japan」(『Play in Hospitals Real Life Perspectives』1巻 R5) ・R2『遊びに生きる子どもたち』(金木犀舎)	054-202-2652	054-202-2652	matudair@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0128	看護	人間関係論		看護教員のためのマインドフルネス	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	高橋 和子	・H26～R2(神奈川県立保健福祉大学)講習会「看護教員のためのヒューマンサービス論」 ・H18～R元(東邦大学看護学部)看護のためのからだ気づき ・H30～R元(神奈川県立歯科大学)看護教員のためのファカルティデベロップメント ・H30～R元(埼玉県看護協会)看護教員のための人間関係論	R2 再版「からだ:気づき学びの人間学」(編者)晃洋書房 H30「レジリエンスを高めるからだ気づきの有効性に関する研究:看護関係者の主体的対話的で深い学びを通して」(共著)日本女子体育連盟学術研究NO.34 H23～H30「JOC女性スポーツ専門部会専門部会員」	0538-37-0191	0538-36-8800	k-takahashi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索。高橋和子公式ブログ(http://kazuko-ynu.jp/)
0128	看護	看護学		静岡県に住む外国人の健康	静岡県立大学	看護学部	講師	まえの 真由美		・H20.4～R3.3. 外国人のための無料健康相談と検診会 事務局長 ・H21.5～R2.4. 静岡県多文化共生審議会委員 ・H30『第21回外国人のための無料健康相談と検診会 検診結果報告』(前野真由美他6名、外国人のための無料健康相談と検診会報告集、p8-20.) ・R3『静岡県の地域住民によるコロナウイルス感染症拡大予防のための「8言語の健康チェック表の」の作成と公開』、(前野真由美他4名、日本国際保健医療学会第35回東日本地方会)	054-202-2678	054-202-2678	maeno@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of197.html
0128	看護	精神看護学		・職場におけるストレスマネジメント講演 ・精神看護学の臨床看護師の看護研究指導・講演 ・精神科病院看護師の倫理講習(R3 静岡県立こころの医療センター) ・精神科訪問看護の制度と現状 ・アルコール薬物関連問題、嗜癖全般	常葉大学(水落キャンパス)	健康科学部	教授	たつの ひろとし 龍野 浩寿	・R1 静岡県立こころの医療センター職員研修「行動制限最小化と人権」 ・R1～5 兵庫県垂水病院 看護管理者研修、看護研究セミナー 指導 ・R1～5 一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部 看護研究発表会 講師及び総評 ・R3～5 一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会 「精神科訪問看護の制度と現状」	・心を病む人の生活をささえる看護(中央法規出版、共著) ・精神看護特集「心が折れない臨床看護研究の具体的なノウハウ」(医学書院、単著) ・実践 精神科看護テキスト 第8巻 看護教育/看護研究(精神看護出版、共著) ・心が折れない看護研究特集 「精神看護」(医学書院 単著)	054-297-3200	054-297-3213	tatsuno@sztokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/hhealth-science/nursing/tatsuno/
0129	福祉	児童福祉		ハイリスクな子どもたちに対する支援方法を学ぶ ライフチャンスの保障としての遊びと活動	静岡県立大学短期大学部	社会福祉学科	教授	まつだい ちか 松平 千佳	・日総研出版『HPSの視点と先進スキルで看護師が行う効果的プレパレーション』 ・プレイ&プレパレーション研究会『子どもにやさしい医療を実現するために』 ・静岡県立子ども病院『障がいを持つ子どもたちへの支援方法』 ・東京都立小児総合医療センター『10代の子どもの社会心理的ニーズと遊び活動』 ・浜松市障害保健福祉課『利用者の権利擁護』 ・静岡県児童養護施設協議会『児童福祉における権利擁護について』 ・社会福祉法人健生会『権利擁護と施設内虐待について』 ・順天堂大学保健看護学部『看護総合実習』	・静岡県児童相談所アドバイザー ・NPO法人ホスピタル・プレイ協会理事長、静岡市障がい者歯科保健推進会議委員、静岡県社会福祉会倫理委員、静岡市民自治推進審議会委員、静岡市男女共同参画審議会委員委員長 ・「医療的ケア児と遊び支援 ホスピタル・プレイ・スペシャリストの取り組み事例を通して」(『臨床教育学研究』10巻 R5) ・「The hospital play specialist education course in Japan」(『Play in Hospitals Real Life Perspectives』1巻 R5) ・R2『遊びに生きる子どもたち』(金木犀舎)	054-202-2652	054-202-2652	matudair@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0129	福祉	社会福祉		感情を育む心理劇	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	うえだ ともゆ 植田 智也	函館市南北海道教育センター平成12年度研修講座 カウンセリング中級	・参加者には、心理劇のセッションに参加していただく。そこでは、心理劇の技法である「役割交換」、「鏡」、「独白」などを通して、他者の感情を推測し、参加者どうしの共感をはかる。クラス内の児童生徒たちの相互理解に役立てていただけることを念頭に置いている。 ・小グループ(10～14人)での受講が望ましい。	054-262-0091	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0129	福祉	社会福祉		児童生徒とその家族を支えるスクールソーシャルワークについて	静岡英和学院大学	人間社会学部	准教授	くりはら たくや 栗原 拓也	<県教育委員会> ・社会教育課 家庭教育支援フォローアップ研修会 <外部団体> ・静岡県社会福祉士会「子ども家庭ソーシャルワーク」	特定非営利活動法人 日本スクールソーシャルワーク協会(理事)	054-262-0091	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0129	福祉	社会福祉		コミュニケーションに関する講義、演習	静岡英和学院大学	人間社会学部	准教授	くりはら たくや 栗原 拓也	<県教育委員会> ・社会教育課 家庭教育支援フォローアップ研修会 <外部団体> ・静岡県社会福祉士会「子ども家庭ソーシャルワーク」	特定非営利活動法人 日本スクールソーシャルワーク協会(理事)	054-262-0091	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0129	福祉	社会福祉		子どもの貧困をめぐる現状と課題	静岡産業大学	経営学部	准教授	川端 奈津子	・R3 (群馬医療福祉大学)教員免許状更新講習「子どもの貧困をめぐる現状と課題」	・H29『新版 児童家庭福祉論(共著)』(一藝社) ・R2～フードバンクちば 中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業(休眠預金等活用法に基づく事業)評価アドバイザー	0538-37-0191	0538-36-8800	n-kawabata@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0129	福祉	メンタルヘルス		ウェルビーイングにつながるヨーガの思想	静岡産業大学	スポーツ科学部	講師	伊藤 麻希		・日本ヨガインストラクター協会2級 H31論文『身体を向上させるヨガの実践について』(静岡産業大学論集 スポーツと人間 第3巻第2号、共著) R2論文『心と身体の関係に着目したヨーガの実践』(日本女子体育連盟学術研究第38巻、単著) R4論文『マインドフルネスの継続的実践の効果:運動を楽しむ心を育む指導の観点から』(日本女子体育連盟学術研究第38巻、単著)	0538-37-0191	0538-36-8800	maki-ito@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0130	情報	情報通信工学		ネットワークの基本技術	静岡大学	工学部	教授	わだ ただひろ 和田 忠浩	H30.R2 教員免許更新講習講師「生活を支える確率」	・H27～東海情報通信懇談会電波部会副部会長	053-478-1611	053-478-1611	wada.tadahiro@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/telecom/
0130	情報	教育工学 情報教育		擬似言語で学ぶプログラミングの基礎的スキル	常葉大学(草薙キャンパス)	社会環境学部	教授	きくかわ いさお 喜久川 功	・R4 常葉高校連携講座「擬似言語で学ぶプログラミングの基礎的スキル」	・R4「初修フランス語デジタル教科書と連携するクラスノート機能の開発」(教育システム情報学会第47回全国大会講演論文集) ・R4「外国語学習用デジタル教科書・教材を用いたクラス運営を支援する学習ガイド機能の実装」(教育システム情報学会研究報告 38(6)) ・R4「効率的かつ効果的な授業運営を可能にする初修フランス語指導者用デジタル教科書の実装」(日本教育工学会 2022年春季全国大会講演論文集)	054-297-6100	054-297-6101	kikukawa@sztokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/social-environment/social-environment/kikukawa/

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0130	情報	情報教育	New	“情報”をデザインする	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	飯塚 重善	・R4 HCD-Net・神奈川県高等学校教科研究会情報部会 共催イベント「情報デザイン教育シンポジウム」大学でのデザイン教育実践事例報告「ノンデザイン系学部でのデザイン教育実践」 ・H31 高大連携事業 出張講義(新羽高校) ・H30 高大連携事業 出張講義(横浜中華学院・逗葉高校) ・H28 「人間中心設計と産学連携による地域活性化の取り組み事例」(神奈川県商工会連合会経営指導員研修会) ・H22 「ITの使いやすさ～複雑化・高度化する情報社会の中で～」(情報技術に関する講演会, 神奈川大学主催)	・HCD-Net認定 人間中心設計専門家 ・H27 「SF映画で学ぶインタフェースデザイン アイデアと想像力を鍛え上げるための141のレッスン」(丸善出版, 分担翻訳) ・H24 06～H26 05 神奈川県商工会連合会 web活用共同販促事業検討会 専門委員	054-262-0091	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0130	情報	3DCG人工知能プログラミング教育オンライン教育		3DCG基礎講座 身近な情報デザイン 人工知能とSociety 5.0 データサイエンス教育とAI教育のDX化とオンライン授業	静岡産業大学	経営学部	教授	佐野 典秀	・R2 富士宮市民カレッジ「人工知能AIが変える未来ほか、全3回」 ・R2 静岡県教育委員会社会教育課主催 公民館長及び公民館運営審議会委員等研修会「コロナ禍における ICTを活用した公民館の運営について(Zoomの活用実演を交えて)」 ・H29～現在に至る「ふじえだロボットアカデミー事業「Pepperを活用したプログラミング教育」」 ・R3 城南静岡高等学校高大連携授業「データサイエンスとドローンが変える近未来社会」 ・R4 吉田町シニアカレッジ「人工知能(AI)の基礎」 ・R3 静岡産業大学 2021年度社会人リカレント講座「経営のDXに活かすデータサイエンス入門」(経営に役立つ統計学)	・CG検定ガイドブック(ソフトバンクパブリッシング) ・静岡県ネット安全・安心協議会 委員長 ・藤枝市Pepperプログラミング成果発表会 審査委員長 他	054-645-0191	054-645-0195	sano@ssu.ac.jp	https://www.ssu.ac.jp/media/sano_2021.pdf
0130	情報	情報教育		情報教育 プログラミング教育	静岡産業大学	経営学部	教授	高橋 等	・H29～R3 教員免許状更新講習「初めてのプログラミング」 ・R1～R3 県総合教育センター 共通教科情報「情報 I」基礎研修 ・R3 島田樟誠高校 出張講義 「Pythonプログラミング入門」	・H19～ 静岡大学教育学部非常勤講師(生活技術) ・H25～ 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師(情報と職業) ・H30～静岡県立大学経営情報学部非常勤講師(情報と職業)	054-645-0191	054-645-0195	h-taka@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0130	情報	情報教育		映像の読み解き方・映像のつづり方	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	佐藤 知条		・NHK学校放送番組ディレクター(H14～H20) 「えいごリアン3」「にんげん日本史」「日本とことん見聞録」「かんじるさんすう1・2・3」「たつたひとつの地球」 ・R1『デュエイ著作集(教育2) 明日の学校、ほか』(共訳)(東京大学出版会)	0538-37-0191	0538-36-8800	c-sato@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0130	情報	情報教育		情報教育 プログラミング教育	静岡産業大学	経営学部	教授	高橋 等	・H29～R3 教員免許状更新講習「初めてのプログラミング」 ・R1～R3 県総合教育センター 共通教科情報「情報 I」基礎研修 ・R3 島田樟誠高校 出張講義 「Pythonプログラミング入門」	・H19～ 静岡大学教育学部非常勤講師(生活技術) ・H25～ 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師(情報と職業) ・H30～静岡県立大学経営情報学部非常勤講師(情報と職業) ・R2～静岡県立藤枝西高等学校学校運営協議会副会長 ・R3～公益社団法人私立大学情報教育協会情報教育研究委員会委員	054-645-0191	054-645-0195	h-taka@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0132	情報	数理工学計算物理学		スポーツデータサイエンス	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	青木 優		・「サッカーの試合に於ける占有面積と得点差の関係」(静岡産業大学論集『スポーツと人間』, 第4巻1号 R2) ・「サッカーの試合に於ける選手間ネットワークの次数と得点差の関係」(静岡産業大学論集『スポーツと人間』, 第4巻1号 R2) ・「サッカーの試合に於ける占有面積と選手間ネットワークの次数を用いた混合型指標の開発」(静岡産業大学論集『スポーツと人間』, 第4巻1号 R2) ・「サッカーの試合に於けるドローン・ネットワークとパス経路の関係」(静岡産業大学論集『環境と経営』第27巻1号 R3)	0538-37-0191	0538-36-8800	maoki@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0190	体育	体育科教育	New	体育科教育に関する講演及び実技講習	常葉大学(浜松キャンパス)	健康プロデュース学部	助教	いながき ともひろ 稲垣 友裕	・R5 日本基礎教育学会 第28回研究大会 研究発表	【論文】 ・「中学校バレーボール授業における攻防の質の変容と文化的実践への参加過程」『日本基礎教育学会紀要』第28巻(R5) ・「わらい到達に寄与する補助発問の有効性の検証：小学校1年生における「特別の教科 道徳」と国語科の実践より」『日本基礎教育学会紀要』第28巻(R5) ・「大学生による小学校体育支援ボランティアの活動の可能性」『常葉大学健康プロデュース雑誌』第18巻1号(R5) ・「教員養成課程における介護等体験実習の現状と課題—アフターコロナの夏休みひまわり講座を事例として—」『常葉大学健康プロデュース雑誌』第18巻1号(R5) ・「中学校学習指導要領(保健体育)の変遷の整理—陸上運動(短距離走・リレー)に焦点を当てて—」『常葉大学浜松キャンパス教職課程研究年報』第1巻(R5) ・「スポーツをめぐるゲームとパフォーマンスに関する論点整理—B. Suits『三つ巴』論文を手掛かりに—」『常葉大学浜松キャンパス教職課程研究年報』第1巻(R5) ・「特別支援教育における情報通信技術の活用—保護者との連携に焦点を当てて—」『常葉大学浜松キャンパス教職課程研究年報』第1巻(R5)	053-428-3511(代)	053-428-2900(代)	t-inagaki@hmt-kocho-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-produce/psychosomatic/inagaki/
0125	工業	工学教育		脳の知能と人工の知能	沼津工業高等専門学校	制御情報工学科	教授	みやした まさのぶ 宮下 真信	・H31 富士川第一小学校区放課後児童クラブ「脳の不思議(仮)」(小学生対象) ・R4 裾野市東西公民館「脳の知能と人工の知能」(小学生対象) ・R4 平塚市立金目中学校「脳の知能と人工の知能」(中学生対象)	対象:小学4年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/s
0125	工業	工学教育		数学・理科の大切さとおもしろさ	沼津工業高等専門学校	制御情報工学科	教授	せりざわ ひろひで 芹澤 弘秀		対象:中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/s
0125	工業	工学教育		身近な環境を調べてみよう	沼津工業高等専門学校	物質工学科	嘱託教授	よしの 芳野 恭士 他3名	・H31 沼津市立門池中学校「門池の地理・歴史について」(中学生対象) ・H31 沼津市立門池中学校「門池の水質と生物について」(中学生対象) ・R2 沼津市立門池中学校「門池の地理・歴史について」(中学生対象) ・R2 沼津市立門池中学校「門池の水質と生物について」(中学生対象) ・R3 沼津市立門池中学校「門池の水質と生物について」(中学生対象) ・R4 沼津市立門池中学校「門池の水質と生物について」(中学生対象) ・R4 東伊豆町市立熱川中学校「身近な環境を調べてみよう」(中学生対象) ・R5 沼津市立門池中学校「門池の水質と生物について」(中学生対象)	対象:小学5年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/c
0125	工業	工学教育		いろんな電池をつくってみよう、みてみよう	沼津工業高等専門学校	物質工学科	教授	いなづ 暁司 稲津 晃司 他5名		対象:小学4年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/c
0125	工業	工学教育		ヨウ素溶液で金属を溶かす	沼津工業高等専門学校	物質工学科	教授	おおかわ まさし 大川 政志 他1名		対象:小学5年生～中学生	055-926-5713	055-926-5700	jinji@numazu-ct.ac.jp	https://www.numazu-ct.ac.jp/department/c

■ 学習指導

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0202	教育方法	国際バカロレア教育		・国際バカロレア教育について ・探究における学習指導について	静岡福祉大学	子ども学部	助教	すがい あつし 菅井 篤	<ul style="list-style-type: none"> ・R4「国際バカロレア (IB) 初等教育プログラムの教育効果の研究」(助言・指導、筑波大学) ・R4「教育効果と学習効果の研究」(助言・指導、筑波大学) ・R3「変わる報道番組 ABEMA Prime」(TV出演) ・R2「フジテレビ系 超逆境クイズバトル!! 99人の壁【学校の先生99人VS天才小学生1人】」(TV出演) ・R2「開智学園全体研修会学園研修講座」(講師) ・R2「横浜国立大学 教職実践演習」(助言・指導) ・R2「開智望小学校校内研修 国語科講師」(講師) 	<p>【著書】</p> <p>印刷中『日本における国際バカロレア教育の最前線』(学文社)</p> <p>R2『研究者の子育て』(日本の研究者出版)</p> <p>R2『こども心理学』(デザインエッグ社)</p> <p>H30『アクティブ・ラーニングを拓く学習環境のデザイン』(デザインエッグ社)</p> <p>【研究】</p> <p>国際バカロレア経験者が考える「国際的視野」の特徴—テキストマイニングによる生徒記述の比較分析—(『国際バカロレア教育研究』6巻 R4)</p> <p>「国際バカロレア・ディプロマプログラム (BDP) 初年度生の学習経験とコンピテンシー—高校での学習・経験に関する実態調査」(2021年度)の分析から—(『国際バカロレア教育研究』6巻 R4)</p> <p>「国際バカロレア認定小学校における「チーム学校」を目指した教員研修—LTD話し合い学習法を取り入れた試み—」(『アクティブ・ラーニング型授業における教授・学習の対話的展開過程の検討』(日本認知科学会第36回大会発表論文集 R2)</p> <p>「対話を活用し学びを深める教員研修の実践」(『日本教育心理学会発表論文集62巻 R2)</p> <p>「学校での学習を日常の実践に繋げるアクティブ・ラーニング—グループ活動が児童の認知的理解に及ぼす影響—」(『横浜国立大学教育学会研究論集17巻 R1』)</p>	054-631-9013		sugaiatsushin@gmail.com	https://researchmap.jp/sugai_a

■教職全般

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0200	教育方法	日本語教育学	New	外国にルーツを持つ子どもの日本語能力	静岡大学	国際連携推進機構	特任准教授	さきまき じゅうぞう 佐々木 良造	・R5大洗小学校(茨城県東茨城郡大洗町)における対話による日本語能力調査(対象:教職員)	・「GLD児を対象とした複数年にわたる対話型アセスメント(DLA)が意味するもの」異文化間教育学会ポスター発表 ・(論文)「複言語コミュニティの子どもたちのキャリア発達—PAC分析を手がかりに—」『日本語研究』(東京都立大学紀要)vol.42	054-238-4252		sasaki.ryoza@shizuoka.ac.jp	https://researchmap.jp/keduagajah
0200	教職全般	哲学・倫理学・死生学		対話を通して生と死を探究する	静岡大学	未来社会デザイン機構	教授	たけのうち ひろぶみ 竹之内 裕文	・R5年9月第18回ハイデガー・フォーラム学会発表「死は共有可能か?」(第8回ハイデガー・フォーラム渡邊二郎賞受賞) ・R1年6月日本コミュニケーション学会第49回年次大会パネル「死生学カフェ」 ・H27～現在死生学カフェ主宰(静岡市のほか、福岡市と福島市で拠点形成中) ・R5年11月～現在OC(コンパッションコミュニティ)連絡会代表 ・R4年3月～風待ちカフェ代表	・R4年10月『コンパッション都市公衆衛生と終末期ケアの融合』(共監訳書、慶應義塾大学出版会) ・R4-7科学研究費助成事業「死生を支え合うコミュニティの思想的拠所の究明——対話とコンパッションを糸口にして」代表 ・R1年7月『死とともに生きることを学ぶ死すべきものたちの哲学』(単著ポラーノ出版、第14回日本医学哲学・倫理学会賞受賞)	054-238-4826	054-238-4826	takenouchi.hirobumi@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/philosophy/
0200	教職全般	教育社会学		外国につながる子どもの理解と支援	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	つのがえ ひろき 角替 弘規	・R元年9月 高大連携出張講義 静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校 ・R元年10月 高大連携出張講義 静岡県立静岡西高等学校 ・R3年7月 高大連携出張講義 静岡県立清水南高等学校 ・R3年9月 高大連携出張講義 静岡県立湖北高等学校佐久間分校	・NPO法人教育支援グループEd.ベンチャー理事 ・NPO法人開発教育FUNCLUB理事 ・静岡市社会教育委員(H29～R5) ・静岡市生涯学習推進審議会委員(R5～) ・静岡市多文化共生協議会委員(R5～) ・R3『日本社会の移民第二世代 エスニシティ間比較でとらえる「ニューカマー」の子どもたちの今』明石書店(共著) ・R3『外国ルーツの子どもにとっての食の意味』『国際関係・比較文化研究』(静岡県立大学国際関係学部)20(1)37-52 ・R4『ポストコロナ時代における社会教育の意義と役割』『スポーツと人間:静岡産業大学論集』6(2),117-126(共著)	054-264-5569	054-264-5569	tsunogae@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of659.html
0200	教職全般	学校教育		学校教育	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	准教授	しらとり じゅんや 白鳥 絢也	・H30 常葉大学教員免許状更新講習「国の教育政策や世界の教育の動向」「学習指導要領の改訂の動向等」 ・R1 同上 ・R2 同上 ・R3 同上	・R3 『教育深夜便—子どもの「明日」に心を寄せながら』(三恵社)※執筆協力 ・R4 『世界の学校:グローバル化する教育と学校生活のリアル』(学事出版)※分担執筆 ・R4 『多文化共生教育に関する一考察—「共生」を願う人びとへ—』(常葉大学『教育学部紀要』第43号) ・R4 『教育課程の変遷を見つめる(昭和22・26年度版)—オンデマンド(資料配信型)授業における取り組み—』(教育研究実践報告誌第6巻第2号)	054-297-6100	054-297-6101	jun-shiratori@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/shiratori/
0200	教職全般	教育課程学校教育	New	複式学級の学習指導に関する講義・講演	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	准教授	やまぐち りょうすけ 山口 亮介	・R5「複式学級の学習指導と個別最適な学びの方向性について」長崎大学教育学部 講義 ・R4「複式学級の授業づくり—教材研究の仕方、授業の進め方を中心に—」鶴岡市立風ヶ岡小学校 講演 ・R4「複式学級における指導法について」鶴岡市立渡前小学校 講演 ・R3「複式指導と個別最適な学びの方向性について」酒田市立田沢小学校 講演 指導助言 ・R1「主体的・対話的な学びをつくるには」酒田市立黒森小学校 講演 指導助言 ・R1「自立的な学び手としての子どもの育成に向けて」酒田市立田沢小学校 講演 指導助言	・R4「複式学級の音楽指導における教師の留意点について—教師のための研修資料の作成に向けて—」(『盛岡大学紀要』第39巻) ・R2複式学級における音楽指導の課題と展望 —指導の変遷と教師への聞き取り調査から—(『盛岡大学紀要』第37巻) ・長崎県教育委員会 教育課程説明会 講師経験あり	054-297-6100	054-297-6101	ryosueke@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/yamaguchi/
0200	教職全般	教師教育政策 教育社会学 同僚性・チーム学校 カリキュラム論 道徳教育 教育研究の手法 教育改革 働き方改革		スクール・ミドルリーダーに関する講義 教師の教育研究力に関する講義・演習 日本のカリキュラム特性または道徳教育に関する講義 など	常葉大学(草薙キャンパス)	教職大学院	教授	くればやし のぶゆき 紅林 伸幸	R5富山県総合教育センター学校カウンセリング講座(みんなが生きるチーム支援コース) R4日本教育経営学会 講演「日本教師教育学会における 研究倫理の啓発と学習機会の保証」 R4独立行政法人教職員支援機構教育相談基幹研修「第11講 教育相談体制の充実に向けて」 R3滋賀県教育委員会教頭校務運営研修「調査結果からの改善～教頭としての学校マネジメント」 R2北九州市立学校事務研究会研究大会「これからの学校のあり方と教職員協働による学校運営」	『専門職として成長し続ける教師になるために:教職詳説』人言洞(山崎 準二, 紅林 伸幸編著)2023年 (ISBN: 9784910917108) 『「大津市いじめ自殺事件」報道後の子どもたちが生きる場所』(『囚われのいじめ問題:未完の大津市中学生自殺事件』岩波書店 2021年) 『道徳の授業は変わったか—2016年度/2021年度Webアンケート調査の結果から—』(常葉大学教職大学院紀要(9) 2024年) 『学校管理職たちの挑戦—Webアンケート「学校管理職の学校運営に関する調査(2022)」の結果報告—』(常葉初等教育研究(9) 2024年3月) 『学校を構成するさまざまな専門職—「チームとしての学校」—』(『現代の教師論』ミネルヴァ書店 2019年)	054-297-6100	054-297-6101	kure@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/ggraduate/elementary/kurebayashi/
0200	教職全般	教職課程		水泳指導・水泳科学	静岡産業大学	経営学部	教授	山田 悟史	R1 磐田市公私立幼稚園・保育園・こども園職員研修「楽しい水遊びのために～事故防止と遊びのポイント～」	・日本体育協会公認水泳コーチ ・高等教育における教員養成のための反転授業を利用した水泳の授業」(静岡産業大学論集 スポーツと人間第2巻第2号 H30) ・「プレストストロークの挟み込みインスイープにおける推進力のシミュレーション」(静岡産業大学論集 スポーツと人間第2巻第2号 H30) ・H30 『スポーツの科学と教育～スポーツ・体育指導者必携最新活用方～』(ベースボール・マガジン社)	0538-37-0191	0538-36-8800	s-yamada@ssu.ac.jp	http://sports-solution.com
0200	教職全般	学校教育 美術教育		・子供の創造力と感性 ・学力を育む保育・教育 ・幼児のものづくりと心づくり ・子供の絵と発達 ・コーチングスキルを活かした先生力の向上	聖隷クリスファア大学	国際教育学部	教授	すずき りつお 鈴木 光男	R2 磐田市PTA連絡協議会成人教育委員会講演会「ポストコロナ時代の学校教育とPTA」 R2 浜松私立幼稚園教員研修会「ポストコロナ時代に大切な“かんじる力”“つくる力”“つなげる力”」 R2 磐田中部小学校校内研修会「ポストコロナ時代の学校教育をみんなで考えよう」 R5日本幼年教育研究会「誰一人取り残さない保育・教育」 R6静岡県学童保育連絡協議会研究集会記念講演会「学童保育で心づくり・地域づくり～「こども縁」を核にして～」	R1「S-HTP法によるカンボジアの幼児・児童の描画活動に関する実証的研究(Ⅰ)」(日本比較文化学会「比較文化研究」No.139) R2「S-HTP法によるカンボジアの幼児・児童の描画活動に関する実証的研究(Ⅱ)」(日本美術教育学会誌「美術教育」No.305) R4『美術教育と子供理解』編著(日本文教出版) R4『表現する教室のつくりかた』監修(東洋館出版)	053-439-1400	053-439-1406	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/suhp/KgApp?kyoinId=ykmkgksggy
0200	教職全般	学校教育		幼小接続について	聖隷クリスファア大学	国際教育学部	教授	いいた じんや 飯田 真也	R4浜松市民間保育園長会研修会「幼小接続:小学校との接続」 R4静岡県私立園長会研修会「幼小接続を考える」	R4「反脆弱性」を育む生活科の授業(日本生活科総合的学習教育学会「生活科・総合の実践ブックレット」) R4幼小接続:「遊び」と「学習」をつなぐ「10の姿」と学びの質を高める「逆説明」(大日本図書たのしい学校 令和3年度冬号) R3大学での生活科授業改善報告:幼小接続を大切に「おもちゃをつくりあそぼう」の授業実践:聖隷クリスファア大学社会福祉学部紀要第19号	053-439-1400	053-439-1406	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/suhp/KgApp?resId=S000233
0201	学校経営	教育行政学		学校組織に関する理解(講義・演習)	静岡大学	教育学部	准教授	しまだ けいご 島田 桂吾	H30 浜松市CSフォーラム「コミュニティ・スクールの活用」 H30 富士市中堅教員研修会「チーム学校をつくるための中堅教員の役割」 R1～ 静岡県中堅教諭等資質向上研修「学校組織マネジメントの基礎」 R1 浜松市園経営研修「社会に開かれた教育課程の実現を目指した園経営」 R1 浜松市「地域とともにある学校づくり研修Ⅰ【基礎編】」 R1 静岡県コミュニティ・スクール推進協議会講師 R2 伊東市・沼津市・湖西市コミュニティ・スクール R2～ 袋井市教育委員会「コミュニティスクール」 R3～ 磐田市・袋井市「コミュニティ・スクール」	・磐田市教育委員会自己点検・自己評価会外部有識者委員 ・浜岡中学校区スクラムスクール運営協議会委員 ・はままつの教育推進会議専門委員 ・静岡市放課後児童対策事業運営委員会他	054-238-4708	054-238-4708	shimada@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。

■教職全般

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0201	学校経営	教育経営 組織開発		学校改善(学校評価を含む)(講義・演習)	静岡大学	教育学部	教授	たけい 武井 あつし 敦史	・富士市中堅教員研修 ・神戸市幼稚園主任研修 ・兵庫県立行政職員研修 ・神戸市教頭研修 ・明石市教育委員会教育経営講座等	・市教育委員会自己点検評価委員(静岡・磐田・富士) ・明石市教育推進会議委員 ・富士市教育振興基本計画委員 ・花園幼稚園研究推進アドバイザー ・独立行政法人教員研修センター教育課題指導者海外派遣プログラム・シニアアドバイザー他 ・『学校づくりの組織論』(学文社) ・『学校のニューリーダーを育てる』(学事出版)他	054-238-4702		takei.atsushi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0201	学校経営	教育経営 組織開発		特色あるカリキュラムの開発(講義・演習)	静岡大学	教育学部	教授	たけい 武井 あつし 敦史	・富士市中堅教員研修 ・神戸市幼稚園主任研修 ・兵庫県立行政職員研修 ・神戸市教頭研修 ・明石市教育委員会教育経営講座等	・市教育委員会自己点検評価委員(静岡・磐田・富士) ・明石市教育推進会議委員 ・富士市教育振興基本計画委員 ・花園幼稚園研究推進アドバイザー ・独立行政法人教員研修センター教育課題指導者海外派遣プログラム・シニアアドバイザー他 ・『学校づくりの組織論』(学文社) ・『学校のニューリーダーを育てる』(学事出版)他	054-238-4702		takei.atsushi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0201	学校経営	教育経営 組織開発		学校と家庭・地域の連携協力(講義・演習)	静岡大学	教育学部	教授	たけい 武井 あつし 敦史	・富士市中堅教員研修 ・神戸市幼稚園主任研修 ・兵庫県立行政職員研修 ・神戸市教頭研修 ・明石市教育委員会教育経営講座等	・市教育委員会自己点検評価委員(静岡・磐田・富士) ・明石市教育推進会議委員 ・富士市教育振興基本計画委員 ・花園幼稚園研究推進アドバイザー ・独立行政法人教員研修センター教育課題指導者海外派遣プログラム・シニアアドバイザー他 ・『学校づくりの組織論』(学文社) ・『学校のニューリーダーを育てる』(学事出版)他	054-238-4702		takei.atsushi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0201	学校経営	教育経営 組織開発		活力ある学校・幼稚園づくりの推進(講義・演習)	静岡大学	教育学部	教授	たけい 武井 あつし 敦史	・富士市中堅教員研修 ・神戸市幼稚園主任研修 ・兵庫県立行政職員研修 ・神戸市教頭研修 ・明石市教育委員会教育経営講座等	・市教育委員会自己点検評価委員(静岡・磐田・富士) ・明石市教育推進会議委員 ・富士市教育振興基本計画委員 ・花園幼稚園研究推進アドバイザー ・独立行政法人教員研修センター教育課題指導者海外派遣プログラム・シニアアドバイザー他 ・『学校づくりの組織論』(学文社) ・『学校のニューリーダーを育てる』(学事出版)他	054-238-4702		takei.atsushi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0201	学校経営			新任校長研修講座 「カリキュラム・マネジメント」 学校教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメントについて理解し、学校経営力を高める	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	くらもと 倉本 てつお 哲男	● NITS独立行政法人教職員支援機構 学校経営研修(カリキュラムマネジメント研修・校長研修)(2019年から現在) ● 都道府県・市教育センター研修講師・地域講演・研究指定校アドバイザー(東京・仙台・横浜・神奈川・名古屋・愛知・長野・福岡・宮崎・佐賀・熊本・愛媛・三重・滋賀・静岡・他)(2020年から現在) ● 文部科学省・事業審査委員(地域との協働による高等学校教育改革推進事業)(2019年から2021年)	1) Tetsuo Kuramoto & Associates, Lesson Study and Curriculum Management in Japan, Focusing on Action Research, pp.1-270. (Kindle version) Discover 21 2021年10月. 2) 倉本哲男『アメリカにおけるカリキュラムマネジメントの研究- Service-Learningの視点から -』pp.1-345.(Kindle version) ふくろう出版 2021年10月 3) 齋藤義雄・倉本哲男・野澤有希『教育課程論-カリキュラムマネジメント入門-』(第8・10・13・14・15章) 第二版 大学図書出版 2021年3月 4) 倉本哲男編『開発的生徒指導と学校マネジメント-金泉中の学校再生カリキュラム-』pp.1-141.ふくろう出版 2007年6月	053-6114-6123 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@sua.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0201	学校経営	学校運営 全般	New	学校管理職の学校運営術 学校としての危機管理対応能力の向上	静岡福祉大学	子ども学部	講師	こばやし 小林 ひろあき 広昭	横浜市緑区小学校長会において、演題『先輩に学ぶ 学校経営の1・2・3』7月に講演予定	2010年4月～2020年3月 横浜市立小学校長 その間、横浜市小学校長会学校経営部長、緑区小学校長会会長を経験する。	054-623-8548 (直通)	054-623-8548 (直通)	hi-kobayashi@suuw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/hir-oaki_kobayashi.html
0201	教職全般	学校経営		教員のキャリアと学校の多様性	静岡産業大学	経営学部	講師	日隈 美代子	・R1～R3 静岡県子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」 ・R2 静岡県子育て支援員研修「児童虐待と社会的養護」 ・R1～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「学校・地域との連携」 ・R2～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「保護者との連携・協力と相談支援」	・「教員のキャリアの多様性が学校教育におけるダイバーシティ推進に与える影響」(『人間教育と福祉』、第10号、R3) ・「教員のキャリアとライフコース選択が教育の多様性に与えるもの」(『日本心理学会第84回大会発表抄録集』、R2) ・「教員と教育の多様性を高めるために何が必要か: 教員のキャリアアップとライフコース選択の関連からの検討」(『日本心理学会第62回総会発表論文集』、R2) ・「教員・保育士のキャリア選択に家族が与える影響」(『日本心理学会第85回大会発表抄録集』、R3)	0538-370191	0538-368800	m-higuma@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0201	学校経営	教育経営		高等教育のあり方	静岡産業大学		学長	堀川 知廣	・R4 藤枝南ロータリークラブ講演「大学と地域の連携(静岡県の大学の現状)」		054-645-0191	054-645-0195	horikawa@ssu.ac.jp	静岡産業大学で検索してください https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/
0201	学校経営	教育経営		学校経営における校長のリーダーシップなど	浜松学院大学	現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科	教授	まぐらひ 櫻井 ひろあき 宏明	教職概論(教職、学校についての基本的知識)、進路指導論(キャリア教育)等	・R4 静岡県校長協会進学指導専門委員会研修会(講話) ・R4 静岡県立清水東高等学校管理職研修会(研修) ・論文「高等学校の学校改善における教員集団の変容についての一考察」(『浜松学院大学研究論集』第20号)	053-450-7000	053-450-7111	hr-sakurai@hamagaku.ac.jp	https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/
0202	教育方法	教育心理学		授業研究 ・自己調整学習理論の理解と指導のポイント ・主体的に学習に取り組む態度の評価と指導	静岡大学	教育学部	教授	まち 町 たけし 岳	R1～校内研修講師(静岡県静岡市・袋井市・藤枝市・掛川市・御殿場市・御前崎市・島田市・焼津市・富士市・富士宮市・沼津市・牧之原市・西伊豆町/東京都世田谷区・品川区・江戸川区・八王子市) R3公開講座 かけがわ教育の日「家庭の学び」に関するコンテンツ R1～5 教職員のためのマネジメント講座(静岡県総合教育センター) R3 磐田地区外国語夏季研修会 R3 不登校担当教員兼生徒指導夏季研修(沼津市) R4御殿場市教育フォーラム「主体的に学習に取り組む子どもを育てる授業づくり」 R4 日本教育心理学会公開シンポジウム「動機づけと自己調整の視点から見た対話指導」 R4-5 御殿場市立東小学校(御殿場市教育委員会指定研究発表会)「主体的に学習に取り組む子が育つ授業づくり」	R1～沼津市青少年教育センター スーパーバイザー<著書> R4「エピソードに学ぶ教育心理学」(有斐閣) R2「グループ学習における授業実践型相互教授の介入効果」(風間書房) R2「学校に還す心理学 ～研究知見からとも考える教師の仕事～」(ナカニシヤ出版) R1「教師のための説明実践の心理学」(ナカニシヤ出版) R1「公認心理師基礎用語集(改訂版)」(逸見書房)	054-238-4592		machi.takeshi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。

■教職全般

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0202	教育方法	教育心理学		授業研究 ・主体的・対話的で深い学びの授業デザイン ・自律的に学び合う児童・生徒とは ・学び合いを通して児童・生徒の学力と社会性を育てる	静岡大学	教育学部	教授	まち たけし 町 岳	R1～ 校内研修講師(静岡県静岡市・袋井市・藤枝市・掛川市・御殿場市・御前崎市・島田市・焼津市・富士市・富士宮市・沼津市・牧之原市・西伊豆町 / 東京都世田谷区・品川区・江戸川区・八王子市) R3公開講座 かけがわ教育の日「家庭の学び」に関するコンテンツ R1～5 教職員ののためのマネジメント講座(静岡県総合教育センター) R3 磐周地区外国語夏季研修会 R3 不登校担当教員兼生徒指導夏季研修(沼津市) R4御殿場市教育フォーラム「主体的に学習に取り組む子どもを育てる授業づくり」 R4 日本教育心理学会公開シンポジウム「動機づけと自己調整の視点から見た対話指導」 R4-5 御殿場市立東小(御殿場市教育委員会指定研究発表会)「主体的に学習に取り組む子が育つ授業づくり」	R1～ 沼津市青少年教育センター スーパーバイザー<著書> R4「エピソードに学ぶ教育心理学」(有斐閣) R2「グループ学習における授業実践型相互教授の介入効果」(風間書房) R2「学校に還す心理学 ～研究知見からともを考える教師の仕事～」(ナカニシヤ出版) R1「教師のための説明実践の心理学」(ナカニシヤ出版) R1「公認心理師基礎用語集(改訂版)」(逸見書房)	054-238-4592		machi.takeshi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0202	学校経営	学力向上		学力調査の結果分析と授業改善	静岡大学	教育学部	教授	むらやま いさお 村山 功	R3 浜松市学力向上研修(浜松市教育委員会) R4 静岡県学力向上連絡協議会(静岡県教育委員会) R4 磐田市立富士見小学校(県研究指定校) R5 富士市研修主任研修会(富士市教育委員会) R5 掛川市大須賀地区(県研究指定地域)(静岡県教育委員会) ・R2-R5「標準学力調査結果分析」(御前崎市教育委員会) ・R3-R4「標準学力調査分析」(松阪市教育委員会) ・R5「標準学力調査分析」(登米市教育委員会)	・静岡県学力向上推進協議会会長 「全国学力・学習状況調査の結果に基づく学力向上:学校や教育委員会による分析方法の提案」(実践報告), 村山功, 静岡大学教育実践総合センター紀要, 34, 244-249, 2024/03/11.	054-238-4704	054-238-1071	murayama.isao@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0202	学校経営	教育工学		ICTを活用した授業づくり	静岡大学	教育学部	准教授	しおた しんご 塩田 真吾	・静岡市教育委員会「ICT活用実証研究事業」講師	・H30「コミュニケーションロボットを活用した教育方法の体系的整理と学習効果の検討」(コンピュータ利用教育学会『コンピュータ & エデュケーション』Vol.44)	054-238-4673	054-238-4673	shiota.shingo@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0202	教育方法	ICTを活用した授業		情報モラル教育に関する研修	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	准教授	さかい きょうへい 酒井 郷平	・R1 香川県高松市総合教育センター情報モラル教育研修会講師担当 ・R2 東京都江東区深川第七中学校教員研修会(情報モラル教育)講師担当 ・R3 京都府舞鶴市教育委員会研修会(教職員のICT活用時のモラル)講師担当 ・R3 ふくしま「未来の教室」授業充実事業地区別研究協議会講師担当 ・R3 東京都日野市・小金井市教育委員会情報モラル教育研修会講師担当 ・R4 京都府舞鶴市教育委員会情報モラル教育研修会講師担当 ・R4 東京都新宿区ICT活用研修会講師担当 ・R4 兵庫県姫路市立総合教育センター養護教諭研修会講師担当 ・R5 静岡県人権教育指導者研修会分科会講師担当 ・R5 鳥取県教育センター情報モラル教育研修会講師担当 ・R5 長野県長野市教育センター情報モラル教育研修会講師担当	・R1「教育方法の違い」によるインターネットトラブルの当事者意識への効果比較-映像視聴による講義型授業とカード分類比較法によるワークショップ型授業を対象として-」(『コンピュータ&エデュケーション』48号) ・R2「子どもの情報機器活用に関わるトラブルのリスクアセスメント」(『日本教育工学会論文誌44巻(1)』) ・R3「災害時における SNS 上での誤情報・虚偽情報を見極める中学生向け教材の開発と評価」(『安全教育学研究「東日本大震災10周年特集号」』) ・R4「学級の「1人1台端末」環境における教員のルールづくりの傾向と要因の分析」(『コンピュータ&エデュケーション』53号) ・R5『専門職として成長し続ける教師になるために-教職詳説-』(人言洞)	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	k-sakai@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/sakaik/
0203	教員養成			NITS中堅教員研修の事例 「カリキュラムを開発し、学校組織をマネジメントする重要性」を理解した上で、自己のリーダーシップ(マイリーダーシップ)分析を通して、ミドルリーダーの自覚をする。	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	くもと てつお 倉本 哲男	● NITS独立行政法人教職員支援機構 学校経営研修(カリキュラムマネジメント研修・校長研修)(2019年から現在) ● 都道府県・市教育センター研修講師・地域講演・研究指定校アドバイザー(東京・仙台・横浜・神奈川・名古屋・愛知・長野・福岡・宮崎・佐賀・熊本・愛媛・三重・滋賀・静岡・他)(2020年から現在) ● 文部科学省・事業審査委員(地域との協働による高等学校教育改革推進事業)(2019年から2021年)	1) Tetsuo Kuramoto & Associates, Lesson Study and Curriculum Management in Japan, Focusing on Action Research, pp.1-270. (Kindle version) Discover 21 2021年10月 2) 倉本哲男『アメリカにおけるカリキュラムマネジメントの研究- Service-Learningの視点から -』pp.1-345.(Kindle version) ふくろう出版 2021年10月 3) 齋藤義雄・倉本哲男・野澤有希『教育課程論-カリキュラムマネジメント入門-』(第8・10・13・14・15章) 第二版 大学図書出版 2021年3月 4) 倉本哲男編『開発的生徒指導と学校マネジメント-金泉中の学校再生カリキュラム-』pp.1-141.ふくろう出版 2007年6月	053-6114(教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@sua.c.ac.jp	https://www.sua.ac.jp/
0204	コミュニケーション教育など	哲学・倫理学・死生学		対話・ファンリテーション講座	静岡大学	未来社会デザイン機構	教授	たけのうち ひろふみ 竹之内 裕文	・R5-6年8月対話・ファンリテーション塾主宰(三島商工会議所) ・R4年2月～現在松崎町まちづくりアドバイザー ・R1～現在哲学塾主宰 ・H27～現在死生学カフェ主宰 ・H25～R1 哲学カフェ@しずおか主宰	・R4年10月『コンパッション都市公衆衛生と終末期ケアの融合』(共監訳書、慶應義塾大学出版会) ・R4-7科学研究費助成事業「死生を支え合うコミュニティの思想的拠り所の究明——対話とコンパッションを糸口に」代表 ・R1年7月『死とともに生きることを学ぶ死すべきものたちの哲学』(単著ボラーノ出版,第14回日本医学哲学・倫理学会学会賞受賞)	054-238-4826	054-238-4826	takenouchi.hirobumi@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/philosophy/
0204	教育方法	言語教育 教育言語学		多文化・多言語状況と「ことば」の教育の在り方	静岡大学	教育学部	教授	おおさわ ひろのり 大沢 啓徳	・H30～R3 教員免許状更新講習「多文化・多言語環境と対話の教育」 ・H30 日本語教育・言語学についての国際セミナー基調講演「日本語教育の研究テーマ—教育実践と学術理論をつなぐ生態学的な捉え方」 ・R1 静岡大学社会教育主事講習「多文化共生と教育」 ・R2～4 県立三島北高等学校、静岡県立藤枝東高等学校、静岡県立磐田南高等学校講演「教えるとは・学ぶとは—3つの提案」 ・R4静岡県総合教育センター主催マネジメント講座「働きやすい学校環境づくり—生態学が語る対話の重要性」	・H30『生態学的言語論が語る学びの未来』(風間書房) ・R3『ともに生きるために—ウェルフェア・リングイステイクスと生態学の観点からみることばの教育』(春風社)	054-238-4583	054-238-4583	utsunomiya.hiroaki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0204	教育方法	言語教育 教育言語学		対話論、言語活動の意義と実践、日本語教育、外国に繋がる子どもたちへの支援、共生社会、生態学的言語論、ことばによる学習環境作り	静岡大学	教育学部	教授	うつのみや ひろあき 宇都宮 浩明	・R1.8 静岡大学社会教育主事講習「社会教育特講」講師 ・R3～ 沼津日本語学院「年少者教育」講師 ・R3～ 浜松日本語学院「年少者教育」講師 ・R4.9静岡県総合教育センターマネジメント講座(新任校長研修会講師) ・R4.10 東京都小学校日本語教育研究会協議会講師 ・R5.7 浜松市教育委員会教科指導基礎研修(国語科・6年目研修会講師) ・R5.8 静岡大学社会教育主事講習「社会教育特講」講師 ・R5.11 吉田町シニアカレッジ講師	・R3.6「対話への信頼から学びの場づくりへ」『季刊人間と教育』110号(旬報社) ・R4.5『対話でみがかことばのカー互いの異なりを活かすグループワーク26』(ナカニシヤ出版) ・R5.10『ともに生きるために—ウェルフェア・リングイステイクスと生態学の観点からみることばの教育』(春風社)	054-238-4583	054-238-4583	utsunomiya.hiroaki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0204	コミュニケーション教育など	サイエンス コミュニケーション		サイエンスコミュニケーションの活性化—情報の共有化とその意義—	静岡福祉大学	子ども	教授	さかた しょうこ 坂田 尚子	しずおかサイエンスレクチャー16. 日本サイエンスコミュニケーション協会, 2024	日本サイエンスコミュニケーション協会認定サイエンスコミュニケーター 静岡科学館SC講座講師	054-623-8547		sakata_shoko@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/shoko_Sakata.html
0204	コミュニケーション教育など	人間関係論		教員のためのマインドフルネス	静岡産業大学	経営学部	教授	高橋 和子	・H18～R2(関西大学ファカルティディバロップメント)講習会「教員のためのからだ気づき」 ・H18～R元(藤沢市文化センター)夏期講習 教師の臨床におけるからだの在り方 ・H26～R元(北の大地の教育を考える会)教員のためのからだ気づき	R2 再版「からだ:気づき学びの人間学」(編者)晃洋書房 H29「コンピテンシー・ベースの授業づくり:コンテキストをどうつくるか」指導と評価.63-7 H29「生の延長上にある死をからだ気づきの実践から考える」mind-body science.人体科学会NO.27	0538-37-0191	0538-36-8800	k-takahashi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索。高橋和子公式ブログ(https://kazuko-ynu.jp/)

■特別支援教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0300	特別支援教育	特別支援教育		特別支援教育 障害児心理学 気になる子支援	静岡大学	教育学部	教授	こうの たけし 香野 毅	・県内幼稚園、保育園、小中学校、特別支援学校での研修講師や授業研究会や研究協議会の助言者 他		054-238-4894	054-238-4894	kono.takeshi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0300	特別支援教育	特別支援教育		特別支援教育 発達障害のある児童生徒の理解と支援 校内における支援体制の推進	静岡大学	教育学部	教授	おおつか あきら 大塚 玲	・R2焼津市特別支援教育連絡協議会「学習障害の理解と支援」 ・R3静岡言語・聴覚・発達障害教育研究会「静岡県の通級による指導への期待」 ・R3静岡市立梅ヶ島小中学校校内研修会 ・R4小笠校長会全体研修会・特別支援学級設置校部会研修会 ・R4伊豆市立修善寺中学校校内研修会「中学校における特別支援教育」 ・R5高等学校特別支援教育研究事業「特別支援教育・現場のヒント発見セミナー」	R5 静岡市発達障害者支援地域協議会委員 R5 高等学校における通級指導支援委員会 R5焼津市特別委支援教育専門家チーム委員 R5 藤枝市専門家チーム会議委員 H31『インクルーシブ教育時代の教員を目指すための特別支援教育入門』(萌文書林) R2『高等学校教員のための特別支援教育入門』(萌文書林) R3『通級における指導・支援の最前線』(金子書房)	054-238-4244	054-238-4244	otsuka.akira@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0300	特別支援教育	特別支援教育		特別支援教育 病弱教育	静岡大学	教育学部	准教授	いしかわ よしかず 石川 慶和	・静岡県総合教育センター希望研修「自立活動の指導計画作成と指導の基本」 ・伊東市教育研究会夏季研修「自立活動に求められる子ども理解と具体的な支援」 ・清水六中校区研修「発達に凸凹がある子どもの理解と学びのユニバーサルデザイン」 ・浜松市教育センター6日目研修「発達に遅れのある子供の 特性理解と具体的な支援」 ・静岡市特別支援教育研修「支援が必要な子の アセスメントと具体的な支援 初級編・中級編」	R4「特別支援教育」(共同出版)	054-238-5014	054-238-5014	ishikawa.yoshi@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0300	特別支援教育	特別支援教育		特別支援教育 教育におけるユニバーサルデザイン	静岡大学	教育学部	准教授	やまもと かおる 山元 薫	・県内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象として、「特別支援教育」や「教育におけるユニバーサルデザイン」などのテーマで研修や講演を行う。 他	R2「ユニバーサルデザインの考え方を生かした学校づくり・学級づくり・授業づくり」(ジ アース教育新社)	054-238-4246	054-238-4246	yamamoto.kaoru@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0300	特別支援教育	小児看護		特別支援学校の医療的ケア	静岡県立大学	看護学部	准教授	すずき わかこ 鈴木 和香子	H25～(継続) 看護師業務に従事する特別非常勤講師の研修会における講義(年2回開催) H27 医療的ケア研修会 静岡県立富士特別支援学校 H28 医療的ケア研修会 静岡県立吉田特別支援学校 H29 医療的ケア研修会 静岡県立吉田特別支援学校	・「特別支援学校の看護師の役割遂行上の困難感とその対処—医療的ケアにおける教員との協働確立に向けた検討—、鈴木和香子、大見サキエ、坪見利香、日本小児看護学会誌、24(1)、8-14、2014 ・特別支援学校における医療的ケアの現状—養育者の語りから—、日本小児看護学会誌、25(1) ・在宅で生活している重症心身障がい児(者)へのリフレクソロジーの効果— 冊子を活用して — (共著)、和洋女子大学紀要、第58巻、2018 他	054-202-2917		wakako-s@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of467.html
0300	特別支援教育	児童福祉	New	医療的ケア児等特別な支援を必要とする子どもと遊びでかかわり、子どもたちの生きる力を伸ばす方法	静岡県立大学短期大学部	社会福祉学科	教授	まつだいら ちか 松平 千佳	・福祉保健局・東京都立病院機構合同研修「相談業務等職員」『こどもと医療をつなげる 試みホスピタル・プレイ〜こどもの優しい療養環境づくりを目指して〜』 ・静岡県立静岡城北高校「本学で子どもの福祉と教育について学ぶということ」 ・児童福祉司任用前講習会等合同研修『子どもの権利擁護』、『子ども家庭福祉における倫理的配慮』 ・静岡大学『多職種で共有するまなざしと生きづらさを抱える子どもに対する支援を考える』 ・愛知県病弱児療育研究会『親との出会いを作り出す必要性と方法—医療的ケア児を遊びで支援する—』 ・静岡県立大学社会人学習講座『こどもを支援するためのリスクリテラシーとホスピタル・プレイ』	・静岡市児童相談所アドバイザー ・NPO法人ホスピタル・プレイ協会理事長、静岡市障がい者歯科保健推進会議委員、静岡県社会福祉会倫理委員、静岡市民自治推進審議会委員、静岡市男女共同参画審議会委員 ・「医療的ケア児と遊び支援 ホスピタル・プレイ・スペシャリストの取り組み事例を通して」(『臨床教育学研究』10巻 R5) ・「The hospital play specialist education course in Japan」(『Play in Hospitals Real Life Perspectives』1巻 R5) ・R2『遊びに生きる子どもたち』(金木犀舎)	054-202-2652	054-202-2652	matudair@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0300	特別支援教育	特別支援教育	New	特別支援教育に関する講義、肢体不自由・知的障害に関する講義	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	講師	ゆたに るみこ 由谷 るみ子	無	特別支援学校の医療的ケアにおけるヒヤリハット・アクシデントに関する調査(『発達障害研究』42巻第2号R2)	054-6100-6101(代)	054-297-6101(代)	rumiko.yutani@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/yutani/
0300	特別支援教育	特別支援教育 障害理解		・共に育つインクルーシブ保育 ・保育現場における発達に課題のある子どもへの支援 ・発達障害のある子どもの保護者支援	静岡産業大学	経営学部	准教授	川端 奈津子	・R4 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「障害のある子どもの理解」 ・H27～R3 (群馬医療福祉大学)教員免許状更新講習「特別支援教育の視点による児童・生徒への適切な支援を考える」 ・R3～R4 伊勢崎市私立保育園会研修会「保育現場における発達に課題のある子どもへの支援」 ・H30～R3 群馬県保育士等キャリアアップ研修会「障害児保育」	・「地域との連携・協働による特別支援教育の現職研修に関する研究(継続研究):自己評価シートの活用と研修実施に向けた連携の在り方に関する一考察(研究報告書)」(共著 R4)	0538-37-0191	0538-36-8800	n-kawabata@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0300	特別支援教育	個別的教育支援計画		通常学級における個別的教育支援計画の活用と連携	静岡産業大学	経営学部	講師	日隈 美代子	・R1～R3 静岡県子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」 ・R2 静岡県子育て支援員研修「児童虐待と社会的養護」 ・R1～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「学校・地域との連携」 ・R2～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「保護者との連携・協力と相談支援」	・「インクルーシブ教育推進のためにVRは何ができるのか:保育者・教員・支援員の専門性向上を目指した活用の方向性について」(『環境と経営』、第25巻第2号、R1) ・「幼保小連携における個別的教育支援計画に関する一考察」(『日本育療学会第22回学術集会抄録集』、H30) ・「幼保小接続期を見据えた個別的教育支援計画の活用方向性」(『日本保育学会第73回大会発表論文集』、R2) ・「母親が子どもの発達障害の可能性を受容するまで」(『日本育療学会第24回学術集会抄録集』、R2)	0538-0191	0538-36-8800	m-higuma@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0300	特別支援教育	特別支援教育、発達領域作業療法、障害理解、感覚統合		支援が必要な子や発達障害児の理解と対応	聖隷クリストファー大学	リハビリテーション学部	教授	いとう のぶひさ 伊藤 信寿	R2 幼児ことばの教室研修会講師「幼児期の発達障害や幼児ことばの教室に望むこと」 R2 カウンセリング・マインドを学ぶ会研修会講師「困っている子どもを支援するコグトレについて」 R1 浜松市立雄踏小学校子育て講演会講師「発達支援における正しい理解」 R1 発達支援教育研修講師「発達が気になる子どもの育ちと支援を考える」 R1 静岡県立清水特別支援学校職員研修会「対象児童の様子について指導助言」	H30～ 浜松市発達支援教育巡回相談員	053-439-1400(代)	053-439-1406(代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId =S000136
0300	特別支援教育	特別支援教育		・聴覚障害児の言語発達と指導:語彙・文法発達を越え、ナラティブの構成に着目して ・学校環境における聴覚障害児の聞こえの困難と、無線遠隔補聴システムの効果 ・障害を併せ持つ聴覚障害児の幼児期後期の発達特性	聖隷クリストファー大学	リハビリテーション学部	教授	おおはら しげひろ 大原 重洋	・H29～R1:特別支援教育専門研修聴覚障害教育専修「聴覚障害児の聴力評価」(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所、横須賀市) ・H29:聴覚障害専門研修会「聴覚障害児における乳幼児期の聴覚活用と学童期の作文能力の関連」(静岡県乳幼児聴覚支援センター、静岡市) ・H29:ACIC人工内耳冬期セミナー「聾学校児童におけるナラティブ」(東京医科大学病院聴覚・人工内耳センター、東京都)	「聴覚障害児におけるハイポイント法を用いた書記ナラティブ発達の検討」(『音声言語医学』59巻3号、H30) 「インクルーシブ環境で学ぶ聴覚障害児の聞こえの困難と、無線補聴システムの効果に関する研究」(『Audiology Japan』62巻5号、R1) 「障害を併せ持つ聴覚障害児の幼児期後期の発達特性と療育に関する検討」(『Audiology Japan』61巻5号、H30)	053-439-1400(代)	053-439-1406(代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId =S000200
0300	特別支援教育	子ども理解	New	・特別支援教育支援員の役割 ・特別支援教育支援員と教職員との連携・協働	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	きむら みつお 木村 光男	・R1～R4・R6下田市支援員研修会 ・R5 沼津市支援員研修会 ・R5 日本臨床教育学会	・R6 特別な教育的ニーズのある子どもに応じたサポートの検討 —小学校に於ける特別支援学級担任と特別支援教育支援員のアプローチから — 常葉初等教育研究 (9)	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	paman@sky.pala.or.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/kimura/

■特別支援教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0300	特別支援教育障害理解 発達障害領域作業療法	特別支援教育、障害理解	New	気になる子どもの理解と支援	浜松学院大学	現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科	教授	おおもり 大森 直也	発達障害等のある子どもを持つ保護者への講演(3回シリーズ) 令和3・4・5年度 静岡県免許認定講習(重複障害)講師 令和5年度 浜松学院大学発達障害理解講座講師 令和3年度	「特別支援学校 新学習指導要領・授業アシスト 自立活動」明治図書2022年 「肢体不自由児の心理」ミネルヴァ書房2024年 「浜松市における不登校児童生徒の支援の概要について」浜松学院大学研究論集2022年 「特別支援教育の理念と実践」浜松学院大学研究論集2024年 「特別支援教育の理念に基づく教育実践に関する研究」こども教育研究(京都ノートルダム女子大学)2024年	053-450-7000	053-450-7111	no-ohmori@hamagaku.ac.jp	https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0401	環境教育	水域環境学		川や湖、沿岸の水環境を通じた学び	静岡大学	工学部	准教授	とだ みつお 声田 三津夫	・高等学校、中学への水環境その他に関する出前講義、小学校への実験理科教室を年に5件程度実施 ・浜松市の水辺、特に佐鳴湖流域に関する一般向け講義、発表を年に2～3件実施	・「静岡大学アメニティ佐鳴湖プロジェクト」(共同執筆) ・有機化学のほか、水環境(水質、生態、水文、水利用など)の研究を実施	053-478-1146	053-478-1183	toda.mitsuo@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	環境教育	地理教育		学校におけるSDGsとESDの進め方・総合的な学習・探究の時間の動向と実践方法	静岡大学	地域創造教育センター	准教授	やまもと りゅうた 山本 隆太	・免許更新講習講師 ・日本ジオパークネットワーク全国研修会ESD講習(2017年5月, 2018年2月)	・H30『地理オリンピックへの招待』(古今書院) ・H31『ヨーロッパ』(朝倉書店)(分担:「自然環境」) ・R3『社会科教育へのケイバリティ・アプローチ』(風間書房)(分担:「地理教育手法の国際的な伝播」) ・R3『システム思考で地理を学ぶ』(古今書院)(分担:思考ツール) ・R3『持続可能な社会に向けての教育カリキュラム』(古今書院)(分担:ESD/SDGs)	054-238-4895	-	yamamoto.ryuta@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	環境教育	核エネルギー化学 核融合工学 放射化学		エネルギーと環境	静岡大学	理学部	准教授	おおや やすひさ 大矢 恭久	・H29～R2原子力規制庁原子力規制人材育成事業「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」 ・R4～文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業「STEAM教育手法を活用し、エネルギー・環境問題を基盤とした原子力人材育成」	・2022年「新訂版静岡県における防災・減災と原子力」(静岡学術出版大矢恭久編著)	054-238-4803	054-238-3989	oya.yasuhisa@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	環境教育	放射化学 放射線化学		静岡県の防災・減災と原子力	静岡大学	理学部	准教授	おおや やすひさ 大矢 恭久	・H29～R2原子力規制庁原子力規制人材育成事業「放射線安全のための大学間連携放射線計測専門家・教育者育成プログラム」 ・R4～文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業「STEAM教育手法を活用し、エネルギー・環境問題を基盤とした原子力人材育成」	・2022年「新訂版静岡県における防災・減災と原子力」(静岡学術出版大矢恭久編著)	054-238-4803	054-238-3989	oya.yasuhisa@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	環境教育	放射化学 放射線化学 核エネルギー化学 核融合工学		核融合炉入門	静岡大学	理学部	准教授	ちかだ たくみ 近田 拓未	・R1サイエンスカフェin静岡第137話「海から太陽をつくる～核融合炉が拓く未来～」 ・R2高大連携出張授業「大学で学ぶこと～化学、放射線、そして社会～」(静岡城北高校) ・R2後期静岡大学FSS高校生1名の受け入れ		054-238-4796	054-238-3989	chikada.takumi@shizuoka.ac.jp	https://www.shizuoka.ac.jp/chikadalab/ または、静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	環境教育	環境教育 栽培		環境教育	静岡大学	教育学部	教授	ふじい みちひこ 藤井 道彦	・H29～R3教員免許状更新講習講師「環境教育をどうすすめるか」 ・H29～R3静岡県教育研究会技術・家庭科夏季研究会分科会助言者 ・R1静岡市教科指導力研修会(中学校技術)助言者 ・R1令和元年度静岡県「食農体験学習指導者育成講座」講師 ・R5第62回全日本(第60回東海・北陸地区)中学校技術・家庭科研究会静岡大会生物育成の技術分科会助言者	・「Study on the Teaching Materials of the Effects of High Temperature on Growth of Rice Cultivars」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3) ・「Developing Teaching Materials on the Effects of Temperature and Fertilizer Type on Yield and Growth of Wheat」(『Conference Proceedings of ICTE 2021』R3)	054-238-4680	054-238-4680	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0401	生物	生命科学	New	生命科学全般および在来作物について	静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	教授	にわ やすお 丹羽 康夫	専門職大学にて「在来作物学」を担当、SBS学苑、静岡科学館るくる等にて講演実績あり		0538-31-7901	0538-34-4445	niwa.yasuo@spua.ac.jp	静岡県立農林環境専門職大学 農林環境専門職大学 短期大学部 (shizuoka-norin-u.ac.jp)
0401	農学	分子生物学	New	ゲノム、遺伝子、PCR、遺伝子組換え作物、ゲノム編集、バイオテクノロジー等	静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	教授	にわ やすお 丹羽 康夫	静岡県立大学、専門職大学にて「分子生物学」の講義を担当		0538-31-7901	0538-34-4445	niwa.yasuo@spua.ac.jp	【公式】静岡県立農林環境専門職大学 農林環境専門職大学 短期大学部 (shizuoka-norin-u.ac.jp)
0401	水処理工学、 廃棄物リサイクル	畜産環境	New	「生物系バイオマスの堆肥化処理技術」 「家畜用浄化槽による畜舎浄化処理技術」 「豚舎汚水からリン除去回収技術」 「家畜ふん堆肥化過程で発生する熱回収利用技術」 「畜舎由来の悪臭防止技術」	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	生産科学科	教授	かわむら えいすけ 川村 英輔	1)「家畜ふん尿処理と獣医師」、令和4年獣医コミュニケーション研究会、2022年9月17日、獣医師会(東京) 2)「農業を支える家畜ふん尿の資源循環～ふん尿処理の主役は微生物～」、令和2年度東京農工大学・東京都 獣医学教育研究包括連携推進協議会シンポジウム、2021年3月16日、東京農工大学・東京都 獣医学教育研究包括連携推進協議会(東京)	(原著) 1)川村英輔ら:2023, 豚舎汚水処理方式の違いによる物質フローと温室効果ガス排出量の推計, 日本養豚学会誌, 60, 1-14. 2)川村英輔:2023, 衛生的な牛ふん堆肥を生産するために5リットルのバケツで水分・比重調整を確認-, 家畜診療, 70(6), 323-329. 3)川村英輔ら:2021, LCA手法を用いた公共下水道を利用した都市近郊酪農の家畜排せつ物処理システムの環境影響評価, 農業施設学会誌, 52(2), 8-20. 4)大塚俊彦・川村英輔ら:2020, ベトナムにおける生活雑排水処理装置導入へのビジネスモデル評価, 用水と廃水, 62(5), 55-64. 5)川村英輔ら:2019, 豚ふん由来臭気成分が豚舎臭気に及ぼす影響, 日本養豚学会誌, 56, 1-12. (普及雑誌等) 1)川村英輔:2020, 「密閉型発酵装置の排気熱を回収・利用する技術(温風返送)」, 農業技術体系「畜産編」, 第38巻 追録第38号, 516の24-516の33, 農山漁村文化協会 2)川村英輔:2019, 「豚舎汚水の性状と活性汚泥浄化槽の“適正運転”」, 養豚界, (665), 23-26, 株式会社 緑書房 3)川村英輔:2019, 「豚排せつ物処理過程からのリン資源およびエネルギー回収」, 畜産の研究, 73(2), 111-114, 株式会社 養賢堂	0538-31-7901	0538-34-4445	kawamura.eisuke@spua.ac.jp	https://researchmap.jp/kanagawa_kawamura
0401	環境教育	衛生学 微生物学 リスク教育 食品科学		水関係全般(機能水・オゾン水) 「生命の源と神の怒り」	静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	教授	ないとう ひろたか 内藤 博敬	オゾンによる新型コロナウイルスの不活化について、機能水シンポジウム2020「機能水業界における新型コロナウイルス対策」、一般財団法人機能水研究振興財団、2020年10月17-18日 オゾン水の抗微生物効果と定量的な試験法の規格化へ向けた取組み、技術情報協会主催セミナー、(株)技術情報協会、(Zoom)、2020年12月10日 新型コロナウイルス、高大連携講義・静岡県立浜松大平台高校、2020年12月22日 感染症から考えるリスク対策、静岡市主催 高齢者学級みのり大学美和学級、2021年10月6日 感染症を正しく恐れるには?、ヘルスケアプランナー検定協会主催 ヘルスケアプランナーオンラインセミナー、2021年10月9日 微生物を知って感染症を正しく恐れる、みのり大学長田学級、長田生涯学習センター、2022年11月25日	農林業教育者としての食と健康、鈴木滋彦編、農林業の魅力と専門職大学、筑波書房(東京)、58-73(2022) リスク教育アクティビティ集、初版、東京、(株)資産とリスク研究所、87pp(2021) ヘルスケアプランナー教本(第1章:健康と医療 Section1, 1-5 日本人の健康状態)(第2章:病気とは Section11 感染症)、初版、東京、(株)ドクターズブラザ、351pp(2020) リスクリテラシー向上のためのリスク教育、リスク学事典、第12章 リスク教育と人材育成、国際潮流、日本リスク研究学会(編集)、p618-623, 丸善出版(株)(2019)	0538-31-7901	0538-34-4445	naito.hirota@spua.ac.jp	https://naitouh.wixsite.com/naitouspage

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0401	環境教育	SDGs全般、ESD (Education for Sustainable Development)	New	・グローバル化する世界でSDGsを自分事とするために ・貧困とSDGs	日本大学	国際関係学部	教授	すずき かずのぶ 鈴木 和信	【2023年度実績】 ・御殿場南高校 2023年7月12日 ・佐野日大高校 2023年10月23日 ・清水南高校 2023年10月25日 ・順天学園 2023年11月13日 ・藤枝西高校 2024年1月17日	・公益財団法人りそなアジア・オセアニア財団りそな環境助成「フィジー野球・ソフトボール協会による植林・地域環境保全活動を通じた環境教育と気候変動対策の推進～スポーツを通じた環境意識向上と人材育成の実践～」2023年04月～現在 ・子どもゆめ基金「インドネシアをもっと身近に！知って、交流して、考えよう！」2023年度終了	055-980-0801	055-987-6350	nakamura.hir-omitsu@nihon-u.ac.jp	【公式】日本大学国際関係学部 (https://www.ir.nihon-u.ac.jp/)
0401	環境教育	環境教育		三保の海の四季を通じて知る生物の生態	東海大学	海洋学部	准教授	つ たくし 鉄 多加志	・県や市内小中学校を中心に演題の出前授業を行っている	・静岡県社会教育施設外部評価委員 ・自然公園指導員(環境省) ・H18『オーシャンエクセサイズ』(東海大学出版、共著) ・H22『健康・フィットネスと生涯スポーツ』(大修館書店、共著) ・H27『THE DEEP SEA 日本一深い駿河湾』(静岡新聞社、写真提供) ・H29『駿河湾学』(東海大学出版、共著) ・H30『海洋考古学入門』(東海大学出版、共著) ・R4『図説世界の水中遺跡』(グラフィック社 共著) その他、海洋生物系の図鑑に多数の写真を提供	054-334-0411 (内線3312)	054-337-0239	tetsu@tokai.ac.jp	
0401	環境教育	社会学	New	SDGsから考える持続可能な社会のしくみ～フィールドワークからはじめる環境社会学～	常葉大学(草薙キャンパス)	社会環境学部	教授	やまもと きなえ 山本 早苗	なし	・R5『環境社会学事典』丸善出版(環境社会学会編。編集委員) ・R4～ 農林水産省「つなぐ棚田遺産」委員会 委員 ・R4～ 静岡県 環境審議会 委員 ・H30～ 静岡市三保松原保全活用計画推進専門委員会	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	syamamoto@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/social-environment/social-environment/yamamoto/
0401	地学	地球環境		海と地球環境・気候変動に関する講義	常葉大学(草薙キャンパス)	社会環境学部	教授	いしだ あきお 石田 明生	・R1 教員免許更新講習講師「静岡の地質と海洋環境」	・H28～ 二酸化炭素地中貯留技術研究組合 研究推進委員会 委員 ・R2～ 静岡市環境審議会 委員	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	ishida@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/social-environment/social-environment/ishida/
0401	環境教育	地球環境教育、環境教育、廃棄物リサイクル	New	身近な環境・リサイクルについて	浜松学院大学	現代コミュニケーション学部 地域共創学科	教授	かとう かつとし 加藤 勝敏	・2018年12月 県境域協議会研修会 講演「県境をまたぐ共生圏における新たな交流の創生」 ・2024年3月 「地域企業からのスピニアウトによる DX 関連産業の創出」の講演、スマートリージョンシンポジウム(主催:東三河地域研究センター、国土計画協会) ※2016年6月 豊橋市エコマネジメントシステム講演会 テーマ:資源循環・リサイクル等を活用した産業化や地域貢献	・「地域企業からのスピニアウトによるDX関連産業の創出(pp110-123)、DX時代の広域連携-スマートリージョンをめざして-」(学芸出版社)(共著)、2024年1月15日発行	053-450-7000	053-7111	kt-kato@hamagaku.ac.jp	https://www.hamagaku.ac.jp/hgu/
0402	キャリア教育	教育社会学		キャリア教育 進路探究学習	静岡大学	学生支援センター	教授	うがた えいじ 宇賀田 栄次	(生徒対象例:高校と大学との違い、学部の選び方) ・R5浜松開誠館高校、稲取高校、御殿場西高校、御殿場南高校、三島南高校、清水南高校、聖隷クリストファー高校 ・R4松崎高校、稲取高校、御殿場西高校、東海大学翔洋高校、清水南高校、湖北高校、浜名高校、小笠高校、成立学園高校(東京都) (教員対象) ・R5東海地区社会教育主事講習 ・R3教員免許状更新講習(進路指導・キャリア教育)	R5『学生相談カウンセラーと考えるキャンパスの心理支援:効果的な学内研修のために2』(遠見書房執筆分担) R3『大学生として学ぶ自分らしさとキャリアデザイン』(有斐閣共著) R1『大学教育を変える、未来を拓くインターンシップ』(ジヤース教育新社執筆分担)	054-238-4985	054-238-4985	ugata.eiji@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0402	キャリア教育	教育工学		キャリア教育	静岡大学	教育学部	准教授	しおた しんご 塩田 真吾			054-238-4673	054-238-4673	shiota.shingo@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0402	キャリア教育	キャリア支援、就労支援、キャリア教育	New	・進路指導 ・コミュニケーション	静岡福祉大学	社会福祉学部	講師	かわい ともゆき 川合 智之	・2022「自己理解を向上させるための人との関わり方」榛原中学校 ・2020-2022「高校生の就職指導について」浜松商業高校	・「普通科高校のキャリア教育における効果:社会人講話が生徒のキャリア発達に与える影響に着目して」静岡大学教育研究17巻P95-110	054-623-8462		kawai.tomoyuki@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/tomoyuki_kawai.html
0402	キャリア教育	就労支援		発達障害者の就労支援と職場定着	静岡産業大学	経営学部	准教授	川端 奈津子	・R3 日本社会福祉学会第69回秋期大会「中小企業で働く自閉スペクトラム症者の職場定着に有効なプログラム理論の検討」 * 発達障害者の就労継続期間は他の障害種に比べて短く、職場定着が課題になっています。高等学校や特別支援学校高等部に在籍する生徒を対象とした「職業生活」を扱います。	・「自閉スペクトラム症がある人の職場定着における効果的援助要素に関する検討～企業へのインタビュー調査の結果から～」(『環境と経営』第28巻2号 R4) ・「自閉スペクトラム症者とともに働く上司に求められるコンピテンシーの検討」(『自閉症スペクトラム研究』19巻1号 R3) ・「働く自閉スペクトラム症(ASD)者の職務遂行に対する同僚・上司の認識に関する検討」(『産業ストレス研究』27巻4号 R2) ・「自閉スペクトラム症者が職場で陥りやすい過剰適応と対処」(『産業精神保健』27巻4号 R1)	0538-37-0191	0538-36-8800	n-kawabata@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0402	キャリア教育	キャリア教育、就労支援		キャリア教育の可能性と課題	静岡産業大学	経営学部	教授	宮田 弘一	R2 尾道市産業支援事業推進協議会「新卒採用セミナー」 * 研究対象を大学としていますので、近年の大学改革に関する政策の流れや、それに対応しようとする大学機関の動き等もテーマとして設定可能です。	・「キャリア教育の効果に関する実証的分析:傾向スコア分析を用いて」『広島大学大学院人間社会科学部研究紀要教育学研究』Vol1 R2 ・「授業者の認識変容プロセスに着目したキャリア教育科目の授業サイクルに関する質的分析:M-GTAを用いて」『大学論集』Vol52 R2 ・「大学におけるキャリア教育法制化の政策過程:『政策の窓』モデルの可能性」『大学教育学会誌』Vol41(1) R1 ・「キャリア教育科目におけるシラバスの内容分析:テキストマイニングによるアプローチ」『広島大学大学院教育学研究紀要』Vol67 H30 ・「大学の『キャリア教育』に関する研究:回顧と課題」『大学論集』Vol50 H30	054-645-0191	054-645-0195	h-miyata@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0402	その他	キャリア教育		静岡を知る、静岡の課題を考える	静岡産業大学		学長	堀川 知廣	・R3 浜松修学舎高等学校体験授業「静岡で学ぶ・静岡で働く(静岡の自慢・ナンバーワン企業のごさ)」 ・R3 榛原高等学校情報科学講座「効果的なプレゼンテーション」 ・R1 城南静岡高等学校体験授業「しずおか学」		054-645-0191	054-645-0195	horikawa@ssu.ac.jp	静岡産業大学で検索してください https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/
0402	キャリア教育	産業・組織心理学		アルバイトとキャリア形成	静岡産業大学	経営学部	教授	太田 さつき	R2-R4「アルバイトとキャリア」静岡産業大学学内講義	R3「キャリア形成に役立つアルバイト経験の探索的研究」静岡産業大学特別支援研究 R3「キャリアと学びのためのアルバイト活用」学内学生向け冊子 R4「キャリアのためのアルバイト活用」学内学生向けパンフレット R4「大学生のキャリア形成に役立つアルバイトとは」産業・組織心理学会第37回大会	054-645-0191		ohta@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページアドレス
0402	キャリア教育	産業・組織心理学		大学での経験と女性のキャリア意識	静岡産業大学	経営学部	教授	太田 さつき		R3-R6「女子大学生の昇進意欲を高める大学での経験：キャリア教育立案に向けて」科学研究費基盤研究C R1「女子大学生のキャリア選択に関する：キャリア教育への示唆」静岡産業大学論集『環境と経営』第25巻第1号 R2「大卒若年総合職の昇進意欲：性差の基礎的分析」静岡産業大学論集『環境と経営』第26巻第1号 R1「女子大学生の昇進意欲を高めるもの」産業・組織心理学会第57回大会 R2「なぜ女性の昇進意欲は男性より低いのか？若年総合職を対象とした一考察」日本心理学会 第84回大会 R3「女子大学生のキャリア選択」日本心理学会 第85回大会	054-645-0191		ohta@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0403	食育	臨床栄養学	New	健康寿命延伸に関する実践的栄養学の講義	常葉大学(浜松キャンパス)	健康プロデュース学部	教授	いけや 池谷 昌枝	R2 常葉大学公開講座 ポストコロナを生き抜くための栄養と食事 R3 クリエイト浜松主催 小学生親子対象「食事のバランスを見極める力をつけよう」 R4 日本心身健康科学会 第30回 心身健康アドバイザー講習会「ケトジェニックダイエットの治療的意義」 R4 日本口腔看護研究会 JAON第2回静岡地区セミナー「健康の自己統制感に基づく栄養指導」 R4 富塚地区社会福祉協議会主催講演会「健康長寿のためのお弁当作り」 R5 第76回 浜松リハビリテーションセミナー「アクティブエイジングのためのあぶら選び」 R5 第31回浜松市民アカデミー「今から始める～アクティブエイジングのための「知的食生活」にすめ～」	・「主観的健康統制感に基づく健康寿命延伸のための体験型栄養教育プログラムの開発と評価」科研費助成事業(課題番号:18K17337)H30～R3	053-428-3511(代)	053-428-2900(代)	ikeya@hm.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-produce/dietetics/m-ikeya/
0403	食育	摂食嚥下障害学		安心な食べ方・心配な食べ方:窒息事故を回避しながら行う食支援	聖隷クリストファー大学	リハビリテーション学部	教授	しばもと 柴本 勇	1)柴本 勇:姿勢調整と摂食嚥下リハビリテーション, 中国リハビリテーション医学会嚥下障害リハビリ専門委員会, 中国 浙江省寧波市, 2021年7月 2)柴本 勇:食支援の実践, 食とコミュニケーション研究所 セミナー, 2021年6月 3)柴本 勇:摂食嚥下訓練における姿勢調整-何を求めどう調整するか-, 言語聴覚療法臨床研究会, 2021年3月	日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員 学術誌編集委員、日本嚥下医学会評議員 学術誌編集委員。真岡市小学校窒息事故第三者委員会会長。「摂食嚥下障害患者への表面筋電バイオフィードバック訓練」、『嚥下医学』, 9(1)pp63～67, 2020, 2018年「リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎」(医歯薬出版)。科研費:窒息事故軽減に向けた児童の食行動調査と指導計画の開発(分担研究者)、舌骨上筋群表面筋電位パターン解析を用いた至適食品選択手法の開発(研究代表者)	053-439-1400(代)	053-439-1406(代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp/8083/scuhp/KgApp?resId=S000194
0404	安全教育・防災教育	環境エネルギープラズマ技術者倫理		「技術の安全を考える」、技術者倫理	静岡大学	イノベーション社会連携推進機構	准教授	しみず 清水 一男			053-478-1443	053-478-1443	shimizu.kazu@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0404	安全教育・防災教育	教育行政学		学校安全に関する理解(講義・演習)	静岡大学	教育学部	准教授	おおさわ 大沢 啓徳	H30～子育て支援員認定資格研修「安全管理」 H30 浜松市教育センター「危機管理研修」 R1 藤枝市保育協会保健部会研修会「事故防止および事故発生時の対応」	・磐田市教育委員会 自己点検・自己評価会 外部有識者委員 ・浜岡中学校区スクラムスクール運営協議会委員 ・はままつの教育推進会議専門委員 ・静岡市放課後児童対策事業運営委員会 他	054-238-4708	054-238-4708	shimada@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0404	安全教育・防災教育	環境エネルギー		エネルギーと環境	静岡大学	理学部	准教授	ちかだ 近田 拓未	・R1サイエンスカフェ静岡第137話「海から太陽をつくる～核融合炉が拓く未来～」 ・R2高大連携出張授業「大学で学ぶこと～化学、放射線、そして社会～」(静岡城北高校) ・R2後期静岡大学FSS高校生1名の受け入れ		054-238-4796	054-238-3989	chikada.takumi@shizuoka.ac.jp	https://wpp.shizuoka.ac.jp/chikadalab/ または、静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0404	安全教育・防災教育	リスク認知		安全教育に関する研修 学校におけるリスクマネジメント、危機管理 自然体験・遊びの安全管理・教育	静岡大学	教育学部	教授	むらこし 村越 真	・H30～現在:国立登山研修所サテライト研修講師 ・R1 河津町安全研究協議会講師 ・R1 附島島田中学校いじめ防止対策研修 ・R3 静岡大学・読売新聞連続市民講座:リスクに向き合う(講師) ・R3-5年:全国遭難対策協議会(スポーツ庁)コーディネーター ・R3～5年:静岡県・静岡大学連携講座『「リスク」と学校』講師	・R4:『遭難からあなたを守る12の思考』山と溪谷社 共著)	054-238-4665	054-237-6347	murakoshi.shin@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0404	安全教育・防災教育	救急	New	救急医療・防災を身近に考える SDGsカードゲーム、ゲットザポイント	浜松医科大学	地域創成防災支援人材教育センター	特任助教	こんどう 近藤 まさと 誠人	・子供向けに命を守るための授業 ・大人に向けて安全に関する講義 ・SDGsワークショップ	https://note.com/kodomokyumeishi/	053-435-2079	053-435-2241	k.masa08@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/rceci/index.html
0404	安全教育・防災教育	衛生学微生物学 リスク教育 食品科学		リスク認知・リスク教育 「リスク教育を体感してみよう！」	静岡県立農林環境専門職大学	生産環境経営学部	教授	ないとう 内藤 博敬	ウイルスとは～感染症の原因と対策～、リスク教育研究会セミナー「リスクの考え方と新型コロナウイルス」、2020年5月3日・10日 感染症から考えるリスク対策、静岡市主催 高齢者学級みのり大学美和学級、2021年10月6日 感染症を正しく恐れるには?、ヘルスケアプランナー検定協会主催 ヘルスケアプランナーオンラインセミナー、2021年10月9日 微生物を知って感染症を正しく恐れる、みのり大学長田学級、長田生涯学習センター、2022年11月25日 食品からリスクや基準値を考えてみよう食の安全と食料危機、静岡県立大学経営情報学部主催・富士市立高校セミナー、2022年9月2日 生活の中の安全を考えてみよう～高校生のためのリスク学入門～、静岡県立大学 経営情報学部セミナー、2023年3月18日	農林業教育者としての食と健康、鈴木滋彦編、農林業の魅力と専門職大学、筑波書房(東京)、58-73(2022) リスク教育アクティビティ集、初版、東京、(株)資産とリスク研究所、87pp(2021) ヘルスケアプランナー教本(第1章:健康と医療 Section1, 1-5 日本人の健康状態)(第2章:病気とは Section11 感染症)、初版、東京、(株)ドクターズプラザ、351pp(2020) リスクリテラシー向上のためのリスク教育、リスク学事典、第12章 リスク教育と人材育成、国際潮流、日本リスク研究学会(編集)、p618-623、丸善出版(株)(2019)	0538-31-7901	0538-34-4445	naito.hirota@spua.ac.jp	https://naitouh.wixsite.com/naitouspage
0404	安全教育・防災教育	安全教育		学校安全、安全教育、学校危機管理等に関する講義、研修	常葉大学(草薙キャンパス)	教育学部	教授	きみや 木宮 敬信	R5 静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、静岡市教育委員会、沼津市教育委員会、菊川市教育委員会、小田原市教育委員会、京都府教育委員会、三重県教育委員会、宮城県教育委員会など、多数の教育委員会主催研修の講師	R5 静岡県教育委員会「危機管理マニュアル作成の手引き」監修 等	054-297-6100(代)	054-297-6101(代)	kimiya-t@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pe-dagogy/lifelong/kimiya/
0404	安全教育・防災教育	安全教育		水遊び・プール活動	静岡産業大学	経営学部	教授	山田 悟史	・R1 磐田市公私立幼稚園・保育園・こども園職員研修「楽しい水遊びのために～事故防止と遊びのポイント～」	・日本体育協会公認水泳コーチ ・「テキストマイニングによる幼稚園・保育園における水遊びに関するアンケート調査の分析」(『静岡産業大学論集 スポーツと人間』第44巻第1号 R2)	0538-37-0191	0538-36-8800	s-yamada@ssu.ac.jp	http://sports-solution.com

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0404	安全教育・防災教育	安全教育		水泳の監視	静岡産業大学	スポーツ科学部	准教授	和所 泰史	・H30 岡山市石井小学校PTA講習「水泳監視の重要性」	・国際ベーシック・サーフライフセーバー ・『体育実技におけるリスクマネジメント』（共著）（大修館書店）	0538-37-0191	0538-36-8800	y-washo@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0404	安全教育・防災教育	安全教育		子どものリスクマネジメント教育	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きど なおみ 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	運動遊びに関する保育者の意識について、日本幼児教育学会第27回大会、2019子どもと保育（保育内容健康）、大学図書出版、2022 担当科目実績：子どもと遊び、幼児体育、身体表現、子どもと運動Ⅰ、Ⅱ、子どもの健康と安全	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp) https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0405	国際理解教育	言語教育 教育言語学		多文化・多言語状況と「ことば」の教育の在り方	静岡大学	教育学部	教授	うつのみや 宇都宮 裕章	・H30～R3教員免許状更新講習「多文化・多言語環境と対話の教育」 ・H30 日本語教育・言語学についての国際セミナー基調講演「日本語教育の研究テーマ—教育実践と学術理論をつなぐ生態学的な捉え方」 ・R1 静岡大学社会教育専攻「多文化共生と教育」 ・R2～4 県立三島北高等学校、静岡県立藤枝東高等学校、静岡県立磐田南高等学校講演「教えるとは・学ぶとは—3つの提案」 ・R4静岡県総合教育センター主催マネジメント講座「働きやすい学校環境づくり—生態学が語る対話の重要性」	・H30『生態学的言語論が語る学びの未来』（風間書房） ・R3『ともに生きるために—ウエルフェア・リングイスティクスと生態学の観点からみることばの教育』（春風社）	054-238-4583	054-4583	utsunomiya.hiroaki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0405	国際理解教育	国際法		国際法から世界をみる	静岡県立大学	国際関係学部	教授	さかまき しずか 坂巻 静佳	・H27高大連携出張講義（伊東高校）「領海での外国公船の航行」 ・H27高大連携出張講義（清水桜が丘高校）「日中大陸棚の境界確定」 ・H28高大連携出張講義（富士宮西高校）「沖ノ島島は島か」 ・H29高大連携出張講義（浜松市立高校）「沖ノ島島は島か」 ・H30高大連携出張講義（浜名高校）「総領事館に助けにいける？」 ・R2高大連携出張講義（豊橋東高校）「船舶の入港をめぐる沿岸国の権利義務」 ・H29富士市民大学「沖ノ島島は島か」	「軍艦その他の政府公船に対し保護権の行使としてとりうる措置」『日本海洋政策学会誌』第5号（2015年）。 「中国の「東海防空識別圏」の法的評価」（『国際関係・比較文化研究』（静岡県立大学国際関係学部）第16巻1号H29）。 「制限免除主義の下での裁判権免除の判断基準—雇用契約事案の分析を通じた再検討—」『国際法外交雑誌』第116巻3号（2017年）。 『BBNJ新協定の地域漁業管理機関に対する影響』坂元茂樹他編『国家管轄権外区域に関する海洋法の新展開』（有信堂高文社、2021年）。	054-264-5102 (代)		sakamaki@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof/391.html
0405	国際理解教育	国際政治学		国際平和協力と国際政治	静岡県立大学	国際関係学部	教授	やました ひかる 山下 光	・R2高大連携出張講義（静岡東高校）「国際協力としての国連平和維持活動（PKO）」 ・R2高大連携出張講義（清水東高校）「国際協力としての国連平和維持活動（PKO）」 ・R4県民公開セミナー「ウクライナ情勢と人道主義」	・R2「平和構築における自由主義とハイブリッド性」（論文） ・R4『国際平和協力』（単著、創元社） ・R4「国連平和活動と環境・気候変動対策——可能性と課題」（論文） ・R6「国連平和維持活動（PKO）——『停滞』の構造と新たな方向性の模索」	054-264-5336		hikaru@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://researchmap.jp/hikaruyamashita
0405	国際理解教育	開発経済学	New	経済学と日本・世界経済	静岡県立大学	国際関係学部	講師	いino 飯野 光浩	令和3年度高大連携出張講義（浜松市立高校）「開発協力白書からみる日本のODAの特徴と理念」 令和2年度高大連携出張講義（サレジオ高校）「「高校生のための国際貿易入門」—トランプ政権下における貿易について考える—」 令和1年度高大連携出張講義（富士市立高校）「「高校生のための開発経済学入門」—新興・途上国の食糧問題を考える—」 令和1年度高大連携出張講義（清水東高校）「「高校生のための国際貿易入門」—トランプ政権下における貿易について考える—」		054-264-5382	054-264-5382	iino@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof/115.html
0405	国際理解教育	政府開発援助、途上国支援、国際協力（JICA）	New	・国際協力の理念と実践 ・フェアトレードを通じた途上国支援の現状と課題 ・多文化共生社会における国際協力の意義	日本大学	国際関係学部	教授	すずき かずのぶ 鈴木 和信	【2023年度実績】 ・名古屋大学大学院「国際協力による環境保全」（2023年5月18日） ・埼玉県環境科学国際センター「彩の国環境大学」地球環境問題と国際協力/2023年9月30日	・ボルネオ島における持続可能な社会の構築—自然資本を活かした里山保全 奮闘記、明石書店、2021年10月 ・スポーツを通じた地域環境保全の展望の考察—フィジー野球・ソフトボール協会の事例から—/日本環境教育学会誌、2023年3月 ・Challenges for world natural heritage protection through coordinating a variety of values International Journal of Biodiversity and Conservation, 2022年3月 ・Implications of existing capacity building efforts for the conservation and sustainable use of marine biological diversity of areas beyond national jurisdiction: A case study of Japan, Marine Policy 138 105004, 2022年2月	055-980-0801	055-987-6350	nakamura.hiroomitsu@nihon-u.ac.jp	【公式】日本大学国際関係学部 (https://www.ir.nihon-u.ac.jp/)
0405	国際理解教育	経済学	New	アラブ首長国連邦・ドバイの成長と日本企業に関する講義	常葉大学（浜松キャンパス）	経営学部	教授	つじもと まさお 辻本 政雄	「経済学」関連の講義を担当。	2016年の広島修道大学における講演概要は以下のとおり。 https://www.facebook.com/100057488078328/posts/1245775448774436/	053-428-3511 (代)	053-428-2900 (代)	mtsujimoto@hm.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/management/hamamatsu/tsujimoto/
0405	国際理解教育	多文化共生教育		多文化理解ってなあに？	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きど なおみ 木戸 直美	健康教育・子育て支援、富士市教職員親子教室、東京、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、東京家政大学公開講座2022-2023	多文化理解・国際理解への学び（多様性の尊重を目指して）、大学図書出版、2019、海外研修ハンドブック、大学図書出版、2020、担当科目実績：ウエルネスと身体、子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.ac.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp) https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0406	人権教育	看護学 助産学		デートDV予防講座	静岡県立大学	看護学部	教授	ふじた けいこ 藤田 景子	・H24～28 石川県立高校「デートDV予防講話」（高校生） ・H30 外国人DV被害者支援研修会（支援者、市民） ・R1 周産期のDV・子ども虐待にどう取り組むか—暴力の世代連鎖を食い止める—（医療関係者） ・R1 DV・デートDVの基礎知識と対象理解（医療関係者・学生） ・R1 静岡県性暴力被害を考えるシンポジウム（支援者、静岡県民）	・H25～26 石川県男女共同参画 DV予防啓発指導者用引きき作成委員 ・H26.1～3 金沢市若者のための男女共同参画リーフレット作成委員 ・H28～29 金沢市男女共同参画審議会委員 ・H28～29 新金沢市男女協働参画推進行動計画改訂専門部会委員（部会長） ・H28.8『フロンジック看護：性暴力被害者支援の基本から実践まで』（医歯薬出版） ・H29.6～ 静岡市男女共同参画審議会委員	054-202-2911		kfujita@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof/701.html
0406	人権教育	教育学 教育社会学		外国籍児童生徒の教育・学習支援	静岡県立大学	食品栄養科学部	教授	つのかえ ひろき 角替 弘規		・「学校における外国にルーツをもつ子どもたちへの対応」（中央教育研究所報告No.90『人口減少問題と学校教育』99-111） ・H29馬居政幸・角替弘規編著『人口減少時代の家族・学校・地域・社会～生涯にわたる学びと教えの新たな可能性を求めて～』NSK出版 ・H30『外国につながる子ども』藤田由美子他編著『ダイバーシティ時代の教育原理』第12章学文社(pp176-191)	054-264-5569	054-264-5569	tsunogae@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof/659.html
0406	人権教育	国際組織法		国際刑事裁判所の概要—国際連合との関係を中心に—	静岡県立大学	国際関係学部	助教	きたの よしあき 北野 嘉章	・H25 出張講義「国際刑事裁判と国際連合—侵略の扱いを中心に—」富士宮西高校 ・H26 学会報告「国際刑事裁判所規程非締約国国民に対する裁判所の管轄権行使—これまでの裁判所の判例及び国家間の議論から—」国際法学会 ・H28 出張講義「国際社会の組織化と国際連合の誕生」甲府第一高校 ・R3 出張講義「移民・難民に関する国際法の基本構造」常葉高校 ・R4 出張講義「国連安保理の仕組みと安保理改革」清水東高校	・H23「国際連合と死刑廃止（ウィリアム・A・シャバスの原稿の翻訳）」（『死刑と向きあう裁判員のために』（現代人文社）所収） ・R2「『持続可能な開発』原則の歴史と本質的特徴—『ウィズ・コロナ』『アフター・コロナ』時代におけるSDGs追求のための基礎的考察—」（静岡県立大学オンライン連続講義企画＜コロナ後のSDGsの世界＞） ・R3 “The Legal Basis for the Exercise of Jurisdiction by the International Criminal Court and the Preparatory Work of the Rome Statute (VII/Final)”（『国際関係・比較文化研究』19巻2号）	054-264-5102	054-264-5099	y-kitano@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof/452.html

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0407	生涯学習	民俗学	New	生きづらさと多様性の現代民俗学	静岡大学	地域創造教育センター	講師	つじもと ゆうき 辻本 栞生	・R5生きづらさに向き合う民俗学の新天地(ジュンク堂書店池袋本店対談イベント) ・R4地域創生と現代民俗学(ひろさき産学官連携フォーラム第37回イブニングフォーラム)	・R5『生きづらさの民俗学日常の中の差別・排除を捉える』(明石書店) ・R5『クィアの民俗学LGBTの日常をみつめる』(実生社) ・R3『焼畑が地域を豊かにする:火入れからはじめる地域づくり』(実生社) ・R3『山口弥一郎のみた東北津波研究から危機のフィールド学へ』(文化書房博文社)	054-238-4913	054-238-4428	tsujimoto.yuk i@shizuoka.a c.jp	https://researchmap.jp/yukitsujimoto
0407	生涯学習	成人学習		学校と地域の連携・協力 成人の学習の視点からの教員の力量形成	静岡大学	教育学部	准教授	しばえ 浜江 かさね			054-238-4602	054-238-4602	shibue.kasan e@shizuoka.a c.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuok a.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索 ください。
0407	生涯学習	生涯学習 社会教育 青少年教育 家庭教育		学校・家庭・地域の連携協力のあり方につ いて(その他主に生涯学習・社会教育に関 する内容でしたら相談に応じます)	静岡産業大 学	スポーツ科 学部	教職セ ンター 長	松永 由弥子	・R3~R5社会教育基礎研修(静岡県教育委員会) ・R3「社会教育と福祉のさらなる連携に向けて」(静岡県社会教育委員連絡協議会 西部 地区研修会) ・R2~R5「生涯学習コーディネーター資格」取得解説講座(静岡産業大学Biviキャン公開 講座(藤枝市との連携)、R4からは藤枝市民大学として) ・R2~3「家庭、学校、地域の連携・協働の推進と地域の活性化」(国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育主事講習)	・静岡県社会教育委員長、静岡県教育振興基本計画推進委員会委員、藤枝市子ども未 来応援会議委員 ・R3「社会の変革期における社会教育の役割～子供の貧困の現状に社会教育は何か ができるか～」(単著・静岡産業大学情報学部研究紀要第23号) ・R4「ポストコロナ時代における社会教育の意義と役割」(共著・静岡産業大学論集『ス ポーツと人間』第6巻第2号) ・R5「社会教育による社会的包摂の実現可能性」(共著・静岡産業大学論集『スポーツと 人間』第7巻第2号)	0538- 37- 0191	0538- 36- 8800	matunaga@ss u.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu .ac.jp/faculty/teach er/iwata/)より教員 名で検索してくださ い
0407	生涯学習	家庭教育		多文化理解ってなあに？	静岡福祉大 学	子ども学 部	講師	きど 木戸 直美	健康教育・子育て支援,富士市教職員親子教室,東京、多世代間交流ワークショップ,上智 学院 教職協働・教員協働イノベーション研究:千代田区子育て支援,2016-2017,東京家 政大学公開講座2022-2023	多文化理解・国際理解への学び(多様性の尊重を目指して),大学図書出版,2019,海外研 修ハンドブック,大学図書出版,2020,担当科目実績:ウエルネスと身体、子どもと遊び、子 育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a c.jp	木戸直美 静岡福 祉大 (suw.ac.jp)https://w ww.suw.ac.jp/about/ teacher/naomi_kido. html
0408	消費者教育	生活経済学 消費者政策 消費者教育		消費者教育	静岡大学	教育学部	教授	いろかわ 色川 卓男	・R2 埼玉県消費者教育推進委員講演会講師 ・R4 静岡県産業教育専門研修Ⅱ期(家庭・福祉)「高等学校家庭科における消費者教 育」・「消費者教育の充実を図る授業づくり」講師 ・R4 静岡県「令和4年度 教員向け消費者教育実践講座」	・R1～ 静岡市消費者教育推進地域協議会会長 ・R1～ 富士市消費者教育推進地域協議会会長 ・R1～ 沼津市消費者教育推進地域協議会会長	054-238-6841	054-238-6841	irokawa.taku o@shizuoka.a c.jp	静岡大学教員デー タベース (https://tdb.shizuok a.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索 ください。
0410	福祉教育	社会福祉		不適応行動を示す子どもの理解と指導	静岡英和学 院大学	人間社会 学部	教授	うえた 植田 智也	・不登校、いじめ、低学年クラスの学級崩壊、障害児等について、子どもと親の意識の特 徴及び親子関係の特徴を考察する。そのうえで、施設や学校の教職員のケースとのか かわり方を論述したい。		054-262-0091	054-262-0091	presi- room@shizuo ka-eiwa.ac.jp	
0410	福祉教育	子ども家庭福祉 社会福祉	New	「こども家庭庁・こども基本法」について 「子どもの権利条約(児童の権利に関する 条約)」について 「子どものウェルビーイング」について考え る	静岡福祉大 学	子ども学 部	准教授	はいたに 灰谷 和代	こども家庭庁令和5年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・ 子育て支援」) 中部地区商工会連絡協議会 女性部会研修会「地域の子育て支援「こどもの居場所」を考え る」 静岡県令和5年度子育て支援員研修「事例検討」「地域資源の連携づくりと促進」 静岡県令和5年度放課後児童支援員認定資格研修「特に配慮を必要とする子どもの理解」 厚生労働省令和4年度保育実践充実推進のための中央セミナー(オ)分科会「子育て支援」 厚生労働省令和4年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子 育て支援」) ふじのくに地域・大学コンソーシアム高大連携出張講座「静岡県の子どもの学習・生活支援」 静岡県令和4年度放課後児童支援員認定資格研修「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラ ブ」	厚生労働省保育所等における保護者支援の在り方に関する研究会委員 「保育所等における在園児の保護者への子育て支援相談等を通じた個別的な対応を 中心に〜」(厚生労働省,2023.3発行) https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/001079964.pdf 『社会福祉』(共編者),ミネルヴァ書房,2024.(第13章「地域共生社会の子育て支援の総 合施策」) 『子ども家庭支援論』(共編者),ミネルヴァ書房,2024.(第3章「保育の専門性を活かした 子ども家庭支援とその意義」)	054-631-9014 (研 究室 直通)	054-631-9014 (研 究室 直通)	haitani@suw. ac.jp	https://suw.ac.jp/ab out/teacher/kazuyo _haitani.html https://researchma p.jp/k-haitani
0410	福祉教育	社会福祉		あなたの周りに困っている子(人)はいませ んか？	静岡産業大 学	経営学部	准教授	川端 奈津子	・R1 放課後等デイサービス チャイルド・ホープ保護者会「発達障害の理解と支援」 ・R1 長野県小諸高等学校「発達障害がある人とのコミュニケーション」 ・R1 昭和田役場「体験してみる発達障害の人の感覚世界」 ・H30 高崎市社会福祉協議会「発達障害のある人の感覚世界一困った人は困っている 人？」	・「自閉スペクトラム症がある人の職場定着における効果的援助要素に関する検討～企 業へのインタビュー調査の結果から～」(『環境と経営』第28巻2号 R4) ・「自閉スペクトラム症者とともに働く上司に求められるコンピテンシーの検討」(『自閉症 スペクトラム研究』19巻1号 R3) ・「働く自閉スペクトラム症(ASD)者の職務遂行に対する同僚・上司の認識に関する検討 (『産業ストレス研究』27巻4号 R2) ・「自閉スペクトラム症者が職場で陥りやすい過剰適応と対処」(『産業精神保健』27巻4 号 R1)	0538- 37- 0191	0538- 36- 8800	n- kawabata@ss u.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu .ac.jp/faculty/teach er/iwata/)より教員 名で検索してくださ い
0410	福祉教育	社会福祉		ボランティア活動の意義と役割 学校教育における福祉教育の意義と進め 方	聖隷クリス トファー大 学	社会福祉学 部	教授	さとう 佐藤 順子	平成28年 浜松市社協浜松地区センター主催 中区・南区福祉教育担当教員対象 福 祉教育連絡会研修会講師	・2000年代のコミュニティ政策の到達点:地域福祉を規定する自治制の在り方を問う(聖 隷クリストファー大学研究紀要19 2021年) ・在住外国人と社会福祉、地域福祉、ソーシャルワークをめぐる研究動向と今後の研究 課題に関する一考察(聖隷社会福祉研究12 2019年) ・地域福祉の時代とソーシャルワーク:ソーシャルワーカーが軸足に据えるべきものを問 う(ソーシャルワーク実践研究6 2017年)	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu- office@seirei. ac.jp	https://gyosekidb.se irei.ac.jp/8083/scu hp/KgApp?resId=S000 031
0410	福祉教育	社会福祉		児童家庭福祉・「保育・教育現場から考え る子どものSOSの気付き方」,教育学・「私 たちはなぜ学ぶのか?~「研究者」として の原点~」	浜松学院大 学	現代コミュ ニケーショ ン学部 子 どもコミュニ ケーション 学科	准教授	おくす 小楠 美貴	・静岡県子育て支援員研修(基本)講義担当(科目名「子ども・子育て家庭の現状」) ・静岡県子育て支援員研修(基本)講義担当(科目名「子どもの障害」) ・浜松民間保育園長会 保育士等キャリアアップ研修 分野別リーダー研修 講義担当 (科目名「地域における子育て支援」) ・静岡県立浜松西高等学校「保護者・地域の方と語る会」高1特別授業 演題「私たちは なぜ学ぶのか?~「研究者」としての原点~」	・小楠美貴(2022)『『代理によるミュンヒハウゼン症候群』に対応する医療ソーシャル ワーカーの課題に関する一考察』『聖隷社会福祉研究』14号、聖隷クリストファー大学 社会福祉学会、P12~22 ・江角周子・白岩伸也・小楠美貴・坂本雄士(2021)「大学新入生における遠隔授業への 適応とその要因——新型コロナウイルス感染症拡大下における学生の支援のあり方に 焦点をあてて——」、『浜松学院大学研究紀要』17号、P37~55	053-450-7000	053-450-7111	ogusu@hama gaku.ac.jp	https://www.hamag aku.ac.jp/hgu/
0411	その他	教育行政学		教育政策に関する理解(講義・演習)	静岡大学	教育学部	准教授	しまだ 島田 桂吾	H30 浜松市立東小学校校内研修「キャリア教育政策」 H30 浜松市立曳馬小学校校内研修「キャリア教育政策」 H30~ 浜松市教員免許状更新講習(必修)「教育の最新事情」 H30~ 静岡大学教員免許状更新講習(必修)「教育の最新事情」 H30 教育職員免許状認定講習「教職概論」 R1 富士市メンター研修「教職キャリアをデザインする」 R2~ 静岡県教育センター「高校8年次研修」 R3~ 浜松市教育センター「令和の日本型学校教育の理解」	・磐田市教育委員会 自己点検・自己評価会 外部有識者委員 ・浜岡中学校区スクラムスクール運営協議会委員 ・はままつの教育推進会議専門委員 ・静岡市放課後児童対策事業運営委員会 他	054-238-4708	054-238-4708	shimada@sh izuoka.ac.jp	静岡大学教員デー タベース (https://tdb.shizuok a.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索 ください。
0411	その他	アンケート 調査		アンケート調査入門	静岡大学	教育学部	教授	むらやま 村山 功	・R3-R5 連携研修「学校におけるデータの収集・分析・活用」(静岡県教育委員会)		054-238-4704	054-238-1071	murayama.isa o@shizuoka.a c.jp	静岡大学教員デー タベース (https://tdb.shizuok a.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索 ください。

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0411	その他	学校図書館		学校図書館を授業に活用する	静岡大学	教育学部	教授	むらやま いさお 村山 功	・R1・R3・R5 学校図書館司書教諭講習「学校図書館メディアの構成」 ・R2・R4 学校図書館司書教諭講習「学習指導と学校図書館」 ・R5 静岡県図書館研究会大会「ネットワーク時代の学校図書館の在り方」 ・R5 三島市教育研究会学校図書館班会「GIGAスクール構想時代の学校図書館の役割について」	・学校図書館司書教諭講習講師 ・公益社団法人全国学校図書館協議会理事 ・『情報メディアの活用』（全国学校図書館協議会、編著）	054-238-4704	054-238-1071	murayama.isao@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0411	その他	学校保健、保健教育、養護教諭実践学		養護教諭の教育実践 多職種他機関連携の実践	静岡大学	教育学部	教授	かまづか ゆうこ 鎌塚 優子	・静岡市、浜松市、静岡県養護教諭の教育実践にかかわる悉皆研修 ・全国養護教諭連絡協議会研修会研修 ・鳥取県、高知県、新潟県、熊本県、金沢市、相模原市等の養護教諭の教育実践にかかわる悉皆研修及び講演 ・金沢市生徒指導研修 ・令和4年度若手教員向けリーダー研修会「インクルシブ教育と合理的配慮の理解を深める」(公益社団法人山形県私立幼稚園・認定こども園協会)	・養護教諭、看護師、保健師のための新版学校看護東山書房(2021年)共著・学校教育の現代的課題と養護教諭大学図書出版(2021年)共著 ・学校の新しい生活様式対応、これで解決養護教諭のための新型コロナウイルス対策Q&Aぎょうせい(2020年)共著・実践・事例から学ぶ生徒指導ツール出版(2020年)共著 ・「新しい学校生活」のための感染症対策ハンドブック学事出版(2020年)編著	054-238-3033	054-238-3033	kamazuka.yuko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0411	その他	ケースメソッド教授法		ケースメソッド教授法とは	静岡大学	教育学部	教授	かまづか ゆうこ 鎌塚 優子	・地域のNPO等、小学校、中学校、高等学校での研修	・討論して学ぶ探究的道德ケースブッカー社会に貢献する子供を育てる—静岡学術出版(2023年) ・探究的な学び×ケースメソッド—教育イノベーターのための新しい授業チャレンジ学事出版(2022年) ・とことん考え話し合う道德—ケースメソッド教育実践入門—学事出版(2018年)	054-238-3033	054-238-3033	kamazuka.yuko@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0411	その他	教育工学		情報モラル教育	静岡大学	教育学部	准教授	しおた しんご 塩田 真吾	・H29、30 文部科学省「情報モラル教育指導者セミナー」講師	・H30『行動改善を目指した情報モラル教育—ネット依存傾向の予防・改善—』(静岡学術出版)	054-238-4673	054-238-4673	shiota.shingo@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。
0411	その他	生物工学		バイオテクノロジーや発酵醸造	静岡県立大学	食品栄養科学部	准教授	かわらさき やすあき 河原崎 泰昌	・H22 静岡県高大連携事業・星陵高校(静岡県富士宮市)「砂糖の200倍甘い話」 ・H23 静岡県高大連携事業・静岡県立袋井高校「微生物酵素を用いたアミノの工業生産」 ・H25 河原崎泰昌:夢ナビライブ2013名古屋 学問講義ライブ ・H27~ 静岡県立掛川西高校自然科学部外部アドバイザー ・H27 静岡県高大連携事業・科学技術高校(プロテアーゼによる甘味料合成) ・R3 静岡県高大連携授業・沼津高校(コロナ感染拡大の為中止)	・H26 河原崎泰昌、伊藤圭祐:最新のトピックス『ランダムな変異導入技術に光明!? 進化する進化分子工学の基盤技術』(月刊化学 69巻5号 pp72-73、化学同人) ・H26 伊藤圭祐、河原崎泰昌『食・薬成分の生体吸収に関わるペプチド輸送体の基質多選択性』(バイオサイエンスとインダストリー、72(2)、130-131頁) ・H27 河原崎泰昌、伊藤圭祐『難生産性蛋白質の生産法』(化学と生物 11号)	054-264-5540	054-264-5540	kawarsky@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/prof170.html
0411	その他	イスラーム研究		東南アジアのイスラーム・イスラーム法学・日本のムスリム社会・日本と東南アジア・世界各地のロヒンギャ難民	静岡県立大学	国際関係学部	准教授	しおがさき ゆうき 塩崎 悠輝	R1「Citizenship and Faith in the Age of New Media: Japanese Experience」The Second TWMCC Conference “Building Future Leaders: Commitment, Integrity and Innovation” Abu Dhabi, UAE	H28『国家と対峙するイスラーム マレーシアにおけるイスラーム法学の展開』(作品社) R1『マレーシアにおけるロヒンギャ難民と教育 公共的課題としての難民の社会統合』、『SIAS Working Paper Series』			shiozakiyuki@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/i-shiozakiyuki.html https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/management/fuji/hata/
0411	その他	経営学、人事労務管理、経営史	New	経営学・人的資源管理論、ドラッカーのマネジメント論、日本企業の経営の特徴と現状	常葉大学(草薙キャンパス)	経営学部	教授	はた たかし 畑 隆	・R1~R5 大学において「経営学総論Ⅰ・Ⅱ」、「人的資源管理論」を講義(H24、H25 教職免許更新講習「マネジメントの理論と実践」)	・R3「日本自動車産業における能力・成果主義下の人事・賃金管理と労使関係:1980~2009年」学位論文[R4年3月、東京大学より「博士(経済学)」授与(論文博士)] ・R5『やさしく学ぶ経営学 [第3版]』(創成社) [第3章、第5章、第11章執筆]	054-297-6100	054-297-6101	hata@sz.tokoha-u.ac.jp	
0411	その他	老年学	New	高齢者の転倒リスクに関する講義 バランス能力の低下に関する講義	常葉大学(浜松キャンパス)	保健医療学部	准教授	あまの てつや 天野 徹哉	・2019年 静岡県立浜名高等学校 進路ガイダンス 講師 ・2019年 常葉大学附属常葉高等学校 連携講座 講師 ・2020年 常葉大学附属常葉高等学校 連携講座 講師 ・2021年 静岡県立浜名高等学校 進路ガイダンス 講師 ・2021年 常葉大学附属常葉高等学校 連携講座 講師 ・2023年 常葉大学附属常葉高等学校 連携講座 講師 ・2023年 一般社団法人茅野市訪問看護センター教育事業 講師	・2021年「Identifying activity limitation and decline in quality of life in patients with knee osteoarthritis who are scheduled to undergo total knee arthroplasty」J UOEH. 43(1):33-39. ・2021年「Cross-validation of a screening tool to distinguish between fallers and nonfallers in community-dwelling older adults with knee osteoarthritis」Arch Phys Med Rehabil. 102(4):598-603. ・2022年「Derivation of a screening tool for predicting the risk of falls in community-dwelling older adults with knee osteoarthritis. Int J Rehabil Res」45(4):336-342. ・2023年「理学療法エビデンスのつかいかた・つくりかた・つたえかた」(ケイアール、分担執筆) ・2024年「Evaluating the diagnostic accuracy of a screening tool for low physical activity in independently ambulating adults with knee osteoarthritis: A prospective cohort study」Physiother Res Int. 29(1):e2041.	053-428-3511	053-428-2900	tamano@hmt-okoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-care/physics/amanoo/
0411	その他	歴史地理学		①歴史地理学による地域変遷と空間復原 ②静岡県の再発見	静岡英和学院大学	人間社会学部	専任講師	ほん みよんじん 洪 明真	公益社団法人 ふじのくに地域・大学コンソーシアム、高大連携出張講座(静岡県補助事業)、講座名:素晴らしい静岡県の再発見(静岡北高等学校、2022年9月20日)	・菊地俊夫・松山 洋編 2020.『東京地理入門』朝倉書店。(第5章 東京の歴史と文化「江戸の範囲」、「江戸の休日」、「江戸の地名」) ・Toshio Kikuchi, Hiroshi Matsuyama, Sasaki Lidia, Ranaweerage Eranga 2020.『Geography of Tokyo』Asakura Publishing Co., Ltd.(Chapter 5「Edo's spatial range」、「Edo's public holidays」、「Tokyo's place names」) ・洪 明真 2018. 江戸期の上野地域における行楽空間—歴史地理学からのアプローチ—. 観光科学研究 第11号: 35-43. ・Myungjin Hong 2017. A Study on the Present Condition and Utilization of the Historical Geography Information System in Japan—Examples of Space Restoration in Japan's Historical Area—. Journal of the Korean Geographical Society Vo.52, No.6(Series No.183): 845-861. ・洪 明真 2016. 江戸期における日本橋地区の商業地景観の特徴とその変容—視覚史料の分析を中心として—. 観光科学研究 第9号: 67-73.	054-264-9438	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0411	その他	観光社会学		インターネット時代における新しい観光現象と地域振興について考える	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	もうり やすひで 毛利 康秀	・R1 国際学術大会基調講演「歴史イメージとしての絵葉書—研究の動向および社会的意味の再検討—」於:大韓民国 東亜大学校 ・R4 2022年度沼津市民大学「沼津の事例から学ぶコンテンツツーリズムとは?」於:沼津市民文化センター ・R4 令和4年度市民大学リレー講座「持続可能な観光—ウィズコロナ時代の観光と地域振興」於:静岡市役所 静岡庁舎	・R2「アウトレットモールを訪れる観光客の商店街への誘客に関する予備的研究—静岡県御殿場市を事例として—」(『日本観光研究学会全国大会学術論文集35』173-176、日本観光研究学会) ・R3『地域は物語で「10倍」人が集まる』(増淵敏之・安田巨宏・岩崎達也編・共著、生産性出版) ・R3「多摩市聖蹟桜ヶ丘の商店街における10年間の推移に関する調査研究」(『多摩ニュータウン研究23』135-153、多摩ニュータウン学会・共著) ・R4「コンテンツツーリズムとバーチャルツーリズムの相乗的展開可能性に関する考察」(『コンテンツツーリズム学会論文集9』24-35、コンテンツツーリズム学会)	054-262-0091	054-262-0091	presium@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0411	その他	インターフェイスデザイン		デザインと映像メディアに関する演習および講義	静岡産業大学	経営学部	講師	植松 頌太	・R3「品質茶の市場ニーズと統合的なブランディング戦略の重要性」(静岡県農林技術研究所茶業研究センター)	・藤枝市シティ・アイデンティティマニュアル(藤枝市章リファイン)制作	054-645-0191		uematsu@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください。
0411	その他	言語教育		異文化理解教育	静岡産業大学	経営学部	教授	土居 繭子	・R3「多文化共生を考える」浜松湖南高等学校 ・R4「知っているようで知らなかった日本語」吉田町シニアカレッジ	・『老外最想与你聊的100日语话题』(中国宇航出版社、共著)	054-645-0191	054-645-0195	doi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください。
0411	その他	観光		観光統計利活用	静岡産業大学	経営学部	教授	谷口 昭彦		R1「旅行・観光サテライト勘定の利活用について」月刊統計 令和元年5月	0538-37-0191	0538-36-8800	taniguchi@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください。

■専門的な分野

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0411	その他	スポーツナリティクス		運動部活動のためにスポーツパフォーマンスの分析法	静岡産業大学	スポーツ科学部	准教授	徐 広孝	H29 筑波大学附属駒場中・高等学校教育研究会「体育授業の“サッカー”単元におけるGPSを活用した授業実践とその教材」 H29 SSU健康・スポーツ科学セミナー「体育授業で活用される科学的方法の実際」	R3「Construction of Offensive Play Measurement Items and Shot Prediction Model Applying Machine Learning in Japan Professional Football League」, Football Science, Vol.19 H30「中・高等学校のテニスにおけるパフォーマンス測定アプリケーションの開発」, 静岡産業大学論集「スポーツと人間」, 第2巻, 第2号 H29「サッカーの攻撃におけるプレーの最適化アルゴリズムの開発」, 統計数理, 第65巻, 第2号	0538-37-0191	0538-36-8800	h-jo@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0411	その他	数学		圏論 可換環論 多様体論	静岡産業大学	経営学部	教授	小林 健一郎			054-645-0191	054-645-0195	ken@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0411	その他	社会工学		地域社会に必要なモビリティサービス	静岡産業大学	経営学部	准教授	岩本 武範			054-645-0191	054-645-0195	t-iwamoto@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0411	その他	社会工学		デジタル化社会と私たちの暮らし	静岡産業大学	経営学部	准教授	岩本 武範			054-645-0191	054-645-0195	t-iwamoto@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0603	医学	東洋医学		日常生活に生かすツボに関する講義	常葉大学 (浜松キャンパス)	健康プロデュース学部	教授	なかざわ ひろゆき 中澤 寛元	無し	・『経穴マップ』(医歯薬出版) ・『東洋医学を応用した刺激療法の実際』(医歯薬出版) 他 ・ストレスマネジメントのためのツボ刺激について(H27 科学研究費助成事業) ・ストレスマネジメントにおける東洋医学的アプローチ(R4 科学研究費助成事業)	053-428-3511 (代)	053-428-2900 (代)	nakazawa@h-m.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-produce/acupuncture/nakazawa/
0110	生物	自然環境保全、里山保全、生物多様性保全、生態系サービス、自然共生社会、循環型社会、低炭素社会	New	・環境保全と地域創生の現状と展望 ・自然環境の便益を活用した都市づくり支援の実践 ・スポーツを通じた地域開発・環境保全 ・再生可能エネルギーポテンシャル評価	日本大学	国際関係学部	教授	すずき かずのぶ 鈴木 和信	【2023年度実績】 ・日本大学国際関係学部市民公開講座/防災・減災の国際協力(2023年6月21日) ・名古屋大学大学院「国際協力による環境保全」(2023年5月18日) ・埼玉県環境科学国際センター 彩の国環境大学「地球環境問題と国際協力」/2023年9月30日	・ボルネオ島における持続可能な社会の構築-自然資本を活かした里山保全 奮闘記、明石書店, 2021年10月 ・スポーツを通じた地域環境保全の展望の考察-フィジー野球・ソフトボール協会の事例から- /日本環境教育学会誌, 2023年3月 ・Challenges for world natural heritage protection through coordinating a variety of values International Journal of Biodiversity and Conservation, 2022年3月 ・Implications of existing capacity building efforts for the conservation and sustainable use of marine biological diversity of areas beyond national jurisdiction: A case study of Japan, Marine Policy 138 105004, 2022年2月	055-980-0801	055-987-6350	nakamura.hirimitsu@nihon-u.ac.jp	【公式】日本大学国際関係学部 (https://www.ir.nihon-u.ac.jp/)

■情報化

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0500	情報化	情報通信		情報理論・符号理論、ネットワーク工学、ワイヤレス通信、情報セキュリティなど情報通信全般	静岡大学	情報学部	教授	すげうら 彰彦	高校への出張講義、市民講座の担当経験多数有	著書(単著):Bluetooth技術解説(ソフトリサーチセンター)、IMT-2000携帯電話通信技術ガイド(リックテレコム)、ワイヤレスネットワークの基礎と応用(OQ出版) (共著):マルチメディア処理入門(朝倉書店)、マルチメディア情報符号化の基礎と応用(コロナ社)			sugiura@inf.sizuoka.ac.jp	https://mmclab.net/
0500	情報化	情報教育		・教育のDX化による働き方改革 ・デジタル機器の進化と基本的な3つの動き ・学校現場におけるICT活用法 ・SNSマーケティングについて ・データサイエンス入門	静岡産業大学	経営学部	教授	永田 奈央美	・R3 静岡産業大学社会人リカレント講座「経営のDXに活かすデータサイエンス入門」 ・R3 藤枝市小中学校学校運営研究部研修会「一人一台端末におけるICT教育の方法」 ・R4 藤枝市小中学校校長会「小中学校におけるICT活用法」 ・R4 藤枝市小中学校教頭会「学校現場におけるICT活用法」 ・R4 藤枝市民大学「日々進化し続けるデジタル機器」 ・R4 清水東高等学校職員研修「デジタル機器の進化とプログラミング的思考法」 ・R4 藤枝東高等学校「データサイエンスとSNSマーケティング」 ・R4 藤枝北高等学校「SNSマーケティングについて」 ・R5 静岡県中部高等学校副校長・教頭会「デジタル機器の進化と教育現場での活用」 ・R5 清水東高等学校「教育のDXとICT活用法」	・藤枝市教育委員 ・静岡県高等学校在り方検討委員会委員	054-645-0191	054-645-0195	nagata@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP (https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より 教員名で検索してください
0500	情報化	3DCG 人工知能 プログラミング教育 オンライン 教育		3DCG基礎講座 身近な情報デザイン 人工知能とSociety 5.0 データサイエンス教育とAI 教育のDX化とオンライン授業	静岡産業大学	経営学部	教授	佐野 典秀	・R2 富士宮市民カレッジ「人工知能AIが変える未来ほか、全3回」 ・R2 静岡県教育委員会社会教育課主催 公民館長及び公民館運営審議会委員等研修会「コロナ禍における ICTを活用した公民館の運営について(Zoomの活用実演を交えて)」 ・H29～現在に至る「ふじえだロボットアカデミー事業「Pepperを活用したプログラミング教育」」 ・R3 城南静岡高等学校高大連携授業「データサイエンスとドローンが変える近未来社会」 ・R4 吉田町シニアカレッジ「人工知能(AI)の基礎」 ・R3 静岡産業大学 2021年度社会人リカレント講座「経営のDXに活かすデータサイエンス入門」(経営に役立つ統計学)	・CG検定ガイドブック(ソフトバンクパブリッシング) ・静岡県ネット安全・安心協議会 委員長 ・藤枝市Pepperプログラミング成果発表会 審査委員長 他	054-645-0191	054-645-0195	sano@ssu.ac.jp	https://www.ssu.ac.jp/media/sano_2021.pdf
0500	情報化	情報工学		地域にある「情報・データ」を活用した社会課題の解決法	静岡産業大学	経営学部	准教授	岩本 武範	・R5: 東海大学静岡翔洋高校(サタデー・セミナー) ・R4: 藤枝市民大学(データマーケティング) ・R4: 藤枝東高校(データサイエンス講座) ・R4: 藤枝西高校		054-645-0191	054-645-0195	t-iwamoto@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より 教員名で検索してください
0500	情報化	情報教育		インターネット安全・安心講座	静岡産業大学	経営学部	教授	佐野 典秀		静岡県ネット安全・安心協議会 委員長	054-645-0191	054-645-0195	sano@ssu.ac.jp	https://www.ssu.ac.jp/media/sano_2021.pdf

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0600	教育相談	小児看護学		小児がんで入院した子どもの復学支援について	浜松医科大学	医学部(看護学科)	講師	みやざし まきよこ 宮城島 恭子	2020年～2023年 静岡市中央子育てセンター 育児講演「子育てを楽しむために一子どものからだところの健康」(育児中の親対象)	・静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代部会 部会員 ・NPO法人がんの子どものトータルケア研究会 静岡 理事 ・復学支援のためのパンフレット(保護者/教員/クラスメイト・子ども向け)、絵本(おかえり！めいちゃん 白血病とたたかった子どもが学校に戻るまで)の作成に携わる ・The process of becoming independent while balancing health management and social life in adolescent and young adult childhood cancer survivors(2023) ・がんの子どもが復学する時のクラスメートへの説明-場面想定法を用いた時の高校生の認識-(2021)	053-435-2821	053-435-2821	kyksk@hama-med.ac.jp	https://kenkyu-web.hama-med.ac.jp/Profiles/3/0000206/profile.html
0600	教育相談			視覚障害理解の学習	浜松医科大学	医学部	視能訓練士	いながき りさこ 稲垣 理佐子	2008年から年1回「当事者、福祉従事者、医療者の立場から小学生に視覚障害に対する講義を行い、障害に対して理解を深める」ことを目的に勉強会を実施	当事者、複視従事者、医療者による小学生の「視覚障害理解の学習」授業についての評価 第25回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 において発表	053-435-2656	053-435-2657	ina@hama-med.ac.jp	http://hama-med-ganka.jp/
0600	教育相談	子育て相談		気になる親と子どもへの対応と支援	静岡県立大学短期大学部	こども学科	教授	こばやし まちこ 小林 佐知子	・H29～R3 静岡大学教員免許更新講習講師「発達の遅れや偏りがある子への気づきと理解」「保護者への支援のあり方」保育現場における教育相談 ・R3 静岡県私立幼稚園初任者研修会講師「気になる子について:保育者に求められる理解と支援」 ・R1～ 静岡県保育士等キャリアアップ研修講師「障害児の発達の援助」「障害児保育の指導計画、記録及び評価」 ・R3 静岡県教育委員会家庭教育支援フォローアップ研修会講師「心と心がつながるために:親への支援のあり方」	・育児期の父親・母親のメンタルヘルスと支援(ストレス、抑うつ傾向、ソーシャルサポート等)に関する研究を実施 ・臨床心理士として子どもの心理検査や親への心理的援助を実施	054-202-2609	054-202-2609	kobayashi@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0600	教育相談	児童福祉	New	子どもたちの問題行動の目的を理解し効果的に支援する方法	静岡県立大学短期大学部	社会福祉学科	教授	まつだいらち か 松平 千佳	・福祉保健局・東京都立病院機構合同研修「相談業務等職員」「こどもと医療をつなげる試みホスピタル・プレイ～こどもの優しい療養環境づくりを目指して～」 ・静岡県立静岡城北高校「本学で子どもの福祉と教育について学ぶということ」 ・児童福祉司任用前講習会等合同研修「子どもの権利擁護」、『子ども家庭福祉における倫理的配慮』 ・静岡大学『多職種で共有するまなざしと生きづらさを抱える子どもに対する支援を考える』 ・愛知県病弱児療育研究会『親との出会いを作り出す必要と方法-医療的ケア児を遊びで支援する-』 ・静岡県立大学社会学人学習講座『こどもを支援するためのリスクリングとホスピタル・プレイ』	・静岡県児童相談所アドバイザー ・NPO法人ホスピタル・プレイ協会理事長、静岡県障がい者歯科保健推進会議委員、静岡県社会福祉会倫理委員、静岡市民自治推進審議会委員、静岡市男女共同参画審議会委員委員長 ・「医療的ケア児と遊び支援 ホスピタル・プレイ・セラピストの取り組み事例を通して」、『臨床教育学研究』10巻 R5) ・「The hospital play specialist education course in Japan」(『Play in Hospitals Real Life Perspectives』1巻 R5) ・R2『遊びに生きる子どもたち』(金木犀舎)	054-202-2652	054-202-2652	matudair@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/)より教員名で検索してください。
0600	教員相談	臨床心理学	New	・教職員校内特別支援教育研修会「スクールカウンセラーからみる教室で困っている児童への対応の仕方」	静岡英和学院大学	人間社会学部	准教授	あかはね なおみ 赤羽 尚美	・R1「叱られたくない子どもたちと叱られたい(?)大人たち」(法務省社会を明るくする運動集会大田区推進委員会 於:大田区立開校小学校)	・「家庭と園を結ぶ読み聞かせ推進活動の事例報告」(日百百女子大学生涯発達研究教育センター生涯発達心理学研究第12号R2) 「幼児の学びを生かした絵本創作の一例」小田原短期大学研究紀要51号R3)	054-262-0091	054-262-0091	presir-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0600	教育相談	臨床心理学		・不登校心理の現状と対策 ・小中高生リストカット、オーバードーズの現状と対策 ・いじめ心理といじめ事案対応方法	静岡英和学院大学	人間社会学部	専任講師	くわしま りゆうじ 桑島 隆二	・R2刈谷市立雁が音中学校教職員研修会「中1ギャップによる不登校心理の現状と対策」 ・R1ベトナムダナン師範大学臨床動作法研修会「臨床動作法による地域援助のあり方」	・「Dohsa-hou Relaxation Enhances Cardiac Parasympathetic Activity Assessed by Analysis of Heart Rate Variability」Japanese Psychological Research 65(2),124-132 (2023) ・「臨床動作法における心理的反応評価尺度の開発-リラクゼーション課題と軸づくり課題の心理的反応-」臨床動作学 研究 25,15-25 (2020) ・「ストレスマネジメント技法としての臨床動作法の有用性 -子育て支援サークルにおける効果の検討-」心身医学 60(8),728-735 (2020)	054-262-0091	054-262-0091	presir-room@shizuoka-eiwa.ac.jp	
0600	教育相談	臨床心理学	New	いじめとその対応について	静岡福祉大学	社会福祉学部福祉心理学	講師	はが 芳賀 道匡	いじめとその対応について。静岡城南高等学校・中学校研修会, 2023	教育臨床業務:東京都渋谷区教育センター教育相談員(H29)、東京都大田区公立学校スクールカウンセラー(H30)、東京都公立学校スクールカウンセラー(H31-R2)、城南静岡高等学校・中学校スクールカウンセラー(R5-) 他	054-623-7000	054-623-7453	mike2021@suw.ac.jp	https://sites.google.com/site/socialcapital20160811/home?pli=1&authuser=2
0600	教育相談	子ども家庭福祉 子育て支援		保育所等における子育て相談 保育所等における相談支援(保育ソーシャルワーク)	静岡福祉大学	子ども学部 子ども学科	准教授	はいたにかずよ 灰谷 和代	こども家庭庁令和5年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) 中部地区商工会連絡協議会 女性部会研修会「地域の子育て支援「こどもの居場所」を考える」 静岡県令和5年度子育て支援員研修「事例検討」「地域資源の連携づくりと促進」 静岡県令和5年度放課後児童支援員認定資格研修「特に配慮を必要とする子どもの理解」 厚生労働省令和4年度保育実践充実推進のための中央セミナー(オ)分科会「子育て支援」 厚生労働省令和4年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) ふじのくに地域・大学コンソーシアム高大連携出張講座「静岡県の子どもの学習・生活支援」 静岡県令和4年度放課後児童支援員認定資格研修「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」	厚生労働省保育所等における保護者支援の在り方に関する研究会委員 「保育所等における在園児の保護者への子育て支援-相談等を通じた個別的な対応を中心にして」(厚生労働省,2023.3発行) https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/001079964.pdf 『社会福祉』(共編者)、ミネルヴァ書房,2024.(第13章「地域共生社会の子育て支援の総合施策」) 『子ども家庭支援論』(共編者)、ミネルヴァ書房,2024.(第3章「保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義」)	054-631-9014 (研究室直通)	054-631-9014 (研究室直通)	haitani@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/kazuyo_haitani.html https://researchmap.jp/k-haitani
0600	教育相談	保護者支援		小学校での保護者支援:気になる子の育ちを支える	静岡産業大学	経営学部	講師	日隈 美代子	・R1～R3 静岡県子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」 ・R2 静岡県子育て支援員研修「児童虐待と社会的養護」 ・R1～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「学校・地域との連携」 ・R2～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「保護者との連携・協力と相談支援」	・R3『子ども家庭支援論-子どもを中心とした家庭支援-』(共著、教育情報出版) ・「幼保小連携における個別的教育支援計画に関する一考察」(『日本育療学会第22回学術集会抄録集』、H30) ・「幼保小連携期を見据えた個別的教育支援計画の活用方向性」(『日本保育学会第73回大会発表論文集』、R2) ・「母親が子どもの発達障害の可能性を受容するまで」(『日本育療学会第24回学術集会抄録集』、R2)	0538-37-0191	0538-36-8800	m-higuma@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0600	教育相談	発達心理学 教育学 社会支援学		・ペアレント・プログラムを用いた保護者支援 ・児等生徒の困った行動へのかかわり方	浜松医科大学	子どものこころの発達 研究センター	特任助教	おくむら あけみ 奥村 明美	2019年.保護者対象子育てサポート講座:浜松市内小学校 2021-2022年.不登校についての保護者情報 2021年.発達に困難を抱える外国人の子どもと保護者の支援者向け研修会 2020-2023年.教職員向けペアレント・プログラム研修会 2019-2023年.楽しい子育てのためのペアレント・プログラム:浜松市内小学校・幼稚園等 2023年.不登校の子どもをかかえる保護者対象ペアレント・プログラム	・浜松市精神保健福祉センター 思春期メンタルヘルス実態調査ワーキンググループ ・浜松市小中学校教職員向け「こころのケア研修」教材作成(児童生徒の困った行動への関わり方) ・小学校低学年向けストレスマネジメント教材作成 ・児童生徒のこころの健康にかかわる教員の意識調査	053-435-2331	053-435-2291	okumura@hama-med.ac.jp	https://rccmd.net/
0601	心理学	発達心理学		児童生徒の学校適応と生徒指導 小中一貫教育と発達 学校統廃合と環境移行	静岡大学	教職センター	准教授	かねこ やすゆき 金子 泰之	・常葉大学短期大学部公開講座シラサセミナー:子育てのヒントを探してみよう ・常葉大学短期大学部免許更新講習:教育相談と子育て支援 ・静岡大学附属浜松中学校研修会:小中一貫校の学校適応とは? ・森町生徒指導状の諸問題等対策研究会:あたり前の日常に注目する児童・生徒への関わり方 ・防犯責任者対策会議:万引きされにくい店舗づくりとは? ・国立中央青少年の家教員免許状更新講習:考え続けるための教育相談	・(単著)2018年中学生の学校適応と生徒指導に関する研究(ナニシヤ) ・(分担執筆)2018年教師として考えつづけるための教育心理学(ナニシヤ) ・(分担執筆)2021年他者を支援する人はいかに成長するのか(ナニシヤ) ・(共著)2021年小中一貫教育の実証的検証(花伝社)			kaneko.yasuyuki@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索してください。

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0601	心理学	学校臨床心理学		思春期の心理と対応、いじめ予防のためのソーシャルスキル教育、災害・事件事故後のこころのケア、障がいのある方の災害時のこころのケア	静岡大学	教育学部	教授	こばやし 小林 ともこ	・静岡市および磐周校長会研修、養護教諭研修会(多数) ・静岡県高等学校・特別支援学校学校保健主事研修会 ・静岡県教委人権教育指導者研修会 ・栃木県総合教育センター研修 ・全国養護教諭連絡協議会研修会 ・掛川市、NPO御前崎市災害支援ネットワーク講演 他、過去に他県教育委員会、財団、警察庁、学会等での講演多数	・静岡県人権会議委員 ・静岡県総合教育センター外部評価委員 ・静岡県立三島北高等学校評議員 ・千葉県スクールアドバイザー ・『10代を育てるためのソーシャルスキル教育』(北樹出版) ・『養護教諭のための災害対策・支援ハンドブック』(東山書房) ・『ここだけは押さえない学校臨床心理学』(文化書房博文社) 他多数	054-238-4703	054-238-4703	kobakenshizuoka@gmail.com	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。
0601	心理学	対人コミュニケーション	New	相手の立場に立つ、共感(視点取得)とは	浜松医科大学	医学部	助教	あおき 青木 好美		著書:青木好美,片山はるみ,鈴江毅(担当:共訳):共感看護における共感の測定と開発,クオリティケア,2020. 研究:看護職の共感教育に関する研究、自傷患者に対する共感的態度の研究	053-435-2816	053-435-2816	mizushi@hamam-ed.ac.jp	https://kenkyu-web2.hama-med.ac.jp/public/Default2.aspx?u=10240&lang=ja-JP
0601	心理学	教育心理学		青年の特徴とその対応:主に教師など青年と接する方を対象とした、一般的な「青年期」の特徴に関する講義	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	たかぎ 高木 邦子	・H22 専門職養成校、専門職養成における実習担当者研修 ほか ・R3~R6 海技教育機構新任教員研修会「青年の理解と関わり方」	・H23『現代の学生気質とその対応』(作業療法ジャーナル,45(4),320-325頁)	053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	教育心理学		教育相談(学校カウンセリング)とは何か、またその進め方についての講義	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	たかぎ 高木 邦子	・R3~R6 静岡県総合教育センター研修「明日から使える学校カウンセリングスキル」		053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	教育心理学		動機づけの心理学:よく知られている「内発的動機付け-外発的動機付け」だけでは現実の「意欲」は説明がつかない面がある。そこで、「自律的動機付け」の考え方とその役割について説明する。	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	たかぎ 高木 邦子	・R3~R6 海技教育機構新任教員研修会「動機づけの心理学」		053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	教育心理学		初任者の職場適応についての講義(初任者対象)	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	たかぎ 高木 邦子	・R2/R3 静岡県総合教育センター幼稚園等初任者研修「円滑な関係を構築するためのコミュニケーションのあり方」		053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	教育心理学 パーソナリティ心理学		パーソナリティの認知:血液型と性格 血液型ステレオタイプ(血液型性格理論)の背景を概観し、こうしたパーソナリティ理論がなぜ信じられてきたのかを説明する。	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	たかぎ 高木 邦子	・H22 静岡文化芸術大学 文化政策学部国際文化学科 オープンキャンパス模擬授業 ・H23 静岡県立浜松湖南高等学校 模擬授業		053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	発達心理学 教育心理学		大学における配慮を要する学生の支援について	静岡文化芸術大学	文化政策学部	教授	こすぎ 小杉 だいすけ	・R6西部高等学校等副校長・教頭会総会・研究協議会 講演「発達障害の理解と支援〜大学での取り組み〜」		053-457-6114 (教務担当室長)	053-457-6123	kyogaku@suac.ac.jp	https://www.suac.ac.jp/
0601	心理学	教育心理学		学習・記憶心理学 自ら学ぶ力を育てるには	常葉大学 (草薙キャンパス)	教育学部	教授	よしだ 吉田 哲也	・R1 日本心理学会「高校生のための心理学講座(静岡)講師(テーマ:学習心理学) ・R1 静岡サレジオ小学校授業研究会 講演(テーマ:自ら学ぶ力を育てる〜学び方をガイドする教師の役割〜) ・R5 常葉大学高大連携活動「総合的な探究の時間」の講師派遣事業(テーマ:勉強のしかたについて考えよう):静岡県立川根高校・静岡西高校、静岡市立城内中学校・東中学校、焼津市立東益津中学校、島田市立第一中学校、磐田市立南部中学校、常葉大学附属菊川高校 R11「子どもの発達」令和元年度子育て支援員研修(静岡県こども未来課) R1「発達心理学」令和元年度静岡県専任教員養成講習会(静岡県看護協会) R1「児童の発達理論」2019年度児童厚生員等基礎研修会(一般財団法人児童健全育成推進財団) R2「子どもの発達理解」「児童期の生活と発達」令和2年度放課後児童支援員認定資格研修(静岡県こども未来課) R2「児童の発達理論」令和2年度児童厚生員等研修会(一般財団法人児童健全育成推進財団) R2「発達心理」「青年心理」令和2年度静岡県看護職員実習指導者等講習会(静岡県看護協会) R2「子どもの発達」令和2年度子育て支援員研修(静岡県こども未来課) R3「子どもの発達理解」「児童期の生活と発達」「障がいのある子どもの理解」令和3年度放課後児童支援員認定資格研修(静岡県こども未来課)	・R4 認知症ケアのための男性用介護レディネス尺度の開発(共著)(常葉大学健康科学部研究報告集第9巻1号)	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	t-yosida@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/yoshida_t/
0601	心理学	発達心理学、パーソナリティ心理学、社会心理学、福祉心理学、臨床心理学、対人コミュニケーション		左記「専門」欄に関する講義	常葉大学短期大学部 (草薙キャンパス)	保育科	准教授	おおむら 大村 壮	R11「子どもの発達」令和元年度子育て支援員研修(静岡県こども未来課) R1「発達心理学」令和元年度静岡県専任教員養成講習会(静岡県看護協会) R1「児童の発達理論」2019年度児童厚生員等基礎研修会(一般財団法人児童健全育成推進財団) R2「子どもの発達理解」「児童期の生活と発達」令和2年度放課後児童支援員認定資格研修(静岡県こども未来課) R2「児童の発達理論」令和2年度児童厚生員等研修会(一般財団法人児童健全育成推進財団) R2「発達心理」「青年心理」令和2年度静岡県看護職員実習指導者等講習会(静岡県看護協会) R2「子どもの発達」令和2年度子育て支援員研修(静岡県こども未来課) R3「子どもの発達理解」「児童期の生活と発達」「障がいのある子どもの理解」令和3年度放課後児童支援員認定資格研修(静岡県こども未来課)	R4『子どもの発達にとって大切なこと』常葉大学短期大学部保育科(編)「保育へのとびら」 R4『子どもの発達に関わるときに大切にしたいこと』常葉大学短期大学部保育科(編)「保育へのとびら」みらい R4『社会の中での役割と発達:子どもを保育する先生にはどんな“先生”がいるのだろうか?』半澤礼之・坂井敬子・照井裕子(編著)「発達とは?自己と他者/時間と空間から問う生涯発達心理学」福村出版 R4『他者とながら身体:他者に支援してもらおうと虐待は起りやすくなるのか?』高澤健司・大村壮・奥田雄一郎・田澤実・小野美和(編著)「つながるって何だろうか?現代社会を考える心理学」福村出版 R4『施設内高齢者虐待の発生と繰り返し及び防止に関する調査研究:自立と依存の枠組みからの心理学的検討』博士學位論文	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	omuraso@tokoha-jc.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/junior-college/childcare/omura/
0601	心理学	社会心理学	New	人と人のつながりについて:ソーシャル・キャピタル論からの理解	静岡福祉大学	社会福祉学部 福祉心理学	講師	はが 芳賀 道匡	ソーシャル・キャピタルと教育に関する研究の新展開:地域と学校の新しい協働の場の創出にむけて、日本心理学会第85回大会シンポジウム(オンライン),2021. ソーシャル・キャピタルと教育に関する研究の新展開2:地域と学校の新しい協働の場の創出における成果と課題、日本心理学会第87回大会(神戸),2023. ソーシャル・キャピタルと教育に関する研究の新展開:子どもの学びに寄与する地域社会の成果と課題、日本社会関係学会第4回研究大会(東京),2024. 他	コロナ禍における学生の孤独感と主観的ソーシャル・キャピタル、非対面・対面コミュニケーション行動、三密回避規範の認知の関連、ストレス科学研究,第37巻,pp42-48,2022. 他	054-623-7000	054-623-7453	mike2021@suw.ac.jp	https://sites.google.com/site/socialcapital20160811/home?pli=1&authuser=2

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス	
0601	心理学	社会心理学	New	幸せ(ウェルビーイング)についての心理学	静岡福祉大学	社会福祉学部 福祉心理学	講師	はが 芳賀 みちまさ 道匡	・大学におけるソーシャル・キャピタルとウェルビーイングに関する研究 日本心理学会第81回大会小講演(2017, 久留米) ・大学のソーシャル・キャピタルとウェルビーイングの心理学的研究 第一回ポジティブ心理学研究会(2017, 東京) ・大学のソーシャル・キャピタルとウェルビーイングの心理学的研究 日本大学大学院法学研究科大学院特別講義(2018, 東京)	エリアマネジメントと地域住民の生活満足度、地域への愛着、居住意図の関連の検討: 社会関係資本の媒介モデルに着目して、日本社会関係学会第4回研究大会(東京), 2024. 他	054-623-7000	054-623-7453	mike2021@suw.ac.jp	https://sites.google.com/site/socialcapital20160811/home?pli=1&authuser=2	
0601	心理学	教育心理学		・子どもの発達と学習の心理学について	静岡福祉大学	子ども学部	助教	すがい あつし 菅井 篤	・令和4年度市町人権教育連絡協議会第2回学校教育委員会講師 ・令和4年度 島田市内小中学校特別支援教育・生徒指導合同研修会講師 ・R4「国際バカロレア(IB)初等教育プログラムの教育効果の研究」(助言・指導、筑波大学) ・R4「教育効果と学習効果の研究」(助言・指導、筑波大学) ・R3「変わる報道番組 ABEMA Prime」(TV出演) ・R2「フジテレビ系 超逆境クイズバトル!! 99人の壁【学校の先生99人VS天才小学生1人】」(TV出演) ・R2「開智学園全体研修会学園研修講座」(講師) ・R2「横浜国立大学 教職実践演習」(助言・指導) ・R2「開智望小学校校内研修 国語科講師」(講師)	【著書】 印刷中『日本における国際バカロレア教育の最前線』(学文社) R2『研究者の子育て』(日本の研究者出版) R2『こども心理学』(デザインエッグ社) H30『アクティブ・ラーニングを拓く学習環境のデザイン』(デザインエッグ社) 【研究】 「国際バカロレア経験者が考える「国際的視野」の特徴ーテキストマイニングによる生徒記述の比較分析ー」(『国際バカロレア教育研究』6巻 R4) 「国際バカロレア・ディプロマプログラム (IBDP) 初年度生の学習経験とコンピテンシーー「高校での学習・経験に関する実態調査」(2021年度)の分析からー」(『国際バカロレア教育研究』6巻 R4) 「国際バカロレア認定小学校における「チーム学校」を目指した教員研修ーLTD話し合い学習法を取り入れた試みー」(『国際バカロレア教育研究』6巻 R4) 「アクティブ・ラーニング授業における教授・学習の対話的展開過程の検討」(日本認知科学会第36回大会発表論文集 R2) 「対話を活用した学習者の教員研修の実践」(『日本教育心理学会発表論文集62巻 R2』)	054-631-9013		sugaiatsushin@gmail.com	https://researchmap.jp/sugai_a	
0601	心理学	社会心理学、産業・組織心理学		自分自身とのつき合い方と心の健康	静岡産業大学	経営学部	教授	太田 さつき	H30 浜松市民アカデミー「自己の心理学: 自分への気づきから自分との付き合い方まで」			054-645-0195	ohta@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください	
0601	心理学	臨床心理学		豊かな対人コミュニケーション性の多様性、セクシュアルマイノリティ、LGBTQ+、ジェンダー(SDGs目標5)	静岡産業大学	経営学部	准教授	高城 佳那	・H30 磐田市立総合病院「恋愛やスポーツに役立つ心理」 ・R1 磐田市消防本部「セクシュアルマイノリティについて」 ・R3 環太平洋大学「スポーツにおける多様な性のあり方〜セクシャリティやジェンダーについて学ぼう〜」 ・R3 内閣官房孤独・孤立対策「第8回 孤独・孤立に関するフォーラム」 ・R3 第2回藤枝産官学連携懇話会「心理学の観点からみる若者育成」 ・R4 吉田町シニアカレッジ「豊かなコミュニケーション」			054-645-0191	054-645-0195	kana-takagi@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/fujieda/)より教員名で検索してください
0601	心理学	実験心理学 行動心理学 行動神経科学		マウスでどこまでヒトのところが理解できるのか?	静岡産業大学	経営学部	教授	おおさわ ひろのり 大沢 啓徳		「A preliminary study for assessing cognitive biases inn college students using the cognitive biases questionnaire.」(『静岡産業大学論集「スポーツと人間」』第4巻第1号 R2) 「A simple method for measuring the acoustic startle response using a low-cost electromyography acquisition device.」(『静岡産業大学論集「環境と経営」』第26巻第1号 R2) 「失われた1か月ー学生は自宅待機をどのように過ごしたかー」(『静岡産業大学論集「環境と経営」』第26巻第1号 R2) 「Cooperation of LIM domain-binding 2 (LDB2) with EGR in the pathogenesis.」(『EMBO Molecular Medicine』1:12574 R2)	0538-37-0191	0538-36-8800	k-yamada@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください	
0601	心理学	教育人間学、女性とスポーツ		マインドフルネス:心とからだの関係 レジリエンス(立ち直る力)と自己肯定感	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	高橋 和子	・H18~R2(関西大学ファカルティディバロップメント)講習会「教員のためのからだ気づき」 ・H25~31(横浜国立大学男女共同参画センター)講習会「しなやかに生きるマインドフルネス」 ・H25~R元(放送大学神奈川学習センター)講習会「しなやかに生きる身体論ワーク」	R2 再版「からだ: 気づき学びの人間学」(編者)晃洋書房 H30「レジリエンスを高めるからだ気づきの有効性に関する研究」(共著)日本女子体育連盟学術研究NO.34 H23~H30「JOC女性スポーツ専門部会専門部会員」	0538-37-0191	0538-36-8800	k-takahashi@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索。高橋和子公式ブログ(http://kazuko-ynu.jp/)	
0601	心理学	実験心理学 認知心理学 情報学		心理学実験における剰余変数の統制: 正確なデータを集めるための工夫	静岡産業大学	経営学部	准教授	久保田 貴之		「Facilitation effect of incidental environmental context on the computer screen for paired-associate learning.」(『Quarterly Journal of Experimental Psychology』74巻9号 R3) 「反復の分散効果におよぼすビデオ文脈の影響」(『日本心理学会第85回大会発表論文集』 R3)	0538-37-0191	0538-36-8800	t-kubota@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください	
0601	心理学	対人コミュニケーション		なぜ僕は4人以上の場になると途端に会話が苦手になるのか	静岡産業大学	経営学部	准教授	岩本 武範		なぜ僕は4人以上の場になると途端に会話が苦手になるのか (サンマーク出版,2017)	054-645-0191	054-645-0195	t-iwamoto@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください	
0602	メンタルヘルス	学校臨床心理学		レジリエンスを育てる方法	静岡大学	教育学部	教授	こばやし ともこ 小林 朋子	・静岡県生徒指導担当指導主事研修・静岡県高校初任者研修、浜松市生徒指導主事研修など、静岡県、静岡市、浜松市の教員研修会(多数) ・高知県、栃木県、長野県、名古屋、愛知県、熊本市、鳥取県、茨城県など教員研修多数 ・静岡県家庭裁判所職員研修 ・掛川市など静岡県内市町からの依頼の研修 ・日本学校心理学会での教育公演 ・静岡県内小中高校での児童生徒向け授業の実践多数 他、財団、警察庁、学会等での講演多数	・静岡県人権会議委員 ・静岡県雇用対策審議会委員 ・静岡県立三島北高等学校評議員 ・千葉県スクールアドバイザー ・『10代を育てるためのソーシャルスキル教育』(北樹出版) ・『養護教諭のための災害対策・支援ハンドブック』(東山書房) ・『ここだけは押さえない学校臨床心理学』(文化書房博文社) 他多数	054-238-4703	054-238-4703	kobakenshizuoka@gmail.com	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/)より教員名等で検索ください。	
0602	メンタルヘルス	小児発達学		インターネット・ゲームとの付き合い方	浜松医科大学	子どものこころの発達研究センター	特任講師	にしむら ともこ 西村 倫子	・2020年度 ふじのくに地域・大学コンソーシアム大学連携講座 ・2022年度 第19回『子どものこころの発達研究』講演会withルピロ		053-435-2331	053-435-2291	tomoko.n@hama-med.ac.jp	https://rccmd.net/1	
0602	メンタルヘルス	小児発達学		幼児期のこころの発達と発達障がい	浜松医科大学	子どものこころの発達研究センター	特任講師	にしむら ともこ 西村 倫子	・2022年~2023年度 浜松市委託事業子育て支援ひろば「Luana」「OHANA」多世代支援		053-435-2331	053-435-2291	tomoko.n@hama-med.ac.jp	https://rccmd.net/	
0602	メンタルヘルス	臨床薬理学 産業医学		・職場のメンタルヘルス ・職場の健康増進	浜松医科大学	医学部	准教授	おだぎり けいいち 小田切 圭一	・H25-県内製造業3社の嘱託産業医として、社内講習会など実施。従業員の面談実績多数	日本医師会認定産業医、総合内科専門医 R4年度より、光産業創成大学院大学客員教授	053-435-2006	053-435-2007	kodagiri@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/center-clin-fac/center-clin-res/	
0602	メンタルヘルス	精神医学 児童精神医学		養育者・教育者のメンタルヘルス	浜松医科大学	児童青年期精神医学講座	特任教授	たかがい しゅう 高貝 就 習	・2023年 県立児童養護施設で職員対象の講義3回 ・2022年 静岡県かかりつけ医等発達障害対応力向上研修 ・2021年 磐岡教育研究会夏期研究講座、静大教員免許更新講習 ・2019年 はごろも「夢」講演会、静岡市校長研究会、静大教員免許更新講習	・2022年『浜松医科大学医学部附属病院最新医療のいま』分担執筆 ・2021年『今日の治療指針』(医学書院)分担執筆	053-435-2058	053-435-2058	takagai@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/about-us/disclosure-info/educator/07160672.html	

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0602	メンタルヘルス	臨床心理学		精神疾患（不登校や発達障害など）とその支援	浜松医科大学	児童青年期精神医学講座	特任講師	いのうえ じゅん 井上 淳	・浜松市精神保健福祉センター教職員のための思春期ころのケア研修 ・2020年度「不登校」 ・2021年度「発達障害に対する理解と支援」 ・2022年度「児童・生徒の困った行動へのかかり方」 ・2023年度「自傷行為への理解と対応」 ・2021年度 三島・田方地区県立学校副校長・教頭会「発達障害と不登校の理解と支援」	・2022年『浜松医科大学医学部附属病院最新医療のいま』分担執筆	053-435-2058	053-435-2058	juninoue@hama-med.ac.jp	http://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/child-adolescent-psych/index.html
0602	メンタルヘルス	精神医学 児童精神医学		自閉スペクトラム症とは？ 発達障害とは？ 外国人児童生徒のメンタルヘルス 災害時のメンタルヘルス	浜松医科大学	子どものころの発達研究センター	特任教授	つちや けんじ 土屋 賢治	・一般社団法人日本心理研修センター臨床心理士研修会 ・浜松市精神保健福祉センター疾患別研修会 ・浜松市、大阪府等の保健師研修会 ・浜松市教委実務者研修会		053-435-2331	053-435-2291	tsuchiya@hama-med.ac.jp	https://rccmd.net/
0602	メンタルヘルス	精神医学	New	摂食障害	浜松医科大学	医学部	講師	たけばやしきよかず 竹林 淳和	2023. 2022 産業医研修 2023. 2022 静岡県摂食障害フォーラム 2023 高等学校・特別支援学校養護教員研修会、静岡県養護教員講習会 2023 摂食障害治療研修 2022 世界摂食障害アクションデイ	2015～現在 摂食障害治療支援センター設置運営事業 2021～2023 厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）『摂食障害に対する標準的な治療方法 心理的アプローチと身体的アプローチとその研修方法の開発及び普及に資する研究』（分担）	053-435-2295	053-435-3621	kiyokazu@hama-med.ac.jp	https://kenkyu-web2.hama-med.ac.jp/public/Default2.aspx?u=10052&lang=ja-JP
0602	メンタルヘルス	保健学		発達段階に応じたメンタルヘルス対策	静岡県立大学	看護学部	教授	たかむらそういち 篁 宗一	・H17～メンタルヘルスリテラシーを向上させる教育（小・中・高・大学にて実施） 内容：ストレスマネジメント、起こりやすいところの病と対応、相談資源の紹介	・H29 学校メンタルヘルスハンドブック『メンタルヘルスリテラシー教育』（大修館書店）	054-202-2649	054-202-2649	takamura@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/pr of674.html
0602	メンタルヘルス	臨床心理学		ストレスと上手につきあおう、 リラクゼーション技法の実習、 対人関係と心の健康、 人間理解とコミュニケーション、 自分を知る心理学、 日常に活かす心理学 など	常葉大学 （草薙キャンパス）	教育学部	教授	いとう ありこ 伊東 明子	・R1 富士市民大学ミニカレッジ「ストレスマネジメント」ほか ・R2 浜松大平台高校「人間関係と心理学」 日本心理学会 高校生のための心理学講座「臨床心理学」ほか ・R3 産業保健セミナー 「リラクゼーション技法を学ぶ」 常葉菊川高校 「心理学とは何か」ほか ・R4 常葉橋高校SOS研修「自分の体と心の変化に気づく大切さを学ぶ」 常葉大学公開講座「対人関係と心の健康」 吉田町シニアカレッジ「人間理解とコミュニケーションの心理学」ほか ・R5 産業保健セミナー「ストレスと上手につきあおう」ほか	・常葉大学橋高校教員研修会 ・静岡市教員資質作成研修プログラム作成委員 ・静岡市子ども若者相談センタースーパーヴァイザー ・静岡県環境整備審議会会長（～R5） ・静岡県立高校スクールカウンセラー ・きめ細やかな生徒支援実務者 学校支援心理アドバイザー ほか	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	aki-ito@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/psychology/ito/
0602	メンタルヘルス	心理学		対人サービスにおけるバーンアウトとその予防	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	はたの じゅん 波多野 純	・科学技術学園高等学校「多様な学習を支援する検討会議」(H27)、講演「行動主義と認知主義」 ・わたし流静岡観光プロジェクト(H27)、講義「おもてなし力を磨く！」	・介護施設における高齢者の非人間化について。(2011). 臨床心理学第11巻第4号 ・顧客の敵意が対人援助職従事者の情緒的消耗感とパフォーマンスに及ぼす影響—大学生を対象とした模擬実験による検討—。(2013). 感情心理学研究第20巻第3号	054-262-0091	054-262-0091	presir-room@shizuoka-iiwa.ac.jp	
0602	メンタルヘルス	精神医学、児童精神医学、メンタルヘルス		・思春期、青年期～成人までのメンタルヘルス ・関わりが難しい子どもの行動心理とリハビリテーション	聖隷クリストファー大学	リハビリテーション学部	助教	いいた たいこ 飯田 妙子	・R1～R3 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部・市民講座「子どものころと向き合う子育て」 ・R3～現在 浜松市教育委員会主催「家庭教育講座」講師（子どものころと向き合う子育て） ・R3 中学生対象「リハビリテーションでころを癒す」講座 ・R3～R4 静岡県作業療法士会学術部 発達領域班 人材育成研修 講師 ・R4 クリニック研修会 「発達障害を持ちながら精神疾患を発症した方への関わり方」	・R2～ 児童発達支援事業所・監事 ・R3～ 浜松市精神医療審査会委員 ・人・地域とのつながりを育てるデイケア支援『『デイケア実践研究』21巻2号 H30） ・精神科作業療法の観察評価からみる青年・成人期の自閉スペクトラム症の行動特性（学術誌『作業療法』39巻6号 R2） ・静岡・愛知県内における精神科作業療法士の青年期・成人期の発達障害者支援の現状（第9回成人発達障害支援学会発表 R4）	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId=S000237
0603	医学	循環器内科		不整脈、睡眠時無呼吸	浜松医科大学	医学部	病院講師	なるせ よしひさ 成瀬 代士久	R5 浜松市民アカデミー「不整脈のはなし—心臓の不協和音—」、R5 第3回日本不整脈心電学会東海北陸地方会「器質的心疾患に伴う心室頻拍の根治を目指す」、R5 第87回日本循環器学会総会・学術集会「睡眠呼吸障害と心房細動再発について」、R3 第43回浜松医科大学公開講座「不整脈のはなし—心臓の不協和音—」、R3 日本睡眠学会第46回定期学術集会「カテーテルアブレーション後の再発における睡眠呼吸障害」	R5 『循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン』の協力員、 R4 『浜松医科大学医学部附属病院最新医療のいま』で「不整脈のタイプに応じた治療の選択」と「インフォームド・コンセントってなに？」の項を執筆、R4 『VT/VFの制圧』で「心サルコイドーシスと心室不整脈」の項を執筆、R1 『循環器内科（科学評論社）』で「心房細動と睡眠時無呼吸症候群 診断・治療の実際」の項を執筆	053-435-2267	053-434-2910	ynaruse@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/cardiolog y/index.html
0603	医学	腎臓内科学		慢性腎臓病	浜松医科大学	医学部	特任准教授	おおはし なつう 大橋 温	浜松医科大学医学部3年生に授業。令和2年 引佐郡医師会学術講演会 令和3年 静岡県病院薬剤師会 西部支部例会 令和4年 浜松医師会生涯教育講演会 令和4年・令和5年 ふじのくに パーチャルメディカルカレッジ夏季セミナー 令和4年 おはようクリニック 令和5年 Welcome Seminar in Shizuoka（静岡県医師会） 令和5年 豊橋内科医会研修会	日本腎臓学会専門医、指導医 慢性腎臓病と腎臓内レニン-アンジオテンシン系活性と高血圧についての基礎・臨床研究論文多数。	053-435-2490	053-435-2866	ohashi-n@hama-med.ac.jp	
0603	医学	産婦人科学		子宮頸がん検診/HPVワクチン	浜松医科大学	医学部	助教	しばた としあき 柴田 俊章	・日本透析医学会（R4）講演「国による定期接種の積極的勧奨が再開されたHPVワクチンの「いま」を整理する」 ・はままつ健康フォーラム（R3）：Youtube、K-mixラジオ、中日新聞で講演や執筆 ・静岡県がん検診医師研修会（R3）講演 ・静岡県がん検診細胞診従事者講習会（R3）講演 ・静岡県がん検診担当者研修会-精度管理-（R1～毎年）：「子宮頸がん検診精度管理」	・臨床透析、38巻4号 2022.(R4)「「CKD患者に推奨されるワクチン接種」各論8：ヒトパピローマウイルスワクチン」 ・静岡県がん検診精度管理委員会子宮頸がん部会会長（H29～現在） ・浜松医科大学医学部附属病院広報誌「はんだ山の風」（R1第35号）：「子宮頸がんは世界的にも根絶を目指し得る「がん」となっている」	053-435-2309	053-435-2308	tshibata@hama-med.ac.jp	
0603	医学	小児感染症		子どもの感染症、予防接種、感染対策	浜松医科大学	医学部	教授	みやいり いさお 宮入 烈	2013～2021 そよがぜ分教室研修会 感染症と耐性菌について 2020 企業主導型 保育 事業 施設 長 研修 保育所 における 感染症対策ガイドライン 2020 こどもの育ちを考える会 新型コロナウイルス 子どもと感染症対策 2021 こどもの育ちを考える会 子どもの健康 ～夏編～ 2021 こどもの育ちを考える会 園における健康の疑問 ～秋冬編～ 2023 健康寿命を延ばそう！ 子どもから大人までのワクチンのはなし（2023年 健康はままつ21講演会）		053-435-2312	053-435-2311	miyaiiri@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/pediatrics/staff.html
0603	医学	新生児・小児救急		心肺蘇生（BLS）、小児救急全般	浜松医科大学	地域周産期医療学講座	特任助教	うえの たいぞう 上野 大蔵		AHA公認BLSインストラクター AHA公認PALSインストラクター	053-435-2694	053-435-2589	daizo_3rd@yahoo.co.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/pediatrics/faculty.html
0603	医学	・呼吸器内科学 ・臨床薬理学		肺の生活習慣病 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	浜松医科大学	医学部	特任講師	やすい ひでき 安井 秀樹	医学部医学科3年生に対して講義。6年生の（臨床薬理）選択ポリクリにて吸入薬の実技指導 ・2018 静岡放送 COPD疾患啓発ラジオ ・2018 佐久間町市民公開講座「たばこ肺の病気」 ・2023、2019年 浜松市薬剤師会 ・2020 呼吸器学会東海地方学会 研修医のための呼吸器セミナー ・2023 浜松市薬剤師会学術研修会	日本呼吸器学会専門医・指導医、総合内科専門医 日本呼吸器学会 呼吸器機能障害認定基準見直しに係るWG 委員 【著書】 「COPDにおける気道系の定量的CT解析」 科学評論社 呼吸器内科Vol44 No.5	053-435-2006	053-435-2007	yasui@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/cent-clin-fac/ctr-clin-res/
0603	医学	・内科学 ・呼吸器内科学		指定難病について	浜松医科大学	医学部	特任講師	やすい ひでき 安井 秀樹		2024年度 難治性疾患政策研究事業「難病の克服に向けた研究推進と医療向上を図るための戦略的統括研究」分担研究者 2023年度 難治性疾患政策研究事業「指定難病の普及・啓発に関する包括的研究」分担研究者 【著書】「難病対策の最近の話題と課題について」 科学評論社 呼吸器内科Vol42 No.5 2022 「難病制度と（指定難病の）診断基準等のアップデートについて」難病と在宅ケアVol29 No7 2023	053-435-2006	053-435-2007	yasui@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/cent-clin-fac/ctr-clin-res/

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページアドレス
0603	医学	がん		乳癌治療(手術・薬物療法)について 遺伝性乳癌について AYA世代のがん治療・妊孕性温存について がん教育・がん検診	浜松医科大学	医学部	病院講師	こいずみ けい 小泉 圭	2022 浜松医科大学市民講座「乳がんと診断されたときに考える遺伝性乳がんのこと」 2022 SBSラジオ サンデークリニック「乳がんと診断されたときに考える遺伝性乳がんのこと」 2022 浜松医科大学地域連携Webセミナー「乳癌診療の最近の話題と当院の特色について」 2023 静岡県がん検診医師研修会「乳がん治療の最新知見について」 2023 乳癌患者会「こんなに変わった最近の早期乳がん治療」	日本乳癌学会 乳癌診療ガイドライン 薬物療法小委員会 副委員長 乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 副委員長	053-435-2276	053-435-2272	koizumi@ham-a-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/breast-surg/index.html
0603	医学	肝臓病学		外ウーやピラス、性行為によるウイルス性 肝炎の危険性と肝臓がんについて	浜松医科大学	医学部	准教授	かわた かずひと 川田 一仁	R2, 3, 4 市民公開講座(年2回), 静岡県かかりつけ医研修会(年1回), 静岡県肝炎医療コーディネーター研修会(年1回) R2 静岡県内高等学校での出張肝臓病教室(6校) R2 静岡県内中学校での出張肝臓病教室(2校) R3 静岡県内高等学校での出張肝臓病教室(7校) R4 静岡県内高等学校での出張肝臓病教室(15校) R4 静岡県内中学校での出張肝臓病教室(2校) R5 静岡県内高等学校での出張肝臓病教室(11校) R5 静岡県内中学校での出張肝臓病教室(1校)		053-435-2263	053-435-2354	kawata@ham-a-med.ac.jp	https://www.hama-med.jp/hepatology/
0603	医学	臨床薬理学 産業医学		臨床研究の倫理 医薬品の開発について	浜松医科大学	医学部	准教授	おだぎり けいいち 小田切 圭一	薬剤師向け講習会をH30(1回)実施 R1年:浜松北高、浜松西高中等部で生徒対象の講演3回実施 R1年以降:ファルマバレーセンター、浜松医療センター、中東遠総合医療センター、磐田市立総合病院、浜松ホトニクス、光産業創成大学院大学で14回講演	日本医師会認定産業医、総合内科専門医、臨床薬理学会専門医・指導医 R4年度より、光産業創成大学院大学客員教授	053-435-2006	053-435-2007	kodagiri@ham-a-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/cent-clin-fac/ctr-clin-res/
0603	医学	呼吸器内科学/腫瘍学		がん薬物療法、免疫療法、分子標的治療、 がんゲノム医療、支持療法	浜松医科大学	医学部	講師	からやま まさと 柄山 正人	H14 市民公開講座「肺がんってどんな病気?」 H17 がん医療従事者研修会「がん遺伝子情報にもとづくこれからのがん治療」 H21 がん看護教育コース「がんのキホン」 R4 浜松市立入野中学 がん教育講話 外部講師 R5 浜松市立入野中学、八幡中学 がん教育講話 外部講師	肺がんの薬物療法、支持療法、免疫療法に関する臨床研究および治験 がんゲノム医療 がん教育外部講師eラーニング修了	053-435-2111		karayama@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/cent-clin-fac/ct/staff.html
0603	医学	呼吸器内科学/感染制御学		感染対策、感染症の予防と治療	浜松医科大学	医学部	特任講師	ふるはし かずき 古橋 一樹	浜松医科大学医学部医学科4年講義(研修、看護科3年講義(毎年)) 社会貢献事業(小学校出張授業)(毎年) 浜松市医師会主催講演会(2020年1回、2021年1回、2022年1回) 浜松市浜北医師会主催講演会(2020年1回、2021年3回) 浜名医師会主催講演会(2023年1回) 日本医師会生涯教育講座(2023年1回) 静岡県病院協会主催感染対策支援セミナー(2022年1回、2023年1回) 2020 静岡県立大学FD講演会 2020 日本脊椎病学会学術集会文化講演 2021 日本内科学会東海地方会教育セミナー 2021 日本リウマチ学会中部支部学術集会特別講演 2022 静岡リウマチネットワーク市民公開講座講演 2022 院内感染対策講習会(富士宮市立病院、静岡市立清水病院) 2023 静岡県病院薬剤師会西部支部例会特別講演 2023 日本呼吸器学会東海地方会特別講演	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本感染症学会感染症専門医 日本結核・非結核性抗酸菌症学会認定医・指導医 抗菌化学療法認定医 Infection Control Doctor(ICD)認定医 静岡県病院協会感染対策地域支援委員会委員 静岡県感染症対策連携協議会病院部会員	053-435-2799	053-435-2456	k.furu@hama-med.ac.jp	
0603	医学	眼科		目の健康	浜松医科大学	医学部	病院教授	さとう みほ 佐藤 美保	2023浜松市健康増進課眼の発達等における研修会「3歳児健診の現状と課題」 2020沼津視覚支援学校 「小児の目の疾患」 2017浜松視覚支援学校「眼疾患の早期発見と見え方に対する配慮」 2018母子保健相談室担当者会議「乳幼児の気を付けたい目の病気」		053-435-2256	053-435-2372	mihosato@hama-med.ac.jp	https://kenkyu-web.hama-med.ac.jp/Profiles/2/0000134/profile.html
0603	医学	眼科	New	目の健康	浜松医科大学	医学部	病院准教授	ひこや あきこ 彦谷 明子	2016 静岡県市民公開講座 目の健康講座 2017 浜松市医師会研修 2018 ランゾNIKKEI 小児科診療UP-to-DATE 子どもの視力低下 2018 指定都市学校保健協議会 学童の眼の問題 2023 秋田県目の愛護デー講座 こどもたちの目をまもるために		053-435-2256	053-435-2372	ahikoya@ham-a-med.ac.jp	https://kenkyu-web2.hama-med.ac.jp/public/Default2.aspx?u=10083
0603	医学	眼科	New	小児眼科・弱視斜視 小児の眼鏡処方	浜松医科大学	医学部	助教	こもり みわ 小森 美和	2023『第12回年忘れ福井県眼科勉強会』小児の眼鏡処方～楽しい眼鏡治療を目指して～ 2023第445回東海眼科学会 指名講演 小児の眼鏡処方 2023静岡県眼科フォーラム 小児の眼鏡処方	著書: 2023《眼科診療エッセイ》第4巻『斜視・弱視の診断と治療』下斜筋の手術(中山書店) 2023眼科プラクティス14 滑車神経麻痺(文光堂) など 研究: 2024両眼に下斜筋前方鼻側移動術を行った1例(眼臨紀) 2023下斜筋前方鼻側移動術を行った5例。(眼臨紀) など	053-435-2256	053-435-2372	komori@ham-a-med.ac.jp	https://kenkyu-web2.hama-med.ac.jp/public/Default2.aspx?u=10130
0603	医学	耳鼻咽喉科		耳の仕組みと難聴の原因 補聴器の特徴と効果的な使い方 めまいの原因と治療 耳鼻科領域の感染症と検体採取 医師という職業:日常生活の紹介	浜松医科大学	医学部	講師	なかにし ひろし 中西 啓	2020年 静岡県立沼津東高等学校講演会 「医師ってどんな生活を送っているの:日常臨床から基礎研究まで紹介します」 2019～2023年 浜松市きこえと補聴器何でも相談会 「耳の仕組みと難聴の原因となる疾患について」 2015～2019年 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会 「微生物学的検査等における検体採取に必要な知識・技能・態度」など	著書: H22『よくわかる聴覚障害:難聴と耳鳴のすべて』(永井書店)など 研究: 新規難聴原因遺伝子の探索、蝸牛内炎症の難聴発症における役割および病態解明、方向感検査装置を用いた両耳聴効果の探索 専門医: 耳鼻咽喉科専門医・指導医、補聴器相談医、めまい相談医、臨床遺伝専門医、耳科手術指導医など	053-435-2252	053-435-2253	hiro-na@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/otorhinolaryngology/staff.html
0603	医学	小児アレルギー		食物アレルギー・ エビ講習・ 食物アレルギーの予防	浜松医科大学	医学部	診療助教	いぬづか ゆうすけ 犬塚 祐介		・ Washing with water alone versus soap in maintaining remission of eczema. Pediatr Int. 2020;62:663-668. ・ Detection of allergy reactions during oral food challenge using noninvasive urinary prostaglandin D2 metabolites. Clin Exp Allergy. 2022;52:176-179. ・ Pediatric cold-induced anaphylaxis and evaluation using TempTest®. Allergol Int. 2022 Apr 18;S1323-8930(22)00032-6. ・ Effective primary prevention of atopic dermatitis in high-risk neonates via moisturizer application: Protocol for a randomized, blinded, parallel, three-group, phase II trial (PAF study). Front. Allergy 3:862620. ・ Dissemination of atopic dermatitis and food allergy information to pregnant women in an online childbirth preparation class. J Allergy Clin Immunol Global 2022;1:24-6.	053-435-2312	053-435-2311	inuzuka-y@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/pediatrics/staff.html
0603	医学	小児アレルギー		食物アレルギー・ エビ講習・ 食物アレルギーの予防	浜松医科大学	医学部	助教	なつめ おさむ 夏目 統	2016 市民公開講座 震災対策と食物アレルギー 2017 浜松医科大学公開講座 食物アレルギーの予防法 2017 RIN RIN♪豊橋アレルギーっ子の会(患者会) 2018 第69回指定都市学校保健協議会 学校医研修会 2017, 18, 19, 20, 21 教員免許更新講習 2019 島田市教育委員会食物アレルギー講演会 2019 浜松市保健所 離乳食と食物アレルギー予防 2019 学校給食従事者研修会 2020, 21 アレルギー週間市民公開講座 食物アレルギー予防 2020 浜松市防災学習センター 一般向け学習講座		053-435-2312	053-435-2311	natsumeo@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/pediatrics/staff.html

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0603	医学	小児アレルギー		食物アレルギー・ エビイベント講習・ 食物アレルギーの予防	浜松医科大学	医学部	非常勤 医師	かとう ゆきこ 加藤 由希子	・2018 静岡県西部保健福祉センター アレルギー食品の食品表示 ・2019 磐田市子ども未来課 離乳食と食物アレルギー予防 ・2021 磐田市アレルギー講習会		053-435-2312	053-435-2311	yuttttti.k@gmail.com	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/pediatrics/staff.html
0603	医学	医学		子どもの「がん」の話	浜松医科大学	医学部	講師	さかぐち きみよし 坂口 公祥	・2019 浜松医科大学緩和ケア講習会 AYA世代を理解する ・2019 がん看護専門コース 講習会 AYA世代を理解する ・2020 がん診療従事者研修会 小児・AYA世代がんの治療と支援 ・2024 浜松医科大学緩和ケア講習会 AYA世代の患者さんへのサポート	静岡県がん診療連携協議会 小児・AYA世代部会 部会員 静岡県がん診療連携協議会 希少がん部会 部会員 がんのこどものトータルケア研究会 静岡 副理事長	053-435-2312	053-435-2311	k-saka@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/pediatrics/staff.html
0603	医学	内科学		神経内科学	浜松医科大学	医学部	教授	ながしま ゆう 長島 優			053-435-2390	053-435-2394	yunaga@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/about-us/mechanism-fig/pmperc/impr/biomed-photo-eng/index.html
0603	医学	地域医療		人口減少社会における医療・介護の在り方、地域医療、医師の偏在と働き方改革	浜松医科大学	医学部	特任 教授	たけうち ひろみ 竹内 浩視	・R5年度_静岡県ほか共催・一般県民向け講演「どうする人生100年時代」 ・R4年度_磐田市議会・菊川市議会講演「中東遠医療圏における地域医療」	社会医学系専門医・指導医 【各種委員・役員等】地域医療構想アドバイザー（厚生労働省）、静岡県医療対策協議会委員（静岡県健康福祉部）、静岡県医師会理事（ほか） 【著書・研究等】浜松医科大学地域医療支援学講座実績報告書（浜松医科大学ホームページ）>教育>医学部医学科・教育活動>講座等紹介>寄附講座・地域医療支援学>活動実績	053-435-2446	053-435-2446	hrmt2018@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/regional-medcare-sprt/index.html
0603	医学	脳神経内科		脳卒中、認知症、神経難病、てんかん	浜松医科大学	医学部	特任 教授	なかむら ともひこ 中村 友彦	名古屋市消防学校 講義（緊急検査1コマ）2019、2020、2021年 修文大学 臨床検査学科 2020年度15コマ FM Haro! / 浜松 おはようクリニック 2021年 浜北医師会講演会 2022年 浜松市認定在宅医療・介護対応薬局事業制定研修会 兼 定例学術研修会 2022年 浜北医師会講演会 2022年 パーキンソン病市民公開講座 2021年、2022年	日本神経学会専門医 日本内科学会専門医 静岡県難病医療連絡協議会委員	053-435-2515	053-435-2559	tomohiko@hama-med.ac.jp	
0603	医学	脳神経内科		認知症、神経難病、脳科学	浜松医科大学	医学部	助教	ぶない ともやす 武内 智康	浜松医療センター 市民公開講座（認知症）2017年 難病ホームヘルパー養成研修 2023年	日本神経学会専門医 日本内科学会専門医 日本認知症学会専門医	053-435-2515	053-435-2559	bunai.t@hama-med.ac.jp	
0603	医学	幹細胞医学／発生・再生医学	New	未来をつなぐ幹細胞医学と心発生・再生医学	浜松医科大学	医学部	教授	さほら まこと 佐原 真	2019年06月 東京医科歯科大学難治疾患研究所セミナー（講演対象者：研究者） 2019年06月 浜松北高同窓会関東総会記念講演（東京）（講演対象者：一般市民） 2019年07月 浜松北高同窓会総会記念講演（浜松）（講演対象者：一般市民） 2022年10月 カロリンスカ医科大学/2nd StratRegen Conf. Award受賞講演（講演対象者：研究者） 2023年12月 カロリンスカ医科大学/Research Colloquium特別講演（講演対象者：医学生）	・基礎医学研究者（専門：幹細胞医学、発生・再生医学、心臓血管生物学）、総合内科専門医、循環器専門医、FAHA（アメリカ心臓協会フェロー） ・最新論文： ・Sahara M, et al. Population and Single-Cell Analysis of Human Cardiogenesis Reveals Unique LGR5 Ventricular Progenitors in Embryonic Outflow Tract. <i>Dev Cell</i> 48: 475-490, 2019. ・Meier AB, ///, Sahara M, ///. Epicardioid single-cell genomics uncover principles of human epicardium biology in heart development and disease. <i>Nat Biotechnol</i> 41: 1787-1800, 2023. ・Witman N, ///, Sahara M. Placental growth factor mRNA therapeutics promotes cardiomyogenesis and vasculogenesis via novel dual pathways. <i>Nat Commun</i> 14: 5435, 2023.	053-435-2334	053-435-2335	maksahara@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/regen-med/index.html
0603	医学	循環器内科学	New	・心臓学の歴史と病態生理 ・生活習慣と心臓血管病	浜松医科大学	医学部	教授	さほら まこと 佐原 真	2019年06月 東京医科歯科大学難治疾患研究所セミナー（講演対象者：研究者） 2019年06月 浜松北高同窓会関東総会記念講演（東京）（講演対象者：一般市民） 2019年07月 浜松北高同窓会総会記念講演（浜松）（講演対象者：一般市民） 2022年10月 カロリンスカ医科大学/2nd StratRegen Conf. Award受賞講演（講演対象者：研究者） 2023年12月 カロリンスカ医科大学/Research Colloquium特別講演（講演対象者：医学生）	・基礎医学研究者（専門：幹細胞医学、発生・再生医学、心臓血管生物学）、総合内科専門医、循環器専門医、FAHA（アメリカ心臓協会フェロー） ・最新論文： ・Sahara M, et al. Population and Single-Cell Analysis of Human Cardiogenesis Reveals Unique LGR5 Ventricular Progenitors in Embryonic Outflow Tract. <i>Dev Cell</i> 48: 475-490, 2019. ・Meier AB, ///, Sahara M, ///. Epicardioid single-cell genomics uncover principles of human epicardium biology in heart development and disease. <i>Nat Biotechnol</i> 41: 1787-1800, 2023. ・Witman N, ///, Sahara M. Placental growth factor mRNA therapeutics promotes cardiomyogenesis and vasculogenesis via novel dual pathways. <i>Nat Commun</i> 14: 5435, 2023.	053-435-2334	053-435-2335	maksahara@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/regen-med/index.html
0603	医学	耳鼻咽喉科	New	・頭頸部がん診療 ・医師を目指そう ・不眠症 せん妄 ・気管切開、誤嚥防止術	浜松医科大学	医学部	講師	いまい あつし 今井 篤志	・2022はままつ成育医療学講座主催セミナー 小児在宅医療・医療的ケア講習会気管切開・気管カニューレ ・2023 静岡県立榛原高等学校 第2回科学講演会『医者』の仕事に触れてみよう！ ・2023 第498回 新城市医師会学術講演会 不眠症治療薬の選択に困ったら ・2023 不眠症診療Web セミナー 病診連携前からできる留意事項 不眠症治療薬を中心に ・2024 静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 講話 耳鼻咽喉科疾患外傷の対応について	専門医： 耳鼻咽喉科専門医・指導医、頭頸部癌専門医、がん治療認定医 頭頸部アルミノックス指導医など	053-435-2252	053-435-2253	imaimimi@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/departments/otorhinolaryngology/staff.html
0603	医学	形成外科	New	がん切除後の見た目の治療	浜松医科大学	医学部	教授	なかがわ まさひろ 中川 雅裕	第36回日本内視鏡外科学会 日本がん口腔支持両療法学会第9回学術大会 第46回日本頭頸部癌学会 第20回日本ヘルニア学会	浜松医科大学附属病院 最新医療のいまヘルニアの外科	053-435-2111	053-435-2720	nakagawa@hama-med.ac.jp	https://www.hama-prs.jp/
0603	医学	形成外科	New	乳がん手術後の乳房再建 皮膚悪性腫瘍	浜松医科大学	医学部	助教	たきぐち てつや 瀧口 徹也	2016年11月6日 SBSラジオサンデークリニック『皮膚癌の診断、治療について』 2016年11月12日 市民公開講座『しみ？ほくろ？いぼ？皮膚癌？皮膚癌の早期発見、早期治療』 2018年8月4日はままつ健康フォーラム『ご存じですか？形成外科で扱う疾患と最新治療』 2023年2月12日 SBSラジオサンデークリニック『失われた胸を取り戻す～乳房再建とは～』	浜松医科大学附属病院 最新医療のいま	053-435-2111	053-435-2720	takiguchi@hama-med.ac.jp	https://www.hama-prs.jp/
0603	医学	消化器内科、検査部	New	腹部超音波検査について、超音波を使った検査ってなに？ 胃カメラや大腸カメラについて、腸の観察や病気について	浜松医科大学	医学部	助教	まつら ともはる 松浦 友香	医学部医学科4年生に対して内視鏡・超音波検査の講義 5年生臨床実習における超音波指導、研修医に対する腹部超音波検査指導		053-435-2788	053-435-2096	tmatsu@hama-med.ac.jp	https://www.hama-med.ac.jp/hos/center-clin-fac/clin-lab/index.html
0603	医学	がん	New	がんに関する講義	常葉大学（浜松キャンパス）	保健医療学部	教授	おおた つとむ 太田 力	・R1「がんってどんな病気」東三河・浜松高次連携事業ラーニングフェスタ ・R1「がんの成り立ちを知り、がん予防に活かす」第27回 浜松市民アカデミー ・R4「がんになるメカニズム」令和4年度 静岡県西部地域共同授業 ・R4「がんのリスクを減らす生活習慣を身につけよう」令和5年度 常葉大学 公開講座	・R2「がん関連遺伝子のSNP探索」常葉大学 保健医療学部紀要 11(1) 23-27 ・R3「転写因子NRF2の機能ドメインの解析」常葉大学 保健医療学部紀要 12(1) 9-17 ・R4「転写抑制因子G9aの機能ドメインの解析」常葉大学 保健医療学部紀要 13(1) 1-8 ・R5「滑膜肉腫でみられる融合タンパク質の機能解析」常葉大学 保健医療学部紀要 14(1) 1-10 ・R6「滑膜肉腫の標的分子の探索」常葉大学 保健医療学部紀要 15(1) 1-8	053-428-3511（代）	053-428-2900（代）	tohta@hm.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/health-care/physics/oota/

■教育相談・心理学

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0603	医学	東洋医学・ 鍼灸学		東洋医学を活用した健康増進に関する講 義	常葉大学 (浜松キャン パス)	健康プロ デュース学 部	准 教授	ふじた いたる 藤田 格	・R1「ツボ押し体操&ストレッチ」掛川市体育協会健康講座 ・R1「東洋医学の食養生」静岡県食学研究会 ・R2「よりよい眠りのためのツボを考えよう」浜松市学校保健委員会 ・R3「身近にある東洋医学」静岡市PTA連絡協議会家庭教育委員会 ・R4「凹んだときの対処法を考えよう・身体を整えようと心も整う」浜松市学校保健委員会 ・R5「いつまでも健康で美しく 東洋医学のセルフケア」常葉大学公開講座	・R1「大学の教育課程における臨床実習の現状について」常葉大学健康プロデュース 学部雑誌 13(1) ・R2「鍼灸と文化人類学」常葉大学健康プロデュース学部雑誌 14(1) ・R5「艾しゅ灸技術の評価と習得要素の検討」東方医学Vol39	053- 428- 3511 (代)	053- 428- 2900 (代)	ifujita@hm.to koha-u.ac.jp	https://www.tokoha- u.ac.jp/teachers/h ealth- produce/acupunct ure/fujita/
0603	医学	言語聴覚 障害学		音声障害とリハビリテーション	聖隷クリス ティア大学	リハビリ テーション 学部	教 授	しばもと いさむ 柴本 勇	1)柴本 勇:「通級指導教室での言語指導事例検討」、浜松市教育委員会 通級指導担 当教員研修会 2019年6月 2)柴本 勇:「通級指導教室での言語指導について」、浜松市教育委員会 通級指導教 室担当教員研修会 2018年6月	アジア環太平洋音声言語聴覚学会前会長、国際音声言語医学会会員、日本音声言語 医学会会員。2015年「発声発語障害学 第2版」(医学書院)、2018年「高次脳機能障害 用語辞典」(ばーそん書房)。	053- 439- 1400 (代)	053- 439- 1406 (代)	somu- office@seirei. ac.jp	https://gyosekidb. seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId =S000194

■幼児教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス	
0700	幼児教育	乳幼児音楽教育 ピアノ教育		乳幼児期の音楽的発達 保育所・幼稚園における音楽表現活動 保育者のためのピアノ演奏法 子育て支援における音楽活動	静岡大学	教育学部	准教授	いしかわ まさえ 石川 真佐江	免許更新講習 東京都、静岡県における幼稚園、保育園、子ども園等における園内研修講師 東京都における子ども園、保育園、小学校と大学との連携事業	『乳幼児の音楽表現』中央法規出版（共著） 『わたしたちに音楽がある理由』音楽之友社（共著）ほか	054-238-4694	054-238-4694	ishikawa.masae@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。	
0700	幼児教育	幼児教育学		保育プロセスの質 リフレクションシート研修、保育実践に生きる子ども理解—記録と指導計画—、幼児一人一人が育つ環境と援助の工夫、幼児教育におけるマネジメント、幼児教育の基本から小学校教育への接続、幼児期におけるESDなど	静岡大学	教育学部	教授	たみや ゆかり 田宮 縁	①静岡県教育委員会義務教育課幼児教育推進室 ②静岡県教育委員会 令和4年度第2回幼稚園等初任者研修会 ③静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センター ④静岡県教育委員会義務教育課幼児教育センター ⑤藤枝市私立幼稚園・認定こども園南ブロック研修全体会 ⑥焼津市乳幼児教育推進会議 ⑦浜松市教育委員会学校教育部教育センター ⑧三島市子ども保育課 ⑨袋井市立幼稚園・こども園教育・保育研究会 ⑩焼津市立幼稚園六園研修会 ⑪静岡市子ども未来局こども園課 ⑫富士市教育指定研究発表会 ⑬静岡県教育委員会 令和5年度第1回幼児教育アドバイザー等研修会	『体験する・調べる・考える 領域「環境」』（単著）萌文書林 『体験する・調べる・考える 領域「人間関係」』（単著）萌文書林 『保育者に必要な数学力』（編者）萌文書林 「保育プロセスの質 リフレクションシート」 「エコパーク日本平動物園の校外学習・園外保育をブラッシュアップ！ティーチャーズガイド」 「No one will be left behind 動物と一緒に地球の未来を考えよう」 『SDGsデジタル絵本 どうぶつといっしょにちきゅうの未来をかんがえよう〜もりはかんたんには かいふくしないんだ』 「センス・オブ・ワンダーを音で表現する。グローバルシチズンシップの基礎を育む協同的な活動」 『静岡県版幼小接続カリキュラム』参考資料「コロナ禍から見えてきた幼小接続」	054-238-4695	054-238-4695	tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。	
0700	幼児教育	幼児心理学		幼児の社会性の発達 保育現場における発達支援 保育カンファレンス等の活用による保育の振り返り 就学前施設と小学校との連携	静岡大学	教育学部	講師	わかばやしみのり 若林 紀乃	広島県、愛知県、および静岡県における教員研修・保育研修講師等 就学前施設における巡回相談、園内研修講師、公開保育助言者、保護者向け講演等 就学前施設と小学校、及び保健センターとの連携研修講師		054-238-4692	054-238-4692	wakabayashi.sumino@shizuoka.ac.jp	静岡大学教員データベース (https://tdb.shizuoka.ac.jp/RDB/public/) より教員名等で検索ください。	
0700	幼児教育	新生児・小児救急		周産期社会的ハイリスク家庭への病院・地域の関わり	浜松医科大学	地域周産期医療学講座	特任助教	うえの だいごう 上野 大蔵			053-435-2694	053-435-2589	daizo_3rd@yahoocoo.co.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/pediatrics/faculty.html	
0700	その他	小児看護	New	障害・疾患を持つ子どもの医療的ケアや対応	静岡県立大学	看護学部	准教授	すずき わかこ 鈴木 和香子	富士市教育・保育キャリアアップ研修「保育所における感染症対策ガイドラインの理解」 令和3年度～現在		054-202-2917	054-202-2917	wakako-s@u-shizuoka-ken.ac.jp	https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/show/profile467.html	
0700	幼児教育	身体教育学 保育内容 (健康)	New	乳幼児期における運動遊び	静岡県立大学短期大学部	こども学科	准教授	おいかわ なおき 及川 直樹	・R1 ぐらしき市民講座「知りたい！これから伸びる子どもの運動能力～幼児期にできる環境づくり～」 ・H31、R2、R4 倉敷市保育士・保育所支援センター実技研修会「運動あそび」 ・H31、R1、R2、R3 倉敷市幼稚園教諭免許状更新講習「健康」分野 ・R1 倉敷市児島地区幼稚園教員研修会「ボールを使った運動遊び」 ・R1 倉敷市大学連携講座「親子で楽しく運動遊び&運動能力チェック」 ・R2、R3、R4 倉敷市新規採用保育教育職員研修「子どもの発達の理解と保育～みんなで体を動かしながら、運動遊びの指導について学ぼう！～」 ・R5 静岡市南都生涯学習センター「子ども学講座：心身の育ちの不思議」	「特別支援学校の看護師の役割遂行上の困難感とその対処—医療的ケアにおける教員との協働確立に向けた検討—、鈴木和香子、大見サキエ、坪見利香、日本小児看護学会誌、24(1)、8-14、2014 ・特別支援学校における医療的ケアの現状—養育者の語りから—、日本小児看護学会誌、25(1) ・在宅で生活している重症心身障がい児(者)へのリフレクソロジーの効果— 冊子を活用して—（共著）、和洋女子大学紀要、第58巻、2018 他	054-202-2677	054-202-2612	oikawa@u-shizuoka-ken.ac.jp	「地域の親子に対する運動遊びを中心とした「親子ふれあいパーク」の意義—活動に対する学生の認識に基づいて—」（『倉敷市立短期大学研究紀要』64号 R3） ・「女子短期大学生の前転と後転に関する運動技術の認識の比較」（『幼児体育学研究』12巻2号 R3） ・「地域の親子に対する運動遊びを中心とした「親子ふれあいパーク」の意義—活動に対する保護者の認識に基づいて—」（『倉敷市立短期大学研究紀要』65号 R4）	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/) より教員名で検索してください。
0700	幼児教育	保育学		「幼保小の接続」に関する研修	静岡県立大学短期大学部	こども学科	特任教授	ながくら みゆき 永倉 みゆき	・H26、27、28、29、30年度 静岡県総合教育センター研修「レッツ連携！幼稚園・保育所等と小学校研修」研修講師 他		054-202-2679	054-202-2679	nagakura@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/) より教員名で検索してください。	
0700	幼児教育	保育内容 (音楽表現)		こどもと音楽	静岡県立大学短期大学部	こども学科	講師	やまもと まなぶ 山本 学	・R1-R4 静岡県教育委員会「幼稚園等初任者研修」講師 1年目初任の公務員(保育職)を対象に、手遊び歌やわらべうたを実践しながらその意義等について解説 ・R4 伊豆の国市ファミリーサポートセンター講習会講師 伊豆の国市で子育ての援助を行おうとする方々対象に、「子どもの遊び」として、年齢ごとの遊びを講義、演習	・R3『表現者を育てるための保育内容表現』(教育情報出版) ・R5『保育者になるためのピアノ教本 増補版』(エイデル研究所)	054-202-2600	054-202-2612	yamamoto@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/) より教員名で検索してください。	
0700	幼児教育	発達心理学		幼児の描画と心	静岡県立大学短期大学部	こども学科	教授	こばやし まちこ 小林 佐知子	・H25～28 教員免許更新講習会「幼児の造形遊びと心」 ・R3～ 静岡県教育委員会幼稚園等初任者研修会講師「幼児の描画と心」		054-202-2609	054-202-2609	kobayashi@u-shizuoka-ken.ac.jp	静岡県立大学教員データベース (https://db.u-shizuoka-ken.ac.jp/index.php/) より教員名で検索してください。	
0700	発達心理学 保育内容 幼児教育 保育学	保育内容 発達心理学	New	保育内容人間関係・規範意識と道徳性に関する講義 子どもの笑いと人間関係の発達 子どもの心情理解に基づく保育の実践と評価	常葉大学 (草薙キャンパス)	保育学部	准教授	いとう りえ 伊藤 理絵	・R3～R5 三重県私立幼稚園・認定こども園協会新規採用教員研修会「保育実践における自己評価の意義—子どもの心情理解を通じた自己点検・自己評価—」 ・R4 全国保育士会 令和4年度都道府県・指定都市正副会長セミナー「保育人材の確保・育成・定着に向けた取り組み」 ・R5 令和5年度名古屋子ども青少年局保育運営課特別研修「子どもを尊重する保育—子どもの心情・意欲・態度を育む基本に立ち返る—」	・R3～Eテレ「いじめをノックアウト」 ・R4 『子どもの活動が広がる・深まる 保育内容「表現」』(中央法規) (担当:「第3章」保育内容「表現」と他領域との関係:感じる・工夫する・考える・表現する」Column「心の動きを色や形で感じる」) ・R5 令和5年度子ども・子育て支援推進調査研究事業(こども家庭庁)「指定保育士養成施設及び実習先保育所の実習指導担当者に対する効果的な研修の在り方に関する調査研究」調査研究構成員	054-6100-6101 (代)	054-297-6101 (代)	r_ito@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/childcare/childcare/ito/	
0700	幼児教育	乳幼児音楽教育		乳幼児音楽教育の方法について・乳幼児期に望ましい音楽経験	常葉大学 (草薙キャンパス)	保育学部	教授	きのの みな 佐野 美奈	・H31 大阪樟蔭女子大学子ども研究所シンポジウム(乳幼児音楽教育の内容)	・H30 『新版 実践 保育内容シリーズ5音楽表現』(一藝社、共著) ・H31 『乳幼児のための保育内容 表現—動き、音楽、造形—』(ナカニシヤ出版、共著) ・R3 Modern Perspectives in Language, Literature and Education, Vol.7、共著) ・R4 Current Research in Language, Literature and Education, Vol.7、共著) ・R5 『乳幼児の主体的な学びを導く遊びの環境と援助』(ナカニシヤ出版、編著)	054-6100-6101 (代)	054-297-6101 (代)	sano.mina@sz.tokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/childcare/childcare/sano/	

■幼児教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0700	幼小接続・連携	子ども中心の教育	New	幼小接続・連携に関する講義	常葉大学 (草薙キャンパス)	教育学部	教授	木村 光男 <small>きむら みつお</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・R1 静岡県公立幼稚園・こども園教育研究会東部支部教頭主任研修会 ・R1～R5 下田市幼小接続研究推進委員会 ・R2 静岡県志田教育研究会 ・R3 静岡県森町幼稚園研究会 	『静岡県版幼小接続モデルカリキュラム』静岡県教育委員会	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	paman@sky.p lala.or.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/pedagogy/elementary/kimura/

■幼児教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話 番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0700	幼児教育	発達心理学 幼児教育全般		指導計画と教育評価、保護者対応、就学準備、キャリア継続と保育者確保のマネジメント等に関する講義	常葉大学 (草薙キャンパス)	保育学部	教授	やまもと 山本 睦	・R3「保育士のための指導計画と教育評価：新しい自己評価の考え方」裾野市公立保育園保育士研修会 ・R4「子どもの育ちを促す支援：創造的思考の育て方」静岡県公立こども園資質実践力向上研修 ・R5「危機感と専門性を磨く」裾野市保育士・幼稚園研修会 ・R5「就業継続を促すマネジメント」2023年度(株)すいみー保育園管理職研修	・R3「保育・教育の評価とマネジメント」単著 ナカニシヤ出版 ・R4「The Motivation for and Priority of Work in EY worker's Re-employment : A Comparative Study between Japan and England.」(『応用心理学研究』46巻英文論文特集号、1-10) ・R5「授業から得たく気づき」の分析：効力感と就業予期との関連から(『常葉大学保育学部紀要』10号、1-10) ・R6「指針改訂に伴う英国保育施設管理職の対応：カリキュラム・マネジメントと人的管理の視点から」(『常葉大学保育学部紀要』11号、1-11) ・R6「創造性を育む英国の保育実践：「本物の学習」に着目して」(『保育・幼児教育研究年報』1号、25-35)	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	c-natsuz.sztokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/childcare/childcare/yamamoto/
0700	幼児教育	保育内容(言葉)、 児童文化財		・領域としては、絵本や児童文化財関連。 ・演題例「小学校教諭として知っておきたい絵本の知識」「保育現場における児童文化財」等	常葉大学 (草薙キャンパス)	保育学部	准教授	まみづか 馬見塚 昭久	・2019 子育て広場支援員向け講座「絵本がもたらす心の栄養」(小田原市川東タウンセンターマロニエ)	○主な研修会 ・2014～2021 教員免許状更新講習「保育現場の児童文化財」 ○主な著書 ・『保育実践に生きる「言語表現」児童文化財活用のエッセンス』(萌文書林、2020) ・『保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」』(ミネルヴァ書房、2022) ○主な論文 ・絵本『イルカの星』(葉 祥明)に見る智慧—1990年代スピリチュアル絵本と現代—(『保育・幼児教育研究年報』常葉大学幼児教育支援センター(1)2024年3月) ・『とんぐりと山猫』(宮沢賢治)の絵本化と異界の描き方(常葉大学保育学部紀要第11号(11)2024年3月) ・安房直子『きつねの窓』論：鎮魂と再生に到る語りの構造—特集 読み再考：作品を問題化する解釈の試み(近代文学研究 / 日本文学協会近代部会 編 (34)2024年)	054-297-6100 (代)	054-297-6101 (代)	mamizuka@sztokoha-u.ac.jp	https://www.tokoha-u.ac.jp/teachers/childcare/mamizuka/
0700	幼児教育	子育て支援		親子運動あそび	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	幼児保護者を対象とした運動者行動と健康教育マネジメントに関する研究、小田原女子短期大学紀要(47)、36-46、2017。保護者の子育てで不安と悩みについて日本幼児教育学会第26回大会、2018。子どもと保育(保育内容健康)。大学図書出版、2022。担当科目実績：子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	健康教育		子どもの運動遊び	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	幼児保護者を対象とした運動者行動と健康教育マネジメントに関する研究、小田原女子短期大学紀要(47)、36-46、2017。保護者の子育てで不安と悩みについて日本幼児教育学会第26回大会、2018。担当科目実績：子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	健康教育		幼児期の多様な運動の重要性について	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	幼児保護者を対象とした運動者行動と健康教育マネジメントに関する研究、小田原女子短期大学紀要(47)、36-46、2017。保護者の子育てで不安と悩みについて日本幼児教育学会第26回大会、2018。担当科目実績：子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	健康教育		子どものリスクマネジメント教育	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	運動遊びに関する保育者の意識について、日本幼児教育学会第27回大会、2019。子どもと保育(保育内容健康)。大学図書出版、2022。担当科目実績：子どもと遊び、幼児体育、身体表現、子どもと運動 I、II、子どもの健康と安全	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	健康教育		からだの姿勢とこころの姿勢	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	幼児保護者を対象とした運動者行動と健康教育マネジメントに関する研究、小田原女子短期大学紀要(47)、36-46、2017。保護者の子育てで不安と悩みについて日本幼児教育学会第26回大会、2018。担当科目実績：ウエルネスと身体、子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	健康教育・ 子育て支援		多文化理解ってなあに？	静岡福祉大学	子ども学部	講師	きと 木戸 直美	地域における健康教育、富士市教育委員会、2013-2022、多世代間交流ワークショップ、上智学院 教職協働・教員協働イノベーション研究、千代田区子育て支援、2016-2017、静岡県生涯スポーツ指導者派遣事業、静岡県レクリエーション協会こどもの運動遊び講演・指導、三鷹市主任保育士研修会講師、静岡県子育て支援員研修講師、静岡県放課後児童支援員認定資格研修講師	多文化理解・国際理解への学び(多様性の尊重を目指して)、大学図書出版、2019。海外研修ハンドブック、大学図書出版、2020。担当科目実績：ウエルネスと身体、子どもと遊び、子育て支援論、子育て支援実践論	054-623-8475	054-623-7453	n.kido@suw.a-c.jp	木戸直美 静岡福祉大学 (suw.ac.jp)https://www.suw.ac.jp/about/teacher/naomi_kido.html
0700	幼児教育	幼児教育学 環境学習		幼児期の科学性のめばえを支援する「科学あそび」/「自然あそび」	静岡福祉大学	子ども	教授	さかた 坂田 尚子	静岡福祉大学 公開講座2023 25。静岡福祉大学、2023 あゆみ福祉会所属こども園・保育園等研修会。社会福祉法人あゆみ福祉会、2024	Attempting STEM Education in Informal Japanese Educational Facilities Through the Theme of "Sand", K-12 STEM Education, 2018 Oct., 4(4), 401-411. Kumano Yoshisuke. 科学館における幼い子どもとその保護者のための体験型科学教育プログラム開発に関する研究。日本サイエンスコミュニケーション協会誌、8(1)、2018年7月、30-36。	054-623-8547		sakata_shoko@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/shoko_Sakata.html
0700	幼児教育	子ども家庭福祉 子育て支援 児童虐待対応		保育所等における保護者支援(子育て支援) 保育・教育現場における予防も含めた児童虐待対応	静岡福祉大学	子ども学部	准教授	はいたに 灰谷 和代	こども家庭庁令和5年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) 中部地区商工会連協協議会 女性部会研修会「地域の子育て支援「こどもの居場所」を考える」 静岡県令和5年度子育て支援員研修「事例検討」「地域資源の連携づくりと促進」 静岡県令和5年度放課後児童支援員認定資格研修「特に配慮を必要とする子どもの理解」 厚生労働省令和4年度保育実践充実推進のための中央セミナー(オ)分科会「子育て支援」 厚生労働省令和4年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) ふじのくに地域・大学コンソーシアム高大連携出張講座「静岡県の子どもの学習・生活支援」 静岡県令和4年度放課後児童支援員認定資格研修「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」	厚生労働省保育所等における保護者支援の在り方に関する研究会委員 「保育所等における在園児の保護者への子育て支援—相談等を通じた個別化対応を中心に—」(厚生労働省、2023.3発行) https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/001079964.pdf 『社会福祉』(共編者)、ミネルヴァ書房、2024。(第13章「地域共生社会の子育て支援の総論」) 『子ども家庭支援論』(共編者)、ミネルヴァ書房、2024。(第3章「保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義」)	054-631-9014 (研究室直通)	054-631-9014 (研究室直通)	haitani@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/kazuyo_haitani.html https://researchmap.jp/k-haitani
0700	幼児教育	幼児教育、 身体教育学		幼児の身体表現(理論と実践の往還)	静岡産業大学	スポーツ科学部	教授	高橋 和子	・H28～30 幼児のリトミックと身体表現(公財 日本学校体育研究連合会) ・H26～R元 こどもの身体表現(公社 日本女子体育研究連盟)	・R2再版 からだ：気づき学びの人間学(編者)見洋書房	0538-37-0191	0538-36-8800	k-takahashi@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より 教員名で検索。高橋和子公式ブログ(https://kazuko-ynu.jp/)
0700	幼児教育	造形表現		保育内容表現・造形表現	静岡産業大学	経営学部	教授	佐藤 寛子	・R3 造形遊びの実演と講習(大分市内保育所) ・R4 日越間の色彩感覚の違いについて～広告や商品の色彩デザインに着目して～(袋井商工会議所) ・R4 パソコン講座(パワーポイント)	・R2『保育者になる人のための実習ガイドブックAtoZ』(共著)萌文書林 ・R2『基礎からまなべる保育内容(人間関係)ワークブック』(共著)あいり出版 ・R2『保育者論・教育者論』(共著)株式会社わかば社 ・「ハサミの使用における母指中手指関節過伸展症の幼児への援助の検討—一手の巧緻性の観点から—」『美術教育学』41号、R2 ・「幼稚園教育要領における『豊かな感性』のみとりの観点—5歳児の遊び場面の事例検証から—」『美術教育学研究』50号、H30	0538-37-0191	0538-36-8800	h-sato@ssu.ac.jp	静岡産業大学 HP(https://www.ssu.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より 教員名で検索してください

■幼児教育

No.	教科	専門	新規	領域・研修名 講演演題等	大学名	学部等	職名	氏名	講演実績	備考（著書、研究等）	電話番号	FAX 番号	メールアドレス	ホームページ アドレス
0700	幼児教育	身体表現 音楽表現		リトミック 保育のための音楽 子どもの表現	静岡産業大学	経営学部	教授	入江 真理	・R1 吉田町保育所連合会保育士研修「リトミック」 ・R3 高大連携出張講義「6番目の感覚を磨くリトミック」	・H31『子どもの歌でいつのまにか上達する保育者になるためのピアノ教本』（エイデル研究所） ・R2『「幼児期における身体運動」への実践に資するリトミックについての研究—運動による身体の発達の見点から—』日本ダルクローズ音楽教育学会『ダルクローズ音楽教育研究』通巻第44号 ・R2 『保育におけるリズム楽器の活用に関する研究(2)—保育者がとらえた「子どもがリズム楽器で楽しんでいた活動」場面の分析から—』静岡産業大学論集「環境と経営」第26巻第2号	0538-37-0191	0538-36-8800	m-irie@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0700	幼児教育	身体教育学、保育内容		水遊び・プール活動の事故防止と遊びのポイント	静岡産業大学	経営学部	教授	山田 悟史	R1. 磐田市公私立幼稚園・保育園・こども園職員研修「楽しい水遊びのために～事故防止と遊びのポイント～」	・「テキストマイニングによる幼稚園・保育所における水遊びに関するアンケート調査の分析」(『静岡産業大学論集 スポーツと人間』第44巻第1号 R2) ・R1～ 西尾市教育委員会「官民連携による小学校水泳指導調整会議」座長	0538-37-0191	0538-36-8800	s-yamada@ssu.ac.jp	http://sports-solution.com
0700	幼児教育	身体教育学、保育内容		ふれあい遊びの大切さ	静岡産業大学	経営学部	教授	山田 悟史	・R1 磐田市立二之宮保育園 5歳児クラス保護者対象「ふれあい遊びの大切さ」		0538-37-0191	0538-36-8800	s-yamada@ssu.ac.jp	http://sports-solution.com
0700	幼児教育	子育て支援		子育て支援と保護者との連携	静岡産業大学	経営学部	講師	おおさわ ひろのり 大沢 啓徳	・R1～R3 静岡県子育て支援員研修「対人援助の価値と倫理」 ・R2 静岡県子育て支援員研修「児童虐待と社会的養護」 ・R1～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「学校・地域との連携」 ・R2～R3 静岡県放課後児童支援員認定資格研修「保護者との連携・協力和相談支援」	・R3『子ども家庭支援論—子どもを中心とした家庭支援—』(共著、教育情報出版) ・「幼保小連携における個別的教育支援計画に関する一考察」(『日本育療学会第22回学術集会抄録集』、H30) ・「幼保小接続期を見据えた個別的教育支援計画の活用方向性」(『日本保育学会第73回大会発表論文集』、R2) ・「母親が子どもの発達障害の可能性を受容するまで」(『日本育療学会第24回学術集会抄録集』、R2)	0538-37-0191	0538-36-8800	m-higuma@ssu.ac.jp	静岡産業大学HP(https://www.ss-u.ac.jp/faculty/teacher/iwata/)より教員名で検索してください
0700	幼児教育	幼児教育 保育		教育課程 保育の方法 環境構成についての研修	聖隷クリストファー大学	国際教育学部	教授	おおた まさこ 太田 雅子	・R2 静岡県私立幼稚園振興協会 第4回初任者研修「幼児理解と評価」 ・R3 静岡県私立幼稚園振興協会 第2回初任者研修「育ち合うとは」	・聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園総園長 ・R2 日本保育学会第73回大会「チームこども園を目指して—専門スタッフが事務職員との連携・分担」	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?kyoinId=ymbkgvodggy
0700	幼児教育	幼児教育 保育		保育内容(表現)についての研修	聖隷クリストファー大学	国際教育学部	准教授	このみや たかゆき 二宮 貴之	・H28湖西市立岡崎中学校3年生に向け講義「音楽づくり」 ・H29 聖隷クリストファー大学教員免許状更新講習講師「子どもの表現活動」 ・H30 第26回浜松市民アカデミー講師「音楽は心の健康のみならず！歌って聴いてリフレッシュ！！」	・「音楽教育における指導法に関する研究—アクティブ・ラーニングの効果と学生の変容に着目して—」(聖隷クリストファー大学) ・「保育者・小学校教員養成校における音楽の指導方法に関する研究」(日本学校音楽教育実践学会) ・国際学会発表 Research relating to music teaching methods in kindergarten and elementary school(International Association of Early Childhood Education:38th: National Taipei University of Education) ・『表現者を育てるための保育内容 音楽表現—遊びから音楽表現へ—』	053-439-1400 (代)	053-439-1422	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?kyoinId=ymdmyoodggy
0700	幼児教育	幼児教育 保育		・保育者の専門性 ・夕方の保育実践についての研修	聖隷クリストファー大学	国際教育学部	助教	すぎやま さおとむ 杉山 沙旺美	・令和4年度静岡県子育て支援員研修「乳幼児の発達と心理」 ・令和4年度群馬県私立幼稚園・認定こども園協会夏季研修「夕方の保育(預かり保育)を考える～子ども一日をデザインする～」(宮里咲美・杉山沙旺美)	・子どもたちは認定こども園において夕方の時間をどのように過ごしているのか？—環境と空間に焦点を当てた参与観察による事例分析から—(『幼児の教育』第120巻第1号、R2) ・認定こども園における夕方の時間の子どもと他者とのかかわり—日中からの変化に焦点を当てた事例分析から—(『幼児の教育』第121巻2号、R4) ・変化し続けるという安定性—ある認定こども園の実践の変化に着目して—(学会発表、共創学会第5回大会、R3)	053-439-1400 (代)	053-439-1422	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?courc=05
0700	幼児教育	幼児教育 保育		・身体教育学、保育内容 「発育発達過程に沿った運動遊び」	聖隷クリストファー大学	国際教育学部	教授	わくだ かよ 和久田 佳代	・R3 聖隷クリストファー大学 教員免許状更新講習「幼児期の体力・運動の現状と課題」(「発育発達過程に沿った運動遊び」) ・R3 聖隷クリストファー大学こども教育福祉学科講演会「園や小学校における発達支援—不器用？運動が苦手？発達が気になる？そんなときどうする？」 ・R4 同上 「園や小学校における発達支援(2) 基礎感覚を育てる」 ・R4 静岡県私立幼稚園振興協会 特別支援教育研修会「発育発達過程に沿った子どもの運動遊び」	「コロナ禍の弊害を払拭する豊かな外遊び環境：2016年度から2020年度のAこども園における体力測定結果から」日本幼児体育学会第17回大会研究発表抄録集R3 「身体図式の発達を促す運動遊びの評価指標の検討：2020、2021年度のAこども園におけるハンゴ渡り測定から」日本幼児体育学会第18回大会研究発表抄録集R4 「巧技台の『ハンゴ渡り』的データの分析および体力測定値との関係から— 幼児体育学研究 15(1)、19-32頁 R5	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId=S000011
0701	児童虐待	新生児・小児救急		児童虐待	浜松医科大学	地域周産期医療学講座	特任助教	うえの だいごう 上野 大蔵		虐待研修プログラムBEAMS Stage2	053-435-2694	053-435-2589	daizo_3rd@yahoo.co.jp	https://www.hama-med.ac.jp/education/fac-med/dept/pediatrics/faculty.html
0701	幼児教育	音楽教育学		音楽表現活動(子どものうた、合唱、オペレッタ、ミュージカル、ピアノ伴奏法等)	静岡英和学院大学	人間社会学部	教授	うちやま なおみ 内山 尚美	・H29「こころのふるさと こもりうた—世界でいちばんやさしいうた—」(名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園子育て支援講座) ・H30、R1「音楽で楽しく育む子どもの感性～1歳児の音楽表現～」(名古屋市昭和生涯学習センター・名古屋柳城短期大学共催講座) ・R3「うたのこころ うたの不思議」(静岡英和学院大学公開講座・静岡市生涯学習センター共催講座)	・H30『コンパクト版保育内容シリーズ「音楽表現」』(一藝社) ・R2『表現者を育てるための保育内容「音楽表現」』(教育情報出版) ・「保育者養成課程における総合表現活動の試み—総合表現導入としてのペーパーサート音楽劇—」(『静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部紀要』第20号R4) ・「保育者養成課程における3度音程に着目した音楽基礎力育成教材の研究」(『日本保育士養成教育学会2020年度研究助成報告書』R3) ・磐田こどもミュージカル歌唱指導主任	054-262-0091	054-262-0091	presium-room@shizuoka-riwa.ac.jp	
0701	児童虐待	子ども家庭福祉 児童虐待対応		保育・教育現場における児童虐待対応 児童虐待の早期発見と早期対応	静岡福祉大学	子ども学部	准教授	はいたに かずよ 灰谷 和代	こども家庭庁令和5年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) 中部地区商工会連絡協議会 女性部会研修会「地域の子育て支援「こどもの居場所」を考える」 静岡県令和5年度子育て支援員研修「事例検討」「地域資源の連携づくりと促進」 静岡県令和5年度放課後児童支援員認定資格研修「特に配慮を必要とする子どもの理解」 厚生労働省令和4年度保育実践充実推進のための中央セミナー(オ)分科会「子育て支援」 厚生労働省令和4年度保育所長・主任保育士等研修(中堅主任保育士研修「保護者支援・子育て支援」) ふじのくに地域・大学コンソーシアム高大連携出張講座「静岡県の子どもの学習・生活支援」 静岡県令和4年度放課後児童支援員認定資格研修「子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ」	厚生労働省保育所等における保護者支援の在り方に関する研究会委員 「保育所等における在園児の保護者への子育て支援—相談等を通じた個別の対応を中心に—」(厚生労働省、2023.3発行) https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/001079964.pdf 『社会福祉』(共編者)、ミネルヴァ書房、2024。(第13章「地域共生社会の子育て支援の総合施策」) 『子ども家庭支援論』(共編者)、ミネルヴァ書房、2024。(第3章「保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義」)	054-631-9014 (研究室直通)	054-631-9014 (研究室直通)	haitani@suw.ac.jp	https://suw.ac.jp/about/teacher/kazu_uy_haitani.html https://researchmap.jp/k-haitani
0701	児童虐待	子ども家庭福祉		子どもへの虐待とDVについて 虐待事例における関係機関との連携	聖隷クリストファー大学	社会福祉学部	准教授	いずみや ともこ 泉谷 朋子	・R1秋田県社会福祉協議会主催令和元年度児童委員活動研修会「新たな子ども家庭福祉のあり方について」 ・R1全国社会福祉協議会主催令和元年度民生委員・児童委員リーダ研修会「子どもの人権課題への理解を深める」 R3神奈川県社会福祉協議会主催令和3年度児童委員・主任児童委員活動推進会議「子ども子育て家庭のSOSにきづくために」	・「母子生活支援施設における産前産後期支援に関する研究—複合的に課題を抱える妊産婦世帯支援に着目して」明治学院大学大学院後期課程博士論文R2 ・「分離しないケア」に関する一考察：アメリカにおけるFamily Preservationを参考に」聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要第20号R3 ・東京都児童福祉審議会委員(R3～)	053-439-1400 (代)	053-439-1406 (代)	somu-office@seirei.ac.jp	https://gyosekidb.seirei.ac.jp:8083/s cuhp/KgApp?resId=S000252

◆各大学等連絡窓口一覧

No.	大学名等	所属	電話番号	電子メールアドレス
1	静岡大学	学務部教務課教育企画係	054-238-4257	gkyoumu2@adb.shizuoka.ac.jp
2	浜松医科大学医学部	総務課総務係	053-435-2113	sss@hama-med.ac.jp
3	静岡県立大学	経営戦略部経営人事室	054-264-5207	kjinji4@u-shizuoka-ken.ac.jp
4	静岡県立大学短期大学部	総務室	054-202-2606	sizsom1@u-shizuoka-ken.ac.jp
5	静岡文化芸術大学文化政策学部	教務・学生室	053-457-6114	kyogaku@suac.ac.jp
6	農林環境専門職大学	総務企画課	0538-31-7901	noukandaisoumu@pref.shizuoka.lg.jp
7	農林環境専門職大学短期大学部	総務企画課	0538-31-7901	noukandaisoumu@pref.shizuoka.lg.jp
8	日本大学国際関係学部	庶務課	055-980-0801	nakamura.hiromitsu@nihon-u.ac.jp
9	東海大学静岡キャンパス	教学(学部長室担当)	054-334-0411	kato-m@tokai.ac.jp
10	常葉大学	大学・短大本部事務局学長室	054-297-6120	gakucho@tokoha-u.ac.jp
11	常葉大学短期大学部	大学・短大本部事務局学長室	054-297-6120	gakucho@tokoha-u.ac.jp
12	静岡英和学院大学	連携課	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp
13	静岡英和学院大学短期大学部	連携課	054-262-0091	presi-room@shizuoka-eiwa.ac.jp
14	静岡福祉大学	教務課	054-623-7450	kyoumu@suw.ac.jp
15	静岡理工科大学	社会連携課	0538-45-0108	shakai@sist.ac.jp
16	静岡産業大学	法人事務局 総務課	054-200-0190	sg-soumu@ssu.ac.jp
17	聖隷クリストファー大学	総務部	053-439-1400	somu-office@seirei.ac.jp
18	浜松学院大学	学務グループ	053-540-3938	kyoumu@hamagaku.ac.jp
19	光産業創成大学院大学	事務局	053-484-2501	info@gpi.ac.jp
20	沼津工業高等専門学校	総務課人事係	055-926-5713	jinji@numazu-ct.ac.jp

◆協力大学等

静岡大学	浜松医科大学医学部	静岡県立大学	静岡県立大学短期大学部	静岡文化芸術大学
農林環境専門職大学	農林環境専門職大学短期大学部	日本大学国際関係学部	東海大学静岡キャンパス	常葉大学
常葉大学短期大学部	静岡英和学院大学	静岡英和学院大学短期大学部	静岡福祉大学	静岡理工科大学
静岡産業大学	聖隷クリストファー大学	浜松学院大学	光産業創成大学院大学	沼津工業高等専門学校

教職員研修において講義等が可能な大学教員等 [一覧]

令和6年度版（令和6年7月発行）

発 行 静岡県教育委員会
 所 在 地 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 問い合わせ先 静岡県教育委員会 教育政策課
 電話番号 054-221-3133
 ファクシミリ番号 054-221-3561